



独立行政法人 農畜産業振興機構  
広域生乳流通体制確立事業

平成 21 年度  
酪農全国基礎調査  
結果報告書

平成 22 年 3 月

社団法人 **中央酪農会議**



平成二十一年度 酪農全国基礎調査結果報告書

平成二十二年三月

社団法人 中央酪農会議



## はじめに

「牛乳乳製品統計」（農林水産省大臣官房統計部）によると、わが国の生乳生産量は平成8（1996）年の866万トンピークとして、それ以降は減少傾向に転じた。もちろん、生乳生産量には年々の不規則な変動が見られるものの、乳牛飼養戸数がピーク年（1963年）に記録した418千戸の約十分の一に相当する42千戸に減少したのも1990年代半ば頃であり、以来、乳牛飼養戸数は減少の一途をたどっている。

指定団体の取りまとめでは、わが国の酪農家戸数（生乳受託販売戸数）は、この数年間にわたり年間の減少が1,000戸を上回っており、本年度は減少速度がやや緩和する兆しが見られるものの、生乳の流通構造に大きな影響を及ぼす酪農家の分散立地は全国各地で進んでいることが窺える。

そこで本調査は、生乳生産構造の実態や酪農経営の動向等を的確に把握し、生乳流通の変化と国際化の進展に対応し得る広域生乳流通体制の確立のための基礎データを収集するために実施したものである。したがって、本報告書が以下の課題に取り組む際の参考資料として、少しでも役立つことがあれば幸いである。

- （1）指定団体等が、管内酪農家の生産・経営動向を的確に把握し、合理的かつ安定的な生乳流通・取引を推進すると共に、今後の事業計画策定等の検討に活用する。
- （2）全国及び地域の酪農生産・経営動向を分析し、地域の生乳生産・供給・流通に係る特徴や課題、今後の見通しを解明し、酪農政策の立案及び中酪での計画生産対策等事業の検討に活用する。
- （3）国際化の進展などの酪農経営をめぐる外部環境の変化に対応し得る酪農生産構造を実現するための検討に活用する。

最後に、たいへんお忙しい中、調査票の回答にご協力いただいた酪農家の皆様、調査内容の周知徹底や調査票の配布・回収・記入・精査に多大なご尽力をいただいた指定団体・県連・農協等の担当者の皆様、調査の企画段階から報告書の作成段階まで懇切丁寧なご指導をいただいた農林水産省並びに農畜産業振興機構の担当者の皆様、また調査結果の分析や報告書の作成に際し、貴重なご意見を頂戴した「酪農全国基礎調査検討会」委員の先生方（生源寺眞一・東京大学大学院農学生命科学研究科長、小林信一・日本大学生物資源科学部教授、栗原伸一・千葉大学園芸学部准教授、森久綱・三重大学人文学部准教授、森剛一・アグリビジネスソリューションズ株式会社代表取締役）に心から感謝の意を表します。

平成22年3月  
社団法人 中央酪農会議



## < 目 次 >

I	平成 21 年度酪農全国基礎調査の概要	1
1	調査趣旨	3
2	調査計画	3
(1)	調査対象	3
(2)	調査方法	3
(3)	調査基準月日	4
(4)	調査内容	4
(5)	調査結果の報告	5
(6)	表記上の注意	5
3	調査票の回収結果	6
II	調査結果	7
	<b>【酪農家調査】</b>	9
1	経営主年齢	9
2	経営形態	10
3	酪農経営従事者数	11
(1)	家族従事者数	11
(2)	家族以外の従事者数	12
<参考 1>	酪農従事者 1 人当たり経産牛飼養頭数	13
<参考 2>	酪農従事者 1 人当たり年間出荷乳量	14
4	酪農後継者の決定状況	15
<参考>	担い手の確保状況	16
5	牛の飼養頭数	17
(1)	乳用牛（経産牛）	17
(2)	乳用牛（未經産牛）	18
<参考>	未經産牛／経産牛比率	19
(3)	肉用牛（繁殖雌牛）	20
(4)	肉用牛（肥育牛）	21
6	乳用牛の分娩頭数・導入頭数（平成 20 年度）	22
(1)	分娩頭数	22
ア	総分娩頭数	22
イ	乳用種産子数	23
<参考>	乳用種産子率	24

ウ	F 1 産子数	25
エ	E T [肉専用種] 産子数	26
(2)	経産牛の廃用時平均産次数	27
(3)	導入頭数	28
ア	仔牛・育成牛	28
イ	初妊牛	29
ウ	経産牛	30
7	平成 20 年度年間出荷乳量	31
<参考>	経産牛 1 頭当たり年間出荷乳量	32
8	土地利用の状況	33
(1)	経営耕地面積	33
<参考>	経産牛 1 頭当たり経営耕地面積	34
(1-付)	借入経営耕地面積	35
<参考>	経営耕地の借入地率	36
(2)	牧草・飼料作物年間作付延面積	37
<参考 1>	牧草・飼料作物年間延作付面積の対経営耕地面積比率	38
<参考 2>	経産牛 1 頭当たり牧草・飼料作物年間延作付面積	39
(3)	放牧利用面積	40
<参考>	経産牛 1 頭当たり放牧利用面積	41
9	粗飼料の調達状況等	42
(1)	粗飼料自給割合 (平成 20 年度)	42
(2)	今後の粗飼料自給意向	43
(3)	粗飼料生産向上のための取組	44
10	酪農経営の安定・改善への取組	45
(1)	飼料価格高騰への取組	45
ア	最近の飼料価格高騰への取組	45
イ	再び飼料価格が高騰した場合の取組	46
(2)	作業委託の状況 (平成 20 年度)	47
(3)	作業委託以外の経営安定・改善策	48
11	酪農経営の将来見通し	49
(1)	5 年後の酪農部門の方向性	49
(2)	酪農経営継続上の期待事項	50
	<b>【経営離脱等酪農家調査】</b>	51
1	生乳出荷停止の状況	51
(1)	生乳出荷停止の原因	51
(2)	出荷停止農家の経営主年齢	51
(3)	経営中止酪農家の経営内容	52
(4)	酪農経営の中止理由	52
<参考 1>	酪農経営中止理由の推移	53
<参考 2>	経営主年齢別にみた酪農経営中止理由	53

<参考3> 経営内容別にみた酪農経営中止理由 .....	54
<参考4> 経産牛飼養規模別にみた酪農経営中止理由 .....	55
(5) 負債の原因 .....	56
2 生乳出荷停止時の経営規模 .....	57
(1) 年間出荷乳量 .....	57
<参考> 年間出荷乳量階層別にみた生乳出荷停止経営の累積構成比 .....	57
(2) 乳用牛(経産牛)飼養頭数 .....	58
(3) 生乳出荷停止時の牛舎規模 .....	58
<参考> 経産牛飼養規模別にみた牛舎規模 .....	59
3 経営資産の処分方法 .....	60
(1) 乳用牛の処分方法 .....	60
(2) 機械の処分方法 .....	60
III 酪農経営の動向に関する分析 .....	61
1 経営動向をみる際の留意点 .....	63
2 分析結果 .....	63
(1) 酪農経営の担い手 .....	63
ア 経営主年齢の変化 .....	63
イ 酪農後継者確保状況の変化 .....	64
(2) 生乳生産 .....	65
ア 経産牛飼養頭数の変化 .....	65
イ 経産牛の廃用時平均産次数の変化 .....	66
ウ 年間出荷乳量の変化 .....	67
(3) 粗飼料の自給動向 .....	69
ア 粗飼料の自給割合の変化 .....	69
イ 粗飼料自給意向の変化 .....	70
(4) 経営展開の方向性の変化 .....	70
IV 酪農離脱農家の経営内容に関する分析 .....	73
1 酪農離脱農家の経営内容をみる際の留意点 .....	75
2 分析結果 .....	75
(1) 酪農経営離脱前の経営主交代の状況 .....	75
(2) 酪農経営離脱前の生乳生産活動の変化 .....	76
ア 経産牛飼養頭数の変化 .....	76
イ 年間生乳出荷量の変化 .....	77
(3) 酪農経営離脱時の状況と生乳生産規模の関係 .....	79
ア 酪農離脱時の経営レベルと経産牛飼養規模の関係 .....	79
イ 酪農離脱理由と経産牛飼養規模の関係 .....	80
(4) 酪農経営離脱時の状況と離脱以前の経営意向の関係 .....	81

ア	酪農離脱時の経営レベルと離脱以前の経営意向の関係	81
イ	酪農離脱理由と離脱以前の経営意向の関係	83

# I 平成 21 年度酪農全国基礎調査の概要



## 1 調査趣旨

最近になって、配合飼料価格急騰の原因となった国際穀物市場の混乱は沈静化の様相を呈しているものの、新興国等での堅調な穀物需要、穀物のバイオ燃料への利用拡大、投機資金の過剰流動性など、穀物需給に影響を及ぼす要因は常在化しており、今後の価格動向は予断を許さない。このような状況のもとで、30年ぶりとなる生乳取引価格の引き上げが実現したが、長年にわたる牛乳消費の減少と国際乳製品市場での急速な需給緩和により、乳製品の在庫が増嵩しており、今後の生乳需給の変化は予測しがたい。

以上のように、わが国酪農をめぐる情勢は引き続き先行き不透明であり、酪農の持続的発展を図るためには、それら諸問題に対する適切な対応が不可避的情勢となっている。そこで中央酪農会議では、生乳の需給および流通を規定する酪農生産基盤の実態を解明するとともに、今後の情勢変化に対応し得る酪農生産構造の再編及び生乳広域流通体制の確立のためのデータを収集することを目的に、指定団体等と連携して、全国の酪農家を対象とする「標本調査」と経営離脱酪農家を対象とする「全数調査」を実施することとした。

## 2 調査計画

平成21年度酪農全国基礎調査の具体的な仕様は以下の通りである。

### (1) 調査対象

#### [1]酪農家調査

原則的には、平成21年9月1日現在に指定団体の直接会員又は間接会員となっていた酪農家3,000戸。その選定は、同年4月1日現在における酪農家の都道府県別戸数に基づいて本年度調査の総対象戸数(3,000戸)を各都道府県に比例配分し、その戸数に応じて「平成19年度酪農全国基礎調査」で整備した酪農家名簿から無作為に抽出するという方法で行った。

#### [2]経営離脱等酪農家調査

過去1年間(平成20年8月1日～平成21年7月31日)に生乳の出荷を中止した全ての酪農経営。

### (2) 調査方法

#### [1]酪農家調査

酪農経営主自らが調査票に記入するアンケート方式による標本調査。なお、調査票の配布・回収は以下の流れに従って行った。

中央酪農会議⇔指定団体⇔指定団体会員⇔農協等⇔酪農家

## [2]経営離脱等酪農家調査

当該経営離脱酪農家が所属していた農協等担当者の記入による全数調査。なお、調査票の配布・回収の流れは以下の通りである。

中央酪農会議⇔指定団体⇔指定団体会員⇔農協等

## (3) 調査基準月日

平成 21 年 9 月 1 日を基準とした。

## (4) 調査内容

### [1]酪農家調査

#### ア 酪農経営の基礎データ

- 1) 経営主年齢
- 2) 経営形態
- 3) 経営従事者数
- 4) 後継者の有無
- 5) 乳用牛・肉用牛の飼養頭数
- 6) 乳用牛の分娩頭数・導入頭数・廃用時産次数
- 7) 年間出荷乳量
- 8) 土地の利用状況

#### イ 粗飼料の調達状況等

- 1) 粗飼料の自給割合
- 2) 粗飼料生産に関する今後の意向
- 3) 粗飼料生産拡大のための取組

#### ウ 酪農経営の安定・改善を図るための取組

- 1) 最近の飼料価格高騰に対する取組
- 2) 飼料価格が再び高騰した場合の取組
- 3) 経営外への委託作業
- 4) その他の経営安定・改善のための取組

#### エ 酪農経営の将来の見通し

- 1) 酪農経営の展開方向
- 2) 酪農経営を継続する上での期待

### [2]経営離脱等酪農家調査

- 1) 生乳出荷停止の理由
- 2) 生乳出荷停止酪農家の経営主年齢
- 3) 経営中止酪農家の経営内容
- 4) 酪農経営中止の理由
- 5) 経営負債の原因

- 6) 出荷停止時の年間出荷乳量
- 7) 出荷停止時の乳用牛飼養頭数
- 8) 出荷停止時の経産牛舎の収容規模
- 9) 乳用牛の処分方法
- 10) 機械の処分方法

## (5) 調査結果の報告

平成 21 年度酪農全国基礎調査の結果は、本報告書(「調査結果報告書」、集計結果報告書(「集計結果表」)、酪農家向け概要報告書(「調査結果概要」)の3冊に取りまとめて報告した。

本報告書では、平成 21 年度の「酪農家調査」と「経営離脱等酪農家調査」に関する集計結果から読み取れることがらを簡単に取りまとめた。具体的には、「酪農家調査」については『酪農家全体』、『ブロック別』、『経産牛飼養規模別(全国・北海道・都府県別)』の3視点から集計した結果、「経営離脱等酪農家調査」については『酪農家全体』、『北海道・都府県別』の2視点から集計した結果を掲載した。

なお、本報告書では、本年度調査の結果に加えて、酪農経営の変化や経営離脱の経緯を探るために、本年度調査と過去調査の結果を連結して集計・分析(「動向分析」「遡及分析」)した結果も併せて掲載した。

また、本調査結果は多方面で多様な用途に供されることが考えられるため、集計結果報告書では、それぞれの目的に沿った再整理や再計測が行い易いよう、比率表示の集計結果(「比率編」)に加えて、実数表示の集計結果(「実数編」)も掲載することとし、数値項目に関しては該当グループ全体の「合計値」や「標準偏差」等も付加した。

概要報告書では、「酪農家調査」と「経営離脱等酪農家調査」の主要項目について、『酪農家全体』、『北海道・都府県別』の2視点から集計した結果を、グラフを用いて簡潔に表示した。

## (6) 表記上の注意

この報告書では、数値回答形式の調査項目の集計結果に関して、「有効回答平均(0含む)」「平均(0除く)」のいずれか、または双方の平均値を表示した。これらには、それぞれ下記のような相違があるので注意されたい。

「有効回答平均(0含む)」は、当該調査事項が“皆無(0)”のものを含めて算出した回答者全体としての平均値である。また、「平均(0除く)」は、当該調査事項が“皆無(0)”のものを除いて算出した該当者限定の平均値である。

また、掲載した集計結果表で、影を付した数値(■)は「全体」の値よりも10ポイント以上大きいこと、下線を付した数値(―)は「全体」の値よりも10ポイント以上小さいことを表している。

なお、集計結果表の最下欄に示した『20年度調査 全体』は、平成20年度調査における同質問項目の全体集計の結果である。

### 3 調査票の回収結果

「酪農家調査」及び「経営離脱等酪農家調査」の調査票の回収結果は下表の通りであった。

	酪農家調査（経営実態調査）			経営離脱等調査
	対象数	回収数	回収率	回収数
全 国	3,000	2,635	87.8	848
北海道	1,025	769	75.0	125
都府県計	1,975	1,866	94.5	723
東 北	479	422	88.1	121
青森県	39	38	97.4	16
岩手県	176	146	83.0	37
宮城県	107	100	93.5	24
秋田県	23	15	65.2	0
山形県	55	49	89.1	14
福島県	79	74	93.7	30
関 東	596	570	95.6	215
茨城県	77	75	97.4	10
栃木県	132	126	95.5	40
群馬県	104	102	98.1	40
埼玉県	49	49	100.0	20
千葉県	130	125	96.2	53
東京都	9	9	100.0	6
神奈川県	43	32	74.4	25
山梨県	8	8	100.0	4
静岡県	44	44	100.0	17
北 陸	67	66	98.5	26
新潟県	43	43	100.0	19
富山県	9	8	88.9	0
石川県	10	10	100.0	3
福井県	5	5	100.0	4
東 海	166	151	91.0	63
長野県	69	66	95.7	29
岐阜県	27	19	70.4	6
愛知県	61	57	93.4	23
三重県	9	9	100.0	5
近 畿	111	108	97.3	63
滋賀県	9	9	100.0	5
京都府	12	12	100.0	5
大阪府	6	6	100.0	4
兵庫県	72	71	98.6	42
奈良県	10	8	80.0	7
和歌山県	2	2	100.0	0
中 国	147	140	95.2	59
鳥取県	29	22	75.9	14
島根県	24	24	100.0	4
岡山県	55	55	100.0	22
広島県	27	27	100.0	13
山口県	12	12	100.0	6
四 国	83	83	100.0	46
徳島県	26	26	100.0	15
香川県	21	21	100.0	19
愛媛県	24	24	100.0	9
高知県	12	12	100.0	3
九 州	314	314	100.0	128
福岡県	46	46	100.0	27
佐賀県	15	15	100.0	14
長崎県	28	28	100.0	8
熊本県	104	104	100.0	28
大分県	29	29	100.0	13
宮崎県	54	54	100.0	19
鹿児島県	38	38	100.0	19
沖 縄	12	12	100.0	2

注) 経営実態調査の対象者は、平成19年度調査の名簿から無作為に抽出したため調査時点ですでに経営離脱していた者を含む。

## II 調査結果



# 【酪農家調査】

## 1 経営主年齢

全体としてみると、『40代』以下(27.0%)が3割弱、『50代』(38.1%)が4割弱、『60代』以上(33.9%)が3割強を占めており、平均年齢は55.4歳であった。

北海道・都府県別には、『50代』以下の割合は北海道、『60代』以上の割合は都府県が高く、平均年齢(北海道51.5歳、都府県57.1歳)では都府県が北海道を5.6歳上回った。

また、都府県の中では、沖縄で『60代』以上の割合(25.0%)、平均年齢(53.5歳)がともに最も低く、近畿で『60代』以上の割合(63.9%)、平均年齢(61.5歳)がともに最も高い値を示した。

経産牛飼養規模別にみると、小規模層から中規模層にかけては、北海道、都府県の双方に、規模の増大に伴って平均年齢が低下するという傾向が認められた。しかし、平均年齢は、北海道では75頭規模を超えると上昇傾向、都府県では50頭規模を超えると停滞傾向へと転じている。

問1 経営主年齢<数値回答>

[単位:戸、%、歳]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	無回答	平均 (0除く)	
		10・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上				
全体	2,635	0.5	6.2	20.3	38.1	25.5	8.4	1.0		55.4	
北海道 (都府県計)	769	0.8	10.0	28.0	43.2	16.1	1.3	0.7		51.5	
	1,866	0.3	4.7	17.1	36.1	29.4	11.3	1.2		57.1	
	東 北	422	-	4.7	16.4	38.9	31.5	7.6	0.9		56.5
	関 東	570	0.2	3.5	16.1	34.9	30.0	14.4	0.9		58.2
	北 陸	66	1.5	1.5	16.7	39.4	25.8	15.2	-		58.7
	東 海	151	1.3	7.3	19.2	35.1	22.5	14.6	-		56.6
	近 畿	108	-	2.8	12.0	19.4	38.0	25.9	1.9		61.5
	中 国	140	-	5.7	18.6	34.3	29.3	9.3	2.9		56.1
	四 国	83	-	-	14.5	36.1	38.6	10.8	-		59.2
	九 州	314	0.6	7.3	20.4	40.4	24.5	4.5	2.2		54.2
沖 縄	12	-	8.3	25.0	41.7	16.7	8.3	-		53.5	
経産牛飼養頭数 (全国)	5頭未満	49	-	4.1	2.0	30.6	32.7	30.6	-		64.3
	10頭未満	185	-	2.7	8.1	25.9	30.8	31.4	1.1		63.3
	20頭未満	412	-	3.4	12.9	33.0	33.7	14.8	2.2		59.0
	30頭未満	464	0.4	4.1	15.1	38.6	33.4	7.8	0.6		57.0
	40頭未満	421	0.2	5.9	20.7	41.6	24.5	5.7	1.4		54.8
	50頭未満	336	-	7.7	28.0	41.1	20.8	2.1	0.3		52.5
	75頭未満	443	1.1	8.8	28.9	41.1	16.0	3.2	0.9		51.8
	100頭未満	160	1.9	11.9	26.9	36.3	21.3	1.3	0.6		51.3
	150頭未満	86	1.2	8.1	27.9	44.2	17.4	1.2	-		51.7
	150頭以上	67	-	11.9	25.4	46.3	14.9	1.5	-		51.8
無回答	12	-	-	16.7	41.7	16.7	16.7	8.3		58.1	
経産牛飼養頭数 (北海道)	5頭未満	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-		57.0
	10頭未満	5	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-		57.2
	20頭未満	21	-	-	19.0	33.3	28.6	14.3	4.8		57.6
	30頭未満	58	1.7	3.4	12.1	50.0	29.3	3.4	-		55.9
	40頭未満	96	-	10.4	24.0	44.8	18.8	1.0	1.0		51.9
	50頭未満	132	-	8.3	31.1	45.5	13.6	1.5	-		51.8
	75頭未満	250	0.8	11.2	33.6	40.4	12.8	-	1.2		50.0
	100頭未満	99	2.0	14.1	25.3	42.4	16.2	-	-		50.5
	150頭未満	55	1.8	9.1	30.9	41.8	14.5	1.8	-		50.9
	150頭以上	48	-	12.5	25.0	50.0	12.5	-	-		51.4
無回答	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-		52.3	
経産牛飼養頭数 (都府県)	5頭未満	47	-	4.3	2.1	29.8	31.9	31.9	-		64.6
	10頭未満	180	-	2.2	7.8	26.1	31.1	31.7	1.1		63.5
	20頭未満	391	-	3.6	12.5	33.0	34.0	14.8	2.0		59.1
	30頭未満	406	0.2	4.2	15.5	36.9	34.0	8.4	0.7		57.2
	40頭未満	325	0.3	4.6	19.7	40.6	26.2	7.1	1.5		55.7
	50頭未満	204	-	7.4	26.0	38.2	25.5	2.5	0.5		53.0
	75頭未満	193	1.6	5.7	22.8	42.0	20.2	7.3	0.5		54.0
	100頭未満	61	1.6	8.2	29.5	26.2	29.5	3.3	1.6		52.7
	150頭未満	31	-	6.5	22.6	48.4	22.6	-	-		53.2
	150頭以上	19	-	10.5	26.3	36.8	21.1	5.3	-		52.6
無回答	9	-	-	11.1	44.4	11.1	22.2	11.1		60.3	
20年度調査 全体	2,443	0.7	7.1	20.3	42.1	22.2	6.8	0.7		54.6	

## 2 経営形態

全体としてみると、『非法人経営』が 86.0%、法人経営が 11.4%（『1戸1法人』10.6%、『共同法人』0.8%）であった。

地域別には、法人経営の割合が、沖縄（16.6%）で若干高い値を示した。

また、経産牛飼養規模別には、北海道では 150 頭規模、都府県では 100 頭規模を超えると、法人経営の割合が急激に増加するという傾向がみられた。

問2（1）経営形態＜単一回答＞

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	法人経営 (1+2)	
		1戸1法人	共同法人	法人経営ではない	無回答		
全 体	2,635	10.6	0.8	86.0	2.6	11.4	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	11.3	1.0	84.5	3.1	12.3
	(都府県計)	1,866	10.3	0.7	86.7	2.4	11.0
	東 北	422	12.1	0.5	85.1	2.4	12.6
	関 東	570	9.1	0.2	88.4	2.3	9.3
	北 陸	66	12.1	-	87.9	-	12.1
	東 海	151	8.6	0.7	89.4	1.3	9.3
	近 畿	108	9.3	2.8	85.2	2.8	12.1
	中 国	140	7.1	3.6	84.3	5.0	10.7
	四 国	83	12.0	-	85.5	2.4	12.0
	九 州	314	11.8	-	86.0	2.2	11.8
沖 縄	12	8.3	8.3	83.3	-	16.6	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	8.2	-	87.8	4.1	8.2
	10 頭 未 満	185	10.8	-	84.3	4.9	10.8
	20 頭 未 満	412	8.0	-	89.6	2.4	8.0
	30 頭 未 満	464	7.1	0.4	90.1	2.4	7.5
	40 頭 未 満	421	6.4	0.2	91.2	2.1	6.6
	50 頭 未 満	336	9.5	0.6	88.1	1.8	10.1
	75 頭 未 満	443	12.0	0.9	84.2	2.9	12.9
	100 頭 未 満	160	19.4	-	78.8	1.9	19.4
	150 頭 未 満	86	23.3	3.5	68.6	4.7	26.8
	150 頭 以 上	67	38.8	13.4	47.8	-	52.2
無 回 答	12	-	-	91.7	8.3	-	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	-	-	100.0	-	-
	10 頭 未 満	5	-	-	80.0	20.0	-
	20 頭 未 満	21	9.5	-	85.7	4.8	9.5
	30 頭 未 満	58	8.6	-	86.2	5.2	8.6
	40 頭 未 満	96	3.1	-	95.8	1.0	3.1
	50 頭 未 満	132	8.3	0.8	89.4	1.5	9.1
	75 頭 未 満	250	9.6	-	86.4	4.0	9.6
	100 頭 未 満	99	20.2	-	77.8	2.0	20.2
	150 頭 未 満	55	12.7	1.8	78.2	7.3	14.5
	150 頭 以 上	48	31.3	12.5	56.3	-	43.8
無 回 答	3	-	-	100.0	-	-	
経産牛飼養頭数(都府県)	5 頭 未 満	47	8.5	-	87.2	4.3	8.5
	10 頭 未 満	180	11.1	-	84.4	4.4	11.1
	20 頭 未 満	391	7.9	-	89.8	2.3	7.9
	30 頭 未 満	406	6.9	0.5	90.6	2.0	7.4
	40 頭 未 満	325	7.4	0.3	89.8	2.5	7.7
	50 頭 未 満	204	10.3	0.5	87.3	2.0	10.8
	75 頭 未 満	193	15.0	2.1	81.3	1.6	17.1
	100 頭 未 満	61	18.0	-	80.3	1.6	18.0
	150 頭 未 満	31	41.9	6.5	51.6	-	48.4
	150 頭 以 上	19	57.9	15.8	26.3	-	73.7
無 回 答	9	-	-	88.9	11.1	-	
20年度調査 全体	2,443	10.5	0.7	85.9	2.8	11.2	

### 3 酪農経営従事者数

#### (1) 家族従事者数

全体的にみると、家族従事者『2人』(45.4%)の経営が5割弱、『3人』(27.1%)の経営が3割弱を占めており、平均家族従事者数は2.6人であった。

地域別には、北海道では都府県に比べて『3人』以上の割合(北海道54.3%、都府県39.8%)が高く、平均家族従事者数(北海道2.9人、都府県2.5人)は北海道が都府県を0.4人上回った。また、都府県で平均家族従事者数が最も多いのは九州(2.7人)、最も少ないのは沖縄(2.0人)であった。

経産牛飼養規模別には、回収数の少ない北海道の小規模層を除けば、規模が大きくなるに連れて家族従事者数の多い経営の割合が増大し、平均家族従事者数も増加するという関係がおおむね認められた。

問2(2)①酪農経営従事者数(家族) <数値回答>

[単位:戸、%、人]

	酪農 家数	1	2	3	4	5	6	7	8	有効 回答 平均 (0含む)	
		0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 ~ 9 人	1 0 人 以 上	無 回 答		
全 体	2,635	0.7	9.4	45.4	27.1	12.4	4.4	-	0.4	2.6	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	0.4	4.9	40.1	28.0	18.5	7.8	-	0.4	2.9
	(都府県計)	1,866	0.9	11.3	47.6	26.8	10.0	3.0	-	0.4	2.5
	東 北	422	0.7	11.4	49.5	24.6	7.8	5.2	-	0.7	2.5
	関 東	570	0.4	12.5	48.6	25.8	10.9	1.9	-	-	2.4
	北 陸	66	-	13.6	63.6	18.2	3.0	1.5	-	-	2.2
	東 海	151	1.3	11.9	37.1	31.8	14.6	2.0	-	1.3	2.5
	近 畿	108	0.9	13.0	51.9	22.2	7.4	3.7	-	0.9	2.4
	中 国	140	2.9	13.6	52.1	24.3	5.7	1.4	-	-	2.2
	四 州	83	-	13.3	44.6	31.3	10.8	-	-	-	2.4
	九 州	314	1.0	6.1	42.7	32.2	13.4	4.1	-	0.6	2.7
沖 縄	12	8.3	16.7	41.7	33.3	-	-	-	-	2.0	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	-	28.6	57.1	14.3	-	-	-	-	1.9
	10 頭 未 満	185	0.5	25.9	55.1	12.4	2.7	3.2	-	-	2.0
	20 頭 未 満	412	1.0	16.5	59.0	14.1	5.1	3.6	-	0.7	2.2
	30 頭 未 満	464	1.1	8.2	61.4	19.6	6.9	2.8	-	-	2.4
	40 頭 未 満	421	0.5	7.8	48.0	30.6	10.9	1.9	-	0.2	2.5
	50 頭 未 満	336	0.9	6.5	40.5	35.7	12.8	3.6	-	-	2.7
	75 頭 未 満	443	0.5	3.4	29.8	37.7	22.6	5.4	-	0.7	3.0
	100 頭 未 満	160	-	1.3	22.5	40.6	25.6	10.0	-	-	3.3
	150 頭 未 満	86	-	4.7	19.8	41.9	23.3	8.1	-	2.3	3.2
	150 頭 以上	67	3.0	3.0	16.4	25.4	29.9	20.9	-	1.5	3.6
無 回 答	12	-	25.0	41.7	16.7	-	8.3	-	8.3	2.5	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	2.5
	10 頭 未 満	5	-	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-	3.0
	20 頭 未 満	21	4.8	9.5	52.4	9.5	19.0	-	-	4.8	2.3
	30 頭 未 満	58	-	10.3	65.5	17.2	6.9	-	-	-	2.2
	40 頭 未 満	96	-	9.4	49.0	24.0	14.6	3.1	-	-	2.5
	50 頭 未 満	132	0.8	9.8	53.0	19.7	10.6	6.1	-	-	2.6
	75 頭 未 満	250	0.4	0.8	37.2	32.4	22.0	6.8	-	0.4	3.0
	100 頭 未 満	99	-	1.0	25.3	34.3	26.3	13.1	-	-	3.4
	150 頭 未 満	55	-	3.6	20.0	43.6	20.0	10.9	-	1.8	3.3
	150 頭 以上	48	-	2.1	18.8	25.0	29.2	25.0	-	-	3.8
無 回 答	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	1.7	
経産牛飼養頭数(都府県)	5 頭 未 満	47	-	29.8	57.4	12.8	-	-	-	-	1.8
	10 頭 未 満	180	0.6	26.1	56.1	11.7	2.8	2.8	-	-	2.0
	20 頭 未 満	391	0.8	16.9	59.3	14.3	4.3	3.8	-	0.5	2.2
	30 頭 未 満	406	1.2	7.9	60.8	20.0	6.9	3.2	-	-	2.4
	40 頭 未 満	325	0.6	7.4	47.7	32.6	9.8	1.5	-	0.3	2.5
	50 頭 未 満	204	1.0	4.4	32.4	46.1	14.2	2.0	-	-	2.8
	75 頭 未 満	193	0.5	6.7	20.2	44.6	23.3	3.6	-	1.0	3.0
	100 頭 未 満	61	-	1.6	18.0	50.8	24.6	4.9	-	-	3.1
	150 頭 未 満	31	-	6.5	19.4	38.7	29.0	3.2	-	3.2	3.1
	150 頭 以上	19	10.5	5.3	10.5	26.3	31.6	10.5	-	5.3	3.2
無 回 答	9	-	22.2	33.3	22.2	-	11.1	-	11.1	2.8	
20年度調査 全体	2,443	0.1	8.6	45.1	30.0	11.6	4.2	0.2	0.2	2.6	

## (2) 家族以外の従事者数

全体としてみると、「家族以外の従事者」がいる経営（「0人・無回答を除く合計」）は12.5%で、その平均家族以外従事者数（「0人除く平均」）は2.5人であった。また、「家族以外の従事者」がいない経営も含めた平均（「0人含む平均」）は0.3人であった。

地域別にみると、「家族以外の従事者」がいる割合は、沖縄（25.0%）、東海（18.5%）、北海道（17.7%）で高く、東北（5.4%）で低い値を示した。但し、「家族以外の従事者」がいる経営に関して、その平均人数（「0人除く平均」）が最も多いのは四国と九州（それぞれ3.6人）であった。

経産牛飼養規模別には、「家族以外の従事者」がいる経営は、北海道では75頭規模、都府県では50頭規模を超えると目にみえて増加し始め、特に北海道では150頭規模、都府県では100頭規模を超えると急増するという傾向がみられた。また、その平均人数（「0人除く平均」）は、北海道、都府県ともに100頭規模を超えると増加する傾向を示している。

問2(2)②酪農経営従事者数（家族以外）＜数値回答＞

[単位：戸、%、人]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	合計 0人・ 無回答を 除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0人	1人	2人	3人	4人	5 ~ 9人	10人以上	無回答				
全体	2,635	86.2	6.2	3.0	1.3	0.5	1.2	0.3	1.3	12.5	0.3	2.5	
ブ ロ ッ ク	北海道 (都府県計)	769 1,866	79.5 89.0	9.0 5.1	4.4 2.4	1.6 1.2	0.9 0.3	1.3 1.1	0.5 0.2	2.9 10.3	0.5 0.3	2.5 17.7	
	東北	422	93.1	3.8	0.7	-	-	0.9	-	1.4	5.4	0.1	1.9
	関東	570	89.1	5.8	3.3	0.7	-	1.1	-	-	10.9	0.2	2.0
	北陸	66	86.4	6.1	3.0	1.5	1.5	1.5	-	-	13.6	0.3	2.4
	東海	151	81.5	7.3	4.0	3.3	1.3	2.6	-	-	18.5	0.5	2.5
	近畿	108	83.3	6.5	4.6	1.9	0.9	-	-	2.8	13.9	0.3	1.8
	中国	140	87.9	5.0	1.4	2.1	0.7	2.1	0.7	-	12.0	0.4	3.2
	四国	83	90.4	3.6	2.4	-	-	3.6	-	-	9.6	0.3	3.6
	九州	314	90.1	4.5	1.3	2.2	0.3	-	1.0	0.6	9.3	0.3	3.6
	沖縄	12	75.0	-	16.7	8.3	-	-	-	-	25.0	0.6	2.3
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	98.0	-	-	2.0	-	-	-	-	2.0	0.1	3.0
	10頭未満	185	97.8	1.1	-	-	-	-	-	1.1	1.1	0.0	1.0
	20頭未満	412	95.4	1.7	1.2	-	-	0.5	-	1.2	3.4	0.1	2.1
	30頭未満	464	95.3	2.8	0.2	0.9	0.2	-	-	0.6	4.1	0.1	1.6
	40頭未満	421	91.2	6.2	1.0	0.5	-	0.7	-	0.5	8.4	0.1	1.6
	50頭未満	336	89.0	6.8	3.0	0.6	-	-	-	0.6	10.4	0.1	1.4
	75頭未満	443	81.9	10.2	3.4	1.1	0.5	0.2	-	2.7	15.4	0.2	1.5
	100頭未満	160	64.4	17.5	10.6	3.1	2.5	-	-	1.9	33.7	0.6	1.7
	150頭未満	86	45.3	15.1	16.3	11.6	-	9.3	-	2.3	52.3	1.4	2.7
	150頭以上	67	16.4	9.0	17.9	9.0	9.0	25.4	11.9	1.5	82.2	5.0	6.0
無回答	12	75.0	8.3	8.3	-	-	-	-	-	8.3	0.3	1.5	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10頭未満	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20頭未満	21	85.7	4.8	-	-	-	-	-	9.5	4.8	0.1	1.0
	30頭未満	58	93.1	1.7	1.7	-	-	-	-	3.4	3.4	0.1	1.5
	40頭未満	96	87.5	9.4	1.0	1.0	-	-	-	1.0	11.4	0.1	1.3
	50頭未満	132	87.1	6.8	5.3	-	-	-	-	0.8	12.1	0.2	1.4
	75頭未満	250	86.0	8.0	0.8	0.4	0.4	-	-	4.4	9.6	0.1	1.3
	100頭未満	99	73.7	16.2	4.0	3.0	-	-	-	3.0	23.2	0.3	1.4
	150頭未満	55	60.0	14.5	14.5	5.5	-	1.8	-	3.6	36.3	0.7	2.0
	150頭以上	48	20.8	10.4	20.8	8.3	12.5	18.8	8.3	-	79.1	4.0	5.1
無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	0.7	2.0	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	97.9	-	-	2.1	-	-	-	-	2.1	0.1	3.0
	10頭未満	180	97.8	1.1	-	-	-	-	-	1.1	1.1	0.0	1.0
	20頭未満	391	95.9	1.5	1.3	-	-	0.5	-	0.8	3.3	0.1	2.2
	30頭未満	406	95.6	3.0	-	1.0	0.2	-	-	0.2	4.2	0.1	1.6
	40頭未満	325	92.3	5.2	0.9	0.3	-	0.9	-	0.3	7.3	0.1	1.8
	50頭未満	204	90.2	6.9	1.5	1.0	-	-	-	0.5	9.4	0.1	1.4
	75頭未満	193	76.7	13.0	6.7	2.1	0.5	0.5	-	0.5	22.8	0.4	1.6
	100頭未満	61	49.2	19.7	21.3	3.3	6.6	-	-	-	50.9	1.0	1.9
	150頭未満	31	19.4	16.1	19.4	22.6	-	22.6	-	-	80.7	2.6	3.3
	150頭以上	19	5.3	5.3	10.5	10.5	-	42.1	21.1	5.3	89.5	7.6	8.0
無回答	9	77.8	11.1	-	-	-	-	-	11.1	11.1	0.1	1.0	
20年度調査 全体	2,443	86.1	6.5	2.5	1.2	0.8	0.7	0.4	1.9	12.1	0.3	2.3	

## <参考1>酪農従事者1人当たり経産牛飼養頭数

酪農従事者1人当たり経産牛飼養頭数は、「家族酪農従事者数」「家族以外酪農従事者数」「経産牛飼養頭数」に関する調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{酪農従事者1人当たり経産牛飼養頭数} = \frac{\text{『経産牛飼養頭数』}}{\text{『(家族酪農従事者数) + (家族以外酪農従事者数)』}}$$

全体としてみると、『10頭未満』の経営が30.7%、『10～20頭未満』の経営が43.1%、『20頭以上』の経営が24.0%、『無回答・非該当』の経営が2.2%で、平均1人当たり飼養頭数は14.8頭であった。

地域別にみると、北海道は都府県に比べて『15頭以上』（北海道69.7%、都府県31.2%）の割合が著しく高く、平均1人当たり飼養頭数では北海道（21.1頭）は都府県（12.3頭）の1.7倍であった。また、都府県では沖縄で『15～25頭未満』（53.2%）の割合が非常に高く、平均1人当たり飼養頭数は16.9頭と北海道に次いで多かった。一方、東北では『10頭未満』（54.3%）の経営が著しく多く、平均1人当たり飼養頭数は9.8頭と10地域中最少であった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方について、飼養規模の増大に伴い平均1人当たり飼養頭数がほぼ直線的に上昇するという傾向が認められた。

<加工値>問2(2)①②・問4①② 酪農従事者1人当たり経産牛飼養頭数 <数値回答>

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	有効回答平均 (0含む)
		10頭未満	10～15頭未満	15～20頭未満	20～25頭未満	25～30頭未満	30～35頭未満	35～40頭未満	40～45頭未満	45頭以上	
全 体	2,635	30.7	24.6	18.5	11.6	5.2	4.9	1.7	0.6	2.2	14.8
北 海 道	769	10.4	16.3	22.2	19.2	10.9	11.1	4.9	1.4	3.5	21.1
(都府県計)	1,866	39.1	28.0	16.9	8.5	2.9	2.3	0.4	0.2	1.7	12.3
東 北	422	54.3	23.0	12.1	4.5	1.4	1.2	0.2	-	3.3	9.8
関 東	570	33.5	32.3	19.3	8.8	3.0	2.3	0.4	0.2	0.4	12.8
北 陸	66	37.9	28.8	15.2	10.6	4.5	3.0	-	-	-	12.8
東 海	151	31.8	33.8	14.6	11.9	3.3	2.6	-	-	2.0	13.2
近 畿	108	41.7	23.1	15.7	6.5	2.8	3.7	1.9	-	4.6	12.6
中 国	140	34.3	26.4	17.1	11.4	3.6	3.6	0.7	1.4	1.4	14.2
四 国	83	37.3	24.1	24.1	6.0	6.0	2.4	-	-	-	12.8
九 州	314	35.7	28.3	17.5	10.5	3.2	2.5	0.3	0.3	1.6	13.1
沖 縄	12	8.3	8.3	58.3	25.0	-	-	-	-	-	16.9
経産牛飼養頭数(全国)											
5頭未満	49	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9
10頭未満	185	98.4	-	-	-	-	-	-	-	1.6	4.2
20頭未満	412	82.0	8.5	7.0	-	-	-	-	-	2.4	7.5
30頭未満	464	31.5	59.5	-	5.8	1.9	-	-	-	1.3	11.4
40頭未満	421	14.7	32.5	46.8	-	-	5.2	-	-	0.7	14.5
50頭未満	336	5.4	33.3	19.0	37.8	-	-	3.9	-	0.6	17.5
75頭未満	443	2.7	17.6	33.4	18.3	14.0	10.6	-	0.2	3.2	20.1
100頭未満	160	1.3	4.4	21.9	28.1	23.8	11.9	6.9	-	1.9	24.4
150頭未満	86	-	3.5	11.6	19.8	22.1	26.7	7.0	5.8	3.5	29.2
150頭以上	67	1.5	-	6.0	13.4	14.9	25.4	22.4	13.4	3.0	35.6
無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
経産牛飼養頭数(北海道)											
5頭未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1
10頭未満	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3
20頭未満	21	81.0	-	4.8	-	-	-	-	-	14.3	6.9
30頭未満	58	25.9	60.3	-	6.9	3.4	-	-	-	3.4	12.2
40頭未満	96	19.8	29.2	44.8	-	-	5.2	-	-	1.0	14.6
50頭未満	132	8.3	20.5	15.2	48.5	-	-	6.8	-	0.8	19.2
75頭未満	250	3.6	12.8	32.4	14.8	17.2	14.4	-	-	4.8	20.9
100頭未満	99	1.0	2.0	22.2	25.3	23.2	13.1	10.1	-	3.0	25.6
150頭未満	55	-	1.8	5.5	18.2	18.2	34.5	10.9	7.3	3.6	32.0
150頭以上	48	2.1	-	2.1	16.7	12.5	25.0	27.1	14.6	-	36.7
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
経産牛飼養頭数(都府県)											
5頭未満	47	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0
10頭未満	180	98.3	-	-	-	-	-	-	-	1.7	4.2
20頭未満	391	82.1	9.0	7.2	-	-	-	-	-	1.8	7.6
30頭未満	406	32.3	59.4	-	5.7	1.7	-	-	-	1.0	11.3
40頭未満	325	13.2	33.5	47.4	-	-	5.2	-	-	0.6	14.5
50頭未満	204	3.4	41.7	21.6	30.9	-	-	2.0	-	0.5	16.4
75頭未満	193	1.6	23.8	34.7	22.8	9.8	5.7	-	0.5	1.0	19.1
100頭未満	61	1.6	8.2	21.3	32.8	24.6	9.8	1.6	-	-	22.5
150頭未満	31	-	6.5	22.6	22.6	29.0	12.9	-	3.2	3.2	24.3
150頭以上	19	-	-	15.8	5.3	21.1	26.3	10.5	10.5	10.5	32.5
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

## <参考2>酪農従事者1人当たり年間出荷乳量

酪農従事者1人当たり年間出荷乳量は、「家族酪農従事者数」「家族以外酪農従事者数」「年間出荷乳量（平成20年度）」に関する調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{酪農従事者1人当たり年間出荷乳量} = \frac{\text{年間出荷乳量}}{\text{家族酪農従事者数} + \text{家族以外酪農従事者数}}$$

全体的にみると、『100トン未満』の経営が45.3%、『100～200トン未満』の経営が38.9%、『200トン以上』の経営が11.7%、『無回答・非該当』の経営が4.1%で、平均1人当たり年間出荷乳量は115.8トンであった。

地域別には、北海道は都府県に比べて『100～200トン未満』（北海道49.3%、都府県34.6%）及び『200トン以上』（北海道24.1%、都府県6.7%）の割合が非常に高く、平均1人当たり年間出荷乳量は北海道（161.0トン）が都府県（97.4トン）を1.7倍上回った。また、都府県では、平均1人当たり年間出荷乳量でみると、中国（122.2トン）、沖縄（120.2トン）の水準が高く、東北（75.0トン）、四国（92.8トン）、近畿（94.8トン）の水準が低かった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県のいずれについても、飼養規模の増大に伴い平均1人当たり年間出荷乳量がほぼ直線的に上昇するという傾向が認められた。

<加工値>問2（2）①②・問6 酪農従事者1人当たり年間生乳出荷量 <数値回答>

[単位：戸、%、トン]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均 (0含む) 均	
		50トン未満	50～99トン	100～149トン	150～199トン	200～249トン	250～299トン	300～349トン	350～399トン	400～449トン	450～499トン		500トン以上
全体	2,635	18.2	27.1	25.7	13.2	5.6	2.8	2.6	0.5	0.2	4.1	115.8	
プロンク	北海道	769	4.3	17.3	28.9	20.4	10.3	5.7	6.6	1.0	0.5	4.9	161.0
	(都府県計)	1,866	23.9	31.1	24.4	10.2	3.7	1.7	1.0	0.2	0.1	3.8	97.4
	東北	422	37.4	28.0	17.3	6.6	1.9	0.7	0.2	0.2	-	7.6	75.0
	関東	570	18.9	33.7	29.8	10.4	3.5	1.8	1.2	0.2	0.2	0.4	103.0
	北陸	66	22.7	36.4	16.7	13.6	6.1	3.0	-	-	-	1.5	100.9
	東海	151	17.2	28.5	33.1	11.9	5.3	1.3	0.7	-	-	2.0	105.9
	近畿	108	25.0	31.5	20.4	5.6	3.7	2.8	0.9	0.9	-	9.3	94.8
	中国	140	17.1	25.0	24.3	14.3	5.7	2.1	3.6	0.7	0.7	6.4	122.2
	四国	83	27.7	34.9	21.7	8.4	4.8	2.4	-	-	-	-	92.8
	九州	314	20.7	32.8	21.7	13.4	4.1	1.9	1.0	-	-	4.5	101.2
沖縄	12	-	16.7	75.0	8.3	-	-	-	-	-	-	120.2	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	87.8	4.1	-	-	-	-	-	-	-	8.2	15.0
	10頭未満	185	83.2	11.4	0.5	-	-	-	-	-	-	4.9	27.6
	20頭未満	412	46.1	39.6	7.3	1.2	0.2	-	-	-	-	5.6	55.3
	30頭未満	464	14.2	50.2	27.2	3.2	1.5	-	0.2	-	-	3.4	86.3
	40頭未満	421	3.3	36.8	40.4	10.7	1.9	1.7	1.7	0.2	-	3.3	114.9
	50頭未満	336	1.5	23.2	42.6	22.3	6.3	0.3	2.1	0.3	-	1.5	135.5
	75頭未満	443	0.9	12.2	35.9	28.2	9.9	6.8	1.6	-	0.2	4.3	156.9
	100頭未満	160	-	1.9	21.9	31.9	23.1	8.1	7.5	1.3	-	4.4	196.7
	150頭未満	86	-	2.3	10.5	24.4	20.9	17.4	18.6	1.2	1.2	3.5	233.0
	150頭以上	67	-	1.5	3.0	13.4	17.9	13.4	28.4	10.4	6.0	6.0	296.1
無回答	12	25.0	8.3	16.7	8.3	-	-	-	-	-	41.7	75.7	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	10頭未満	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.3
	20頭未満	21	57.1	28.6	-	-	-	-	-	-	-	14.3	45.8
	30頭未満	58	12.1	44.8	29.3	1.7	1.7	-	1.7	-	-	8.6	92.4
	40頭未満	96	5.2	39.6	42.7	4.2	3.1	1.0	1.0	-	-	3.1	106.0
	50頭未満	132	2.3	22.0	37.1	24.2	8.3	0.8	3.0	-	-	2.3	140.0
	75頭未満	250	0.4	12.4	34.4	28.4	9.2	7.2	2.4	-	-	5.6	158.0
	100頭未満	99	-	2.0	23.2	26.3	23.2	9.1	10.1	2.0	-	4.0	201.8
	150頭未満	55	-	-	9.1	25.5	14.5	16.4	27.3	1.8	1.8	3.6	249.7
	150頭以上	48	-	2.1	-	16.7	20.8	12.5	29.2	10.4	6.3	2.1	297.4
無回答	3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	130.3	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	91.5	4.3	-	-	-	-	-	-	-	4.3	15.0
	10頭未満	180	82.8	11.7	0.6	-	-	-	-	-	-	5.0	27.9
	20頭未満	391	45.5	40.2	7.7	1.3	0.3	-	-	-	-	5.1	55.8
	30頭未満	406	14.5	51.0	26.8	3.4	1.5	-	-	-	-	2.7	85.5
	40頭未満	325	2.8	36.0	39.7	12.6	1.5	1.8	1.8	0.3	-	3.4	117.5
	50頭未満	204	1.0	24.0	46.1	21.1	4.9	-	1.5	0.5	-	1.0	132.6
	75頭未満	193	1.6	11.9	37.8	28.0	10.9	6.2	0.5	-	0.5	2.6	155.4
	100頭未満	61	-	1.6	19.7	41.0	23.0	6.6	3.3	-	-	4.9	188.5
	150頭未満	31	-	6.5	12.9	22.6	32.3	19.4	3.2	-	-	3.2	203.4
	150頭以上	19	-	-	10.5	5.3	10.5	15.8	26.3	10.5	5.3	15.8	292.2
無回答	9	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	44.4	53.8	

#### 4 酪農後継者の決定状況

16歳以上の子供がいる酪農家を対象として、後継者の決定状況を調べると以下の通りとなった（回答のあった経営のみに16歳以上の子供がいるとみなして、「無回答」を除いた集計値でみた）。

全体的としてみると、後継者が『既定 [決まっている]』の経営は30.5%、『未定 [決まっていない]』の経営は35.2%、『不在 [後継者はいない]』の経営は34.3%という状況であった。

地域別には、後継者が『既定』の割合は、北海道（37.3%）、九州（32.2%）で高く、中国（19.2%）、北陸（20.0%）、近畿（20.0%）で低い値を示した。

経産牛飼養規模別にみると、後継者『既定』の割合は、北海道では75頭規模を超えると急激に高まり、都府県では飼養規模の増大に伴いほぼ直線的に上昇するという傾向を示した。また、同じ規模層間で比較すると、一部の規模層を除けば、後継者『既定』の割合は北海道よりも都府県、『不在』の割合は都府県よりも北海道の方が高いという特徴がみられた。

問3 酪農後継者の決定状況<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	「無回答」含む				「無回答」除く			
		1 決ま つて い る	2 決ま つて い な い	3 後 継 者 は い な い	4 上 無 回 答 を 含 む （ 子 供 不 在 の 経 営 ）	1 決ま つて い る	2 決ま つて い な い	3 後 継 者 は い な い	
全 体	2,635	26.0	30.0	29.2	14.8	30.5	35.2	34.3	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	29.9	27.7	22.5	19.9	37.3	34.6	28.1
	(都府県計)	1,866	24.3	30.9	32.0	12.8	27.9	35.4	36.7
	東 北	422	26.3	35.8	24.4	13.5	30.4	41.4	28.2
	関 東	570	24.9	27.7	37.2	10.2	27.7	30.9	41.4
	北 陸	66	18.2	36.4	36.4	9.1	20.0	40.0	40.0
	東 海	151	25.2	31.1	29.1	14.6	29.5	36.4	34.1
	近 畿	108	17.6	38.0	32.4	12.0	20.0	43.2	36.8
	中 国	140	17.1	30.0	42.1	10.7	19.2	33.6	47.2
	四 国	83	26.5	19.3	38.6	15.7	31.4	22.9	45.7
	九 州	314	26.8	29.3	27.1	16.9	32.2	35.2	32.6
沖 縄	12	16.7	50.0	25.0	8.3	18.2	54.5	27.3	
経 産 牛 飼 養 頭 数 (全 国)	5 頭 未 満	49	10.2	34.7	53.1	2.0	10.4	35.4	54.2
	10 頭 未 満	185	10.8	32.4	50.3	6.5	11.6	34.7	53.8
	20 頭 未 満	412	14.6	30.1	43.0	12.4	16.6	34.3	49.0
	30 頭 未 満	464	17.2	34.5	36.2	12.1	19.6	39.2	41.2
	40 頭 未 満	421	24.7	28.5	31.4	15.4	29.2	33.7	37.1
	50 頭 未 満	336	30.4	31.5	23.5	14.6	35.5	36.9	27.5
	75 頭 未 満	443	33.6	28.0	16.7	21.7	42.9	35.7	21.3
	100 頭 未 満	160	54.4	21.9	5.6	18.1	66.4	26.7	6.9
	150 頭 未 満	86	46.5	29.1	8.1	16.3	55.6	34.7	9.7
	150 頭 以上	67	50.7	23.9	1.5	23.9	66.7	31.4	2.0
無 回 答	12	25.0	25.0	33.3	16.7	30.0	30.0	40.0	
経 産 牛 飼 養 頭 数 (北 海 道)	5 頭 未 満	2	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	10 頭 未 満	5	-	20.0	40.0	40.0	-	33.3	66.7
	20 頭 未 満	21	14.3	23.8	52.4	9.5	15.8	26.3	57.9
	30 頭 未 満	58	15.5	31.0	39.7	13.8	18.0	36.0	46.0
	40 頭 未 満	96	17.7	18.8	39.6	24.0	23.3	24.7	52.1
	50 頭 未 満	132	22.7	29.5	31.1	16.7	27.3	35.5	37.3
	75 頭 未 満	250	27.6	31.6	17.6	23.2	35.9	41.1	22.9
	100 頭 未 満	99	53.5	20.2	7.1	19.2	66.3	25.0	8.8
	150 頭 未 満	55	47.3	30.9	5.5	16.4	56.5	37.0	6.5
	150 頭 以上	48	47.9	29.2	2.1	20.8	60.5	36.8	2.6
無 回 答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3	
経 産 牛 飼 養 頭 数 (都 府 県)	5 頭 未 満	47	10.6	36.2	51.1	2.1	10.9	37.0	52.2
	10 頭 未 満	180	11.1	32.8	50.6	5.6	11.8	34.7	53.5
	20 頭 未 満	391	14.6	30.4	42.5	12.5	16.7	34.8	48.5
	30 頭 未 満	406	17.5	35.0	35.7	11.8	19.8	39.7	40.5
	40 頭 未 満	325	26.8	31.4	28.9	12.9	30.7	36.0	33.2
	50 頭 未 満	204	35.3	32.8	18.6	13.2	40.7	37.9	21.5
	75 頭 未 満	193	41.5	23.3	15.5	19.7	51.6	29.0	19.4
	100 頭 未 満	61	55.7	24.6	3.3	16.4	66.7	29.4	3.9
	150 頭 未 満	31	45.2	25.8	12.9	16.1	53.8	30.8	15.4
	150 頭 以上	19	57.9	10.5	-	31.6	84.6	15.4	-
無 回 答	9	33.3	11.1	33.3	22.2	42.9	14.3	42.9	
20年度調査 全体	2,443	26.7	30.0	26.4	16.9	32.1	36.1	31.8	

## <参考>担い手の確保状況

担い手確保率は、「経営主年齢」「後継者の決定状況」の調査結果を用いて次式により推定した。

担い手確保率＝『経営主が50歳未満の割合』

＋『経営主が50歳以上又は年齢不詳で、後継者（16歳以上）が既定の割合』

全体としては、『経営主が50歳未満』の経営が26.9%、『経営主が50歳以上又は年齢不詳で、後継者（16歳以上）が既定』の経営が23.4%で、担い手確保率は50.3%であった。

地域別にみると、担い手確保率は、北海道（64.3%）が最も高く、続いて九州（53.1%）、東海（51.0%）、沖縄（50.0%）で比較的高い値を示した。これに対して、近畿（32.4%）、北陸（36.4%）、四国（39.8%）、中国（40.0%）の担い手確保率は相対的に低率であった。

また、経産牛飼養規模別には、北海道、都府県ともに、担い手確保率は「75～100頭未満」規模（北海道87.9%、都府県91.8%）までは飼養規模の増大に伴い上昇するが、これを超えると若干低下するという傾向がみられた。

<加工値>問1・問3 担い手確保状況<数値回答、単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1					2	3	4	5	2 担い手確保（1＋）
		経営主50歳未満	経営主50歳未満あり（経営主50歳未満を除外）	後継者あり（経営主50歳未満を除外）	後継者あり（経営主50歳未満を除外）	後継者あり（経営主50歳未満を除外）					
全 体	2,635	26.9	23.4	20.9	23.5	5.2	50.3				
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	38.8	25.5	15.2	16.3	4.3	64.3			
	(都府県計)	1,866	22.1	22.6	23.3	26.5	5.6	44.7			
	東 北	422	21.1	24.2	29.6	19.2	5.9	45.3			
	関 東	570	19.8	23.0	21.6	31.4	4.2	42.8			
	北 陸	66	19.7	16.7	27.3	30.3	6.1	36.4			
	東 海	151	27.8	23.2	19.9	26.5	2.6	51.0			
	近 畿	108	14.8	17.6	29.6	30.6	7.4	32.4			
	中 国	140	24.3	15.7	22.9	34.3	2.9	40.0			
	四 国	83	14.5	25.3	12.0	36.1	12.0	39.8			
九 州	314	28.3	24.8	19.4	19.4	8.0	53.1				
沖 縄	12	33.3	16.7	33.3	16.7	-	50.0				
経産牛飼養頭数（全国）	5 頭 未 満	49	6.1	10.2	32.7	49.0	2.0	16.3			
	10 頭 未 満	185	10.8	10.3	29.7	43.8	5.4	21.1			
	20 頭 未 満	412	16.3	13.3	26.7	36.7	7.0	29.6			
	30 頭 未 満	464	19.6	15.9	28.2	31.0	5.2	35.5			
	40 頭 未 満	421	26.8	22.8	19.5	24.9	5.9	49.6			
	50 頭 未 満	336	35.7	26.8	17.6	16.7	3.3	62.5			
	75 頭 未 満	443	38.8	30.0	14.7	10.6	5.9	68.8			
	100 頭 未 満	160	40.6	48.8	6.9	1.3	2.5	89.4			
	150 頭 未 満	86	37.2	40.7	14.0	4.7	3.5	77.9			
	150 頭 以上	67	37.3	43.3	13.4	1.5	4.5	80.6			
	無 回 答	12	16.7	25.0	16.7	33.3	8.3	41.7			
経産牛飼養頭数（北海道）	5 頭 未 満	2	-	-	-	100.0	-	0.0			
	10 頭 未 満	5	40.0	-	20.0	20.0	20.0	40.0			
	20 頭 未 満	21	19.0	14.3	19.0	38.1	9.5	33.3			
	30 頭 未 満	58	17.2	13.8	27.6	36.2	5.2	31.0			
	40 頭 未 満	96	34.4	13.5	12.5	33.3	6.3	47.9			
	50 頭 未 満	132	39.4	19.7	16.7	22.7	1.5	59.1			
	75 頭 未 満	250	45.6	23.6	15.2	10.4	5.2	69.2			
	100 頭 未 満	99	41.4	46.5	7.1	2.0	3.0	87.9			
	150 頭 未 満	55	41.8	40.0	14.5	1.8	1.8	81.8			
	150 頭 以上	48	37.5	39.6	16.7	2.1	4.2	77.1			
	無 回 答	3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3			
経産牛飼養頭数（都府県）	5 頭 未 満	47	6.4	10.6	34.0	46.8	2.1	17.0			
	10 頭 未 満	180	10.0	10.6	30.0	44.4	5.0	20.6			
	20 頭 未 満	391	16.1	13.3	27.1	36.6	6.9	29.4			
	30 頭 未 満	406	20.0	16.3	28.3	30.3	5.2	36.3			
	40 頭 未 満	325	24.6	25.5	21.5	22.5	5.8	50.1			
	50 頭 未 満	204	33.3	31.4	18.1	12.7	4.4	64.7			
	75 頭 未 満	193	30.1	38.3	14.0	10.9	6.7	68.4			
	100 頭 未 満	61	39.3	52.5	6.6	-	1.6	91.8			
	150 頭 未 満	31	29.0	41.9	12.9	9.7	6.5	70.9			
	150 頭 以上	19	36.8	52.6	5.3	-	5.3	89.4			
	無 回 答	9	11.1	33.3	11.1	33.3	11.1	44.4			
20年度調査 全体	2,443	28.2	23.7	20.1	21.1	6.9	51.9				

## 5 牛の飼養頭数

### (1) 乳用牛（経産牛）

全体としてみると、20頭未満の経営（24.5%）が1/4、20～50頭未満の経営（46.4%）が1/2弱、50頭以上の経営（28.7%）が1/4強という構成になっており、平均飼養頭数は44.0頭であった。

地域別にみると、北海道と都府県では40頭未満の割合（北海道23.7%、都府県76.0%）と40頭以上の割合（北海道72.3%、都府県27.2%）がほぼ逆転しており、北海道の平均飼養頭数（68.4頭）は都府県の平均飼養頭数（33.9頭）の約2倍であった。

なお、都府県では、平均飼養規模でみると沖縄（44.0頭）が最大、東北（24.3頭）が最少となっており、沖縄では30～50頭未満の経営（58.3%）が約6割を占めるのに対して、東北では5～20頭未満の経営（46.4%）が約5割を占めるという状況であった。

問4① 乳用牛飼養頭数（経産牛）＜数値回答＞

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	有効回答平均	
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～20頭未満	20～30頭未満	30～40頭未満	40～50頭未満	50～75頭未満	75～100頭未満	100～150頭未満	150頭以上	無回答		
全体	2,635	-	1.9	7.0	15.6	17.6	16.0	12.8	16.8	6.1	3.3	2.5	0.5	44.0	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	-	0.3	0.7	2.7	7.5	12.5	17.2	32.5	12.9	7.2	6.2	0.4	68.4
	(都府県計)	1,866	-	2.5	9.6	21.0	21.8	17.4	10.9	10.3	3.3	1.7	1.0	0.5	33.9
	東北	422	-	4.0	17.5	28.9	17.8	13.5	8.1	6.6	1.2	0.7	0.2	1.4	24.3
	関東	570	-	2.3	7.7	18.1	23.3	19.5	13.3	10.0	3.2	1.6	0.9	0.2	33.3
	北陸	66	-	3.0	13.6	18.2	21.2	19.7	7.6	13.6	1.5	-	1.5	-	30.9
	東海	151	-	3.3	5.3	13.9	23.8	19.2	11.3	13.9	5.3	3.3	0.7	-	39.0
	近畿	108	-	2.8	12.0	17.6	24.1	22.2	4.6	11.1	0.9	2.8	1.9	-	40.2
	中国	140	-	2.9	10.0	20.0	20.7	13.6	14.3	8.6	6.4	1.4	2.1	-	41.4
	四国	83	-	1.2	8.4	24.1	24.1	8.4	13.3	10.8	6.0	1.2	2.4	-	36.6
	九州	314	-	0.6	3.5	20.7	22.9	19.4	10.5	13.7	4.1	2.5	1.3	0.6	39.5
沖縄	12	-	-	-	8.3	8.3	33.3	25.0	16.7	8.3	-	-	-	44.0	
経産牛飼養頭数（全国）	5頭未満	49	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	
	10頭未満	185	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	
	20頭未満	412	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	14.4	
	30頭未満	464	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	24.3	
	40頭未満	421	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	33.8	
	50頭未満	336	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	43.6	
	75頭未満	443	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	59.0	
	100頭未満	160	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	85.0	
	150頭未満	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	119.3	
	150頭以上	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	266.9	
無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
経産牛飼養頭数（北海道）	5頭未満	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	
	10頭未満	5	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	7.6	
	20頭未満	21	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	14.5	
	30頭未満	58	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	24.6	
	40頭未満	96	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	34.5	
	50頭未満	132	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	43.9	
	75頭未満	250	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	59.2	
	100頭未満	99	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	84.6	
	150頭未満	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	117.3	
	150頭以上	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	247.8	
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
経産牛飼養頭数（都府県）	5頭未満	47	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	
	10頭未満	180	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	
	20頭未満	391	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	14.4	
	30頭未満	406	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	24.2	
	40頭未満	325	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	33.5	
	50頭未満	204	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	43.4	
	75頭未満	193	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	58.7	
	100頭未満	61	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	85.8	
	150頭未満	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	122.9	
	150頭以上	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	315.1	
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
20年度調査 全体	2,443	-	0.8	5.6	16.5	17.6	18.0	12.7	15.7	6.1	4.2	2.6	0.2	45.0	

## (2) 乳用牛（未經産牛）

全体としてみると、5頭未満の経営（27.9%）が1/4強、5～30頭未満の経営（45.6%）が1/2弱、30頭以上の経営（22.0%）が1/4弱となっており、平均飼養頭数（「0頭含む平均」）は20.1頭であった。

地域別にみると、北海道では20頭以上の経営（73.5%）が7割強を占めるのに対して、都府県では20頭未満の経営（77.7%）が8割弱を占めており、北海道の平均飼養頭数（「0頭含む平均」；40.4頭）は都府県の平均飼養頭数（「0頭含む平均」；11.4頭）の3.6倍であった。なお、都府県では、北陸で『非飼養（0頭）』（25.8%）と『1～5頭未満』（47.0%）、沖縄で『非飼養（0頭）』（33.3%）と『5～10頭未満』（25.0%）の割合が高く、平均飼養頭数（「0頭含む平均」；北陸5.2頭、沖縄7.4頭）が特に少なかった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方について、飼養規模の増大に伴い平均未經産牛飼養頭数も増加するという傾向がみられた。ただし、経産牛飼養規模別の平均未經産牛飼養頭数は、いずれの規模層でも北海道が都府県を大幅に上回った。

問4② 乳用牛飼養頭数（未經産牛）＜数値回答＞

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	飼養頭数												合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～20頭未満	20～30頭未満	30～40頭未満	40～50頭未満	50～75頭未満	75～100頭未満	100～150頭未満	150頭以上	無回答			
全 体	2,635	7.4	20.5	14.8	19.7	11.1	8.3	4.6	5.8	1.3	1.3	0.7	4.4	88.1	20.1	21.8
北 海 道	769	1.3	3.4	4.9	15.6	17.3	18.3	12.4	16.0	3.3	4.2	2.0	1.4	97.4	40.4	40.9
(都府県計)	1,866	9.9	27.6	18.8	21.4	8.5	4.2	1.4	1.7	0.4	0.2	0.2	5.6	84.4	11.4	12.7
東 北	422	7.1	33.2	21.1	19.0	7.6	2.6	0.9	0.5	-	-	-	8.1	84.9	8.7	9.4
関 東	570	10.7	25.1	16.8	22.8	8.8	5.6	1.2	1.6	1.1	-	-	6.3	83.0	11.6	13.1
北 陸	66	25.8	47.0	6.1	16.7	1.5	1.5	1.5	-	-	-	-	-	74.3	5.2	7.0
東 海	151	9.3	25.8	20.5	21.2	9.3	2.0	-	3.3	-	-	-	8.6	82.1	10.3	11.5
近 畿	108	15.7	35.2	15.7	23.1	6.5	-	0.9	0.9	-	0.9	-	0.9	83.2	8.5	10.1
中 国	140	4.3	26.4	17.9	22.1	10.7	5.7	3.6	2.1	-	0.7	1.4	5.0	90.6	18.0	18.8
四 国	83	12.0	24.1	21.7	21.7	8.4	2.4	2.4	2.4	1.2	-	1.2	2.4	85.5	14.1	16.1
九 州	314	8.0	20.7	21.7	22.9	10.2	6.7	2.2	2.9	0.3	0.3	0.3	3.8	88.2	13.7	15.0
沖 縄	12	33.3	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	66.6	7.4	11.1
経産牛飼養頭数（全国）																
5頭未満	49	22.4	53.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.5	53.1	1.6	2.3
10頭未満	185	26.5	47.0	10.3	0.5	-	-	-	-	-	-	-	15.7	57.8	1.9	2.7
20頭未満	412	9.7	48.8	25.5	8.0	-	-	-	-	-	-	-	8.0	82.3	4.1	4.6
30頭未満	464	6.9	25.4	27.6	30.4	5.6	-	-	-	-	-	-	4.1	89.0	8.1	8.7
40頭未満	421	5.9	12.6	17.3	43.0	16.2	2.9	0.7	-	0.2	-	-	1.2	92.9	12.7	13.5
50頭未満	336	4.5	5.7	10.4	25.3	33.3	16.1	3.0	0.9	-	-	-	0.9	94.7	19.5	20.4
75頭未満	443	2.7	6.8	4.7	14.2	16.0	26.9	17.8	9.7	-	0.2	-	0.9	96.3	28.8	29.6
100頭未満	160	1.9	3.1	1.3	5.6	3.1	20.0	15.6	46.3	1.9	0.6	-	0.6	97.5	44.6	45.4
150頭未満	86	4.7	1.2	1.2	5.8	3.5	1.2	4.7	32.6	25.6	17.4	-	2.3	93.2	65.8	69.0
150頭以上	67	3.0	1.5	4.5	3.0	10.4	3.0	-	9.0	10.4	26.9	28.4	-	97.1	120.1	123.8
無 回 答	12	8.3	-	16.7	-	-	-	8.3	-	-	-	-	66.7	25.0	14.0	18.7
経産牛飼養頭数（北海道）																
5頭未満	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	4.0	4.0
10頭未満	5	-	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	80.0	2.5	2.5
20頭未満	21	-	42.9	23.8	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	6.8	6.8
30頭未満	58	6.9	5.2	20.7	46.6	19.0	-	-	-	-	-	-	1.7	91.5	12.2	13.1
40頭未満	96	2.1	4.2	11.5	36.5	32.3	10.4	3.1	-	-	-	-	-	98.0	18.9	19.3
50頭未満	132	0.8	3.0	19.7	39.4	26.5	6.8	1.5	-	-	-	-	1.5	97.7	25.5	25.7
75頭未満	250	0.4	1.2	1.6	8.0	13.6	31.6	26.8	15.2	-	0.4	-	1.2	98.4	36.0	36.1
100頭未満	99	1.0	-	-	4.0	3.0	14.1	13.1	60.6	3.0	1.0	-	-	98.8	50.7	51.3
150頭未満	55	-	-	-	1.8	-	1.8	3.6	32.7	32.7	25.5	-	1.8	98.1	80.3	80.3
150頭以上	48	2.1	2.1	4.2	-	4.2	4.2	-	10.4	8.3	33.3	31.3	-	98.0	132.3	135.1
無 回 答	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	41.0	41.0
経産牛飼養頭数（都府県）																
5頭未満	47	23.4	53.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23.4	53.2	1.5	2.2
10頭未満	180	27.2	46.1	10.6	0.6	-	-	-	-	-	-	-	15.6	57.3	1.8	2.7
20頭未満	391	10.2	49.1	25.6	6.6	-	-	-	-	-	-	-	8.4	81.3	4.0	4.5
30頭未満	406	6.9	28.3	28.6	28.1	3.7	-	-	-	-	-	-	4.4	88.7	7.5	8.1
40頭未満	325	7.1	15.1	19.1	44.9	11.4	0.6	-	-	0.3	-	-	1.5	91.4	10.8	11.7
50頭未満	204	6.9	8.8	15.2	28.9	29.4	9.3	0.5	0.5	-	-	-	0.5	92.6	15.6	16.8
75頭未満	193	5.7	14.0	8.8	22.3	19.2	20.7	6.2	2.6	-	-	-	0.5	93.8	19.5	20.7
100頭未満	61	3.3	8.2	3.3	8.2	3.3	29.5	19.7	23.0	-	-	-	1.6	95.2	34.5	35.6
150頭未満	31	12.9	3.2	3.2	12.9	9.7	-	6.5	32.3	12.9	3.2	-	3.2	83.9	39.6	45.7
150頭以上	19	5.3	-	5.3	10.5	26.3	-	-	5.3	15.8	10.5	21.1	-	94.8	89.1	94.1
無 回 答	9	11.1	-	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	22.2	5.0	7.5
20年度調査 全体	2,443	9.0	20.5	16.9	19.7	12.2	7.5	4.3	5.5	1.5	0.9	0.5	1.6	89.5	18.9	20.8

<参考> 未経産牛／経産牛比率

未経産牛／経産牛比率は、「未経産牛飼養頭数」と「経産牛飼養頭数」の調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{未経産牛／経産牛比率} = \frac{\text{『未経産牛飼養頭数』}}{\text{『経産牛飼養頭数』}}$$

全体的には、『0.2未満』(25.8%)、『0.2～0.4未満』(23.7%)、『0.4～0.6未満』(21.6%)、『0.6以上』(24.3%)の割合がおおむね1/4ずつという構成になっており、平均未経産牛／経産牛比率(0を含む)は0.40であった。

地域別にみると、北海道と都府県では『0.4未満』の割合(北海道19.8%、都府県61.8%)と『0.5以上』の割合(北海道67.3%、都府県22.0%)がほぼ逆転しており、北海道平均(0を含む; 0.58)は都府県平均(0を含む; 0.32)を2倍近く上回った。なお、都府県では、平均未経産牛／経産牛比率(0を含む)は中国(0.37)、東北(0.35)で比較的高く、沖縄(0.15)、北陸(0.18)で特に低率であった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方において、「5頭未満」規模を除けば、平均未経産牛／経産牛比率(0を含む)は飼養規模の増大に伴い一旦上昇するが、一定規模(北海道150頭、都府県100頭)を超えると逆に低下に転ずるといった傾向がみられた。また、経産牛飼養規模別の均未経産牛飼養頭数は、いずれの規模層についても北海道が都府県を大幅に上回った。

<加工値>問4①・問4② 未経産牛／経産牛比率<数値回答>

[単位:戸、%、対比]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0・0	0・1未満 (ゼロを除く)	満0・1未満	満0・2未満	満0・3未満	満0・4未満	満0・5未満	満0・6未満	満0・7以上	無回答・非該当			
全体	2,635	7.3	7.3	11.2	11.9	11.8	10.7	10.9	10.7	13.6	4.6	0.40	0.43	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	1.3	1.4	4.0	6.2	6.9	11.2	14.8	20.8	31.7	1.6	0.58	0.59
	(都府県計)	1,866	9.8	9.8	14.1	14.3	13.8	10.5	9.3	6.5	6.2	5.8	0.32	0.35
	東北	422	6.9	8.8	14.2	13.5	12.1	10.4	10.4	7.3	8.1	8.3	0.35	0.38
	関東	570	10.7	8.8	12.3	16.1	15.3	8.9	8.9	7.2	5.3	6.5	0.31	0.35
	北陸	66	25.8	28.8	18.2	7.6	4.5	1.5	4.5	3.0	6.1	-	0.18	0.24
	北海道	151	9.3	17.2	11.9	11.3	11.9	12.6	7.3	5.3	4.6	8.6	0.28	0.31
	近畿	108	15.7	16.7	12.0	9.3	24.1	8.3	6.5	1.9	4.6	0.9	0.26	0.30
	中国	140	4.3	4.3	12.9	15.0	17.1	13.6	15.0	8.6	4.3	5.0	0.37	0.38
	四国	83	12.0	7.2	18.1	13.3	9.6	12.0	7.2	6.0	12.0	2.4	0.34	0.39
	九州	314	8.0	5.7	17.5	16.6	12.1	13.7	9.6	6.7	6.1	4.1	0.33	0.36
沖縄	12	33.3	16.7	16.7	8.3	16.7	-	8.3	-	-	-	0.15	0.22	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	22.4	-	-	8.2	4.1	-	6.1	10.2	24.5	24.5	0.56	0.80
	10頭未満	185	26.5	-	14.6	13.0	7.6	4.9	6.5	3.8	7.6	15.7	0.26	0.39
	20頭未満	412	9.7	7.3	19.2	18.9	12.1	8.3	6.6	5.3	4.6	8.0	0.29	0.32
	30頭未満	464	6.9	11.0	14.7	14.9	13.8	11.4	8.6	6.0	8.6	4.1	0.33	0.36
	40頭未満	421	5.9	8.3	11.4	13.5	16.9	12.8	12.8	9.3	7.8	1.2	0.37	0.40
	50頭未満	336	4.5	5.4	8.3	11.6	10.7	14.9	14.0	13.4	16.4	0.9	0.45	0.47
	75頭未満	443	2.7	8.1	6.3	7.9	9.3	10.8	15.3	16.5	22.1	0.9	0.49	0.50
	100頭未満	160	1.9	4.4	4.4	3.1	13.8	12.5	11.9	22.5	25.0	0.6	0.53	0.54
	150頭未満	86	4.7	4.7	5.8	1.2	5.8	7.0	14.0	23.3	31.4	2.3	0.56	0.59
	150頭以上	67	3.0	17.9	6.0	3.0	7.5	11.9	9.0	10.4	31.3	-	0.48	0.49
無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	2.00	2.00
	10頭未満	5	-	-	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	0.33	0.33
	20頭未満	21	-	-	14.3	19.0	14.3	9.5	9.5	14.3	19.0	-	0.48	0.48
	30頭未満	58	6.9	-	5.2	12.1	8.6	12.1	24.1	6.9	22.4	1.7	0.49	0.53
	40頭未満	96	2.1	1.0	5.2	11.5	9.4	13.5	13.5	17.7	26.0	-	0.55	0.56
	50頭未満	132	0.8	0.8	2.3	7.6	7.6	13.6	17.4	18.9	29.5	1.5	0.58	0.58
	75頭未満	250	0.4	2.0	2.8	4.4	4.4	12.0	16.8	21.6	34.4	1.2	0.61	0.61
	100頭未満	99	1.0	-	4.0	3.0	9.1	9.1	10.1	30.3	33.3	-	0.60	0.61
	150頭未満	55	-	-	1.8	-	5.5	3.6	7.3	36.4	43.6	1.8	0.68	0.68
	150頭以上	48	2.1	8.3	6.3	4.2	6.3	8.3	10.4	14.6	39.6	-	0.56	0.57
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	23.4	-	-	8.5	4.3	-	6.4	10.6	23.4	23.4	0.52	0.75
	10頭未満	180	27.2	-	13.9	13.3	7.8	4.4	6.1	3.9	7.8	15.6	0.26	0.39
	20頭未満	391	10.2	7.7	19.4	18.9	12.0	8.2	6.4	4.9	3.8	8.4	0.28	0.31
	30頭未満	406	6.9	12.6	16.0	15.3	14.5	11.3	6.4	5.9	6.7	4.4	0.31	0.33
	40頭未満	325	7.1	10.5	13.2	14.2	19.1	12.6	12.6	6.8	2.5	1.5	0.32	0.35
	50頭未満	204	6.9	8.3	12.3	14.2	12.7	15.7	11.8	9.8	7.8	0.5	0.36	0.39
	75頭未満	193	5.7	16.1	10.9	12.4	15.5	9.3	13.5	9.8	6.2	0.5	0.33	0.35
	100頭未満	61	3.3	11.5	4.9	3.3	21.3	18.0	14.8	9.8	11.5	1.6	0.41	0.42
	150頭未満	31	12.9	12.9	12.9	3.2	6.5	12.9	25.8	-	9.7	3.2	0.33	0.38
	150頭以上	19	5.3	42.1	5.3	-	10.5	21.1	5.3	-	10.5	-	0.28	0.29
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	

### (3) 肉用牛（繁殖雌牛）

全体的にみると、繁殖雌牛を飼養する経営（「0頭・無回答を除く合計」）は15.2%で、その平均飼養頭数（「0頭を除く平均」）は15.7頭であった。また、繁殖雌牛の非飼養経営も含めた平均飼養頭数（「0頭含む平均」）は2.4頭であった。

地域別には、飼養経営の割合は沖縄（41.7%）、九州（29.7%）で高く、北海道（9.1%）、近畿（9.3%）で低率であった。一方、飼養経営の平均飼養規模（「0頭を除く平均」）は、北海道（16.6頭）で大きく、四国（3.2頭）、東海（5.5頭）で小さかった。

経産牛飼養規模別にみると、都府県では、経産牛飼養規模の大きい層ほど繁殖雌牛を飼養する割合が高くなるという傾向が認められた。一方、北海道では、調査票回収数の少ない『10頭未満』層を除けば、繁殖雌牛飼養経営の割合は『10～30頭未満』層と『150頭以上』層の両極で高く、その中間の層で低いという特徴がみられた。

問4③ 繁殖雌牛＜数値回答＞

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～20頭未満	20～30頭未満	30～40頭未満	40～50頭未満	50～75頭未満	75～100頭未満	100～150頭未満	150頭以上	無回答				
全体	2,635	82.9	6.6	3.5	2.8	1.1	0.6	0.1	0.3	0.1	0.1	-	1.9	15.2	2.4	15.7	
プロック	北海道 (都府県計)	769 1,866	90.6 79.7	3.4 8.0	1.2 4.4	1.7 3.3	1.0 1.1	0.9 0.4	- 0.2	0.5 0.2	0.3 0.1	0.1 0.1	- -	0.3 2.6	9.1 17.8	1.5 1.6	16.6 8.9
	東北	422	77.7	9.7	4.7	3.8	0.5	-	0.5	-	-	-	-	3.1	19.2	1.4	6.8
	関東	570	85.1	6.0	4.2	2.8	1.2	-	-	-	-	-	-	0.7	14.2	1.1	7.4
	北陸	66	74.2	7.6	1.5	3.0	3.0	1.5	-	-	-	-	-	9.1	16.6	2.0	11.0
	東海	151	86.8	8.6	1.3	1.3	1.3	-	-	-	-	-	-	0.7	12.5	0.7	5.5
	近畿	108	85.2	2.8	0.9	2.8	1.9	0.9	-	-	-	-	-	5.6	9.3	1.3	13.2
	中国	140	82.9	5.7	4.3	2.1	1.4	-	-	-	-	0.7	-	2.9	14.2	1.8	12.4
	四国	83	75.9	8.4	3.6	-	-	-	-	-	-	-	-	12.0	12.0	0.4	3.2
	九州	314	69.1	11.5	8.0	5.1	1.3	1.9	0.3	1.3	0.3	-	-	1.3	29.7	3.6	12.0
	沖縄	12	58.3	16.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	41.7	3.2	7.6
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	83.7	8.2	2.0	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	14.2	1.4	9.4
	10頭未満	185	83.2	7.0	0.5	2.7	-	0.5	-	-	-	-	-	5.9	10.7	0.8	7.0
	20頭未満	412	79.6	7.8	6.1	2.7	1.0	0.5	-	0.2	-	-	-	2.2	18.3	1.5	7.9
	30頭未満	464	79.3	6.7	3.7	4.7	1.1	0.9	0.2	0.4	-	-	-	3.0	17.7	1.9	10.6
	40頭未満	421	81.2	8.6	3.8	2.4	1.2	0.5	0.2	-	0.2	0.2	-	1.7	17.1	1.8	10.5
	50頭未満	336	87.2	5.7	2.1	2.1	1.2	-	-	0.3	-	-	-	1.5	11.4	0.9	8.1
	75頭未満	443	88.0	5.0	3.2	1.8	1.6	-	0.2	0.2	-	-	-	-	12.0	1.1	9.2
	100頭未満	160	81.9	5.0	4.4	4.4	1.3	1.3	-	-	0.6	-	-	1.3	17.0	2.1	12.2
	150頭未満	86	87.2	9.3	-	1.2	-	-	-	-	-	1.2	-	1.2	11.7	1.7	14.2
	150頭以上 無回答	67 12	80.6 75.0	1.5 8.3	3.0 8.3	1.5 8.3	3.0 -	4.5 -	- -	4.5 -	1.5 -	- -	- -	- -	19.5 24.9	5.9 1.3	30.5 5.3
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	100.0	17.5	17.5
	10頭未満	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	0.4	2.0
	20頭未満	21	85.7	-	4.8	4.8	4.8	-	-	-	-	-	-	-	14.4	1.9	13.0
	30頭未満	58	86.2	1.7	-	5.2	1.7	3.4	-	1.7	-	-	-	-	13.7	3.1	22.6
	40頭未満	96	89.6	5.2	-	2.1	-	1.0	-	-	-	1.0	-	1.0	9.3	2.0	20.9
	50頭未満	132	91.7	2.3	2.3	0.8	1.5	-	-	0.8	-	-	-	0.8	7.7	1.1	13.8
	75頭未満	250	94.4	3.2	1.2	0.4	0.8	-	-	-	-	-	-	-	5.6	0.4	6.8
	100頭未満	99	88.9	3.0	2.0	4.0	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	11.0	1.7	15.5
	150頭未満	55	94.5	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	0.1	2.0
	150頭以上 無回答	48 3	83.3 66.7	2.1 -	- -	- 33.3	4.2 -	4.2 -	- -	4.2 -	2.1 -	- -	- -	- -	16.8 33.3	6.1 3.3	36.8 10.0
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	87.2	6.4	2.1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	2.1	10.6	0.7	6.2
	10頭未満	180	83.3	6.7	0.6	2.8	-	0.6	-	-	-	-	-	6.1	10.7	0.8	7.2
	20頭未満	391	79.3	8.2	6.1	2.6	0.8	0.5	-	0.3	-	-	-	2.3	18.5	1.4	7.7
	30頭未満	406	78.3	7.4	4.2	4.7	1.0	0.5	0.2	0.2	-	-	-	3.4	18.2	1.8	9.3
	40頭未満	325	78.8	9.5	4.9	2.5	1.5	0.3	0.3	-	0.3	-	-	1.8	19.3	1.8	9.0
	50頭未満	204	84.3	7.8	2.0	2.9	1.0	-	-	-	-	-	-	2.0	13.7	0.8	6.0
	75頭未満	193	79.8	7.3	5.7	3.6	2.6	-	0.5	0.5	-	-	-	-	20.2	2.0	10.1
	100頭未満	61	70.5	8.2	8.2	4.9	3.3	1.6	-	-	-	-	-	3.3	26.2	2.7	9.9
	150頭未満	31	74.2	16.1	-	3.2	-	-	-	-	-	3.2	-	3.2	22.5	4.5	19.4
	150頭以上 無回答	19 9	73.7 77.8	- 11.1	10.5 11.1	5.3 -	- -	5.3 -	- -	5.3 -	- -	- -	- -	- -	26.4 22.2	5.4 0.7	20.6 3.0
20年度調査全体	2,443	69.4	8.1	2.8	2.6	1.3	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	-	15	15.6	1.6	8.7	

#### (4) 肉用牛（肥育牛）

全体的にみると、肥育牛を飼養する経営（「0頭・無回答を除く合計」）は9.6%で、その平均飼養頭数（「0頭除く平均」）は31.6頭であった。また、肥育牛の非飼養経営も含めた平均飼養頭数（「0頭含む平均」）は3.1頭であった。

地域別にみると、飼養経営の割合は九州（21.2%）、四国（20.4%）で高く、沖縄（0.0%）、北海道（4.4%）で低率であった。一方、飼養経営の平均飼養規模（「0頭除く平均」）は、北海道（111.3頭）、東海（47.5頭）が大きく、東北（8.3頭）、関東（10.9頭）、北陸（11.4頭）が小さかった。

経産牛飼養規模別には、北海道では、肥育牛飼養経営の割合が『10～20頭未満』層（9.6%）と『150頭以上』層（10.5%）で高く、その中間の層で低いという特徴がみられた。また、都府県では、経産牛飼養規模が50頭を超えると、規模の増大に伴い肥育牛飼養経営の割合が急激に上昇するという傾向が認められた。

問4④ 肥育牛<数値回答>

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～20頭未満	20～30頭未満	30～40頭未満	40～50頭未満	50～75頭未満	75～100頭未満	100～150頭未満	150頭以上	無回答				
全体	2,635	88.9	4.9	1.3	1.3	0.6	0.3	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	1.6	9.6	3.1	31.6	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	95.3	2.0	0.8	0.4	0.5	0.1	0.1	0.1	-	0.1	0.3	4.4	4.9	111.3	
	(都府県計)	1,866	86.3	6.1	1.5	1.7	0.6	0.4	0.2	0.4	0.1	0.4	0.3	2.1	11.7	2.3	19.2
	東北	422	89.3	5.7	0.2	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	-	-	-	2.8	7.6	0.7	8.3
	関東	570	91.4	4.9	1.1	1.4	0.5	0.4	0.2	-	-	-	0.2	-	8.7	0.9	10.9
	北陸	66	83.3	3.0	3.0	-	-	-	1.5	-	-	-	-	9.1	7.5	1.0	11.4
	東海	151	85.4	5.3	0.7	2.0	-	0.7	-	2.0	-	3.3	0.7	-	14.7	6.9	47.5
	近畿	108	83.3	3.7	3.7	2.8	0.9	-	-	-	0.9	-	-	4.6	12.0	1.8	14.2
	中国	140	89.3	2.1	2.9	2.1	-	-	-	-	-	-	0.7	2.9	7.8	2.3	28.7
	四国	83	67.5	7.2	4.8	-	1.2	2.4	-	2.4	-	2.4	-	12.0	20.4	6.0	25.8
	九州	314	78.0	12.1	1.9	3.5	1.9	0.3	-	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6	21.2	4.2	19.6
沖縄	12	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	93.9	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	4.0	0.1	3.5
	10頭未満	185	84.3	7.0	2.2	1.1	-	-	-	-	-	-	-	5.4	10.3	0.5	4.2
	20頭未満	412	86.4	8.5	1.2	1.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	1.5	12.2	0.7	5.5
	30頭未満	464	89.0	4.5	1.1	1.3	0.9	0.4	-	0.2	-	-	-	2.6	8.4	0.8	9.6
	40頭未満	421	89.1	4.8	2.1	1.2	0.7	-	0.2	0.2	-	-	0.2	1.4	9.4	1.2	12.7
	50頭未満	336	92.0	3.0	0.3	1.2	0.9	0.9	0.3	-	-	0.3	-	1.2	6.9	1.2	17.5
	75頭未満	443	90.7	3.6	1.1	1.4	0.7	-	0.2	1.1	0.2	0.9	-	-	9.2	2.4	25.6
	100頭未満	160	87.5	5.0	-	1.3	0.6	-	-	0.6	-	2.5	1.9	0.6	11.9	7.6	63.7
	150頭未満	86	93.0	1.2	2.3	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	0.6	8.8
	150頭以上	67	85.1	1.5	3.0	1.5	-	1.5	1.5	-	1.5	-	4.5	-	15.0	59.4	398.1
無回答	12	75.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	16.7	0.2	1.0	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10頭未満	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20頭未満	21	90.5	-	-	4.8	4.8	-	-	-	-	-	-	-	9.6	1.5	16.0
	30頭未満	58	94.8	1.7	1.7	-	1.7	-	-	-	-	-	-	-	5.1	0.5	10.3
	40頭未満	96	91.7	5.2	2.1	-	-	-	-	-	-	-	1.0	7.3	0.2	3.1	
	50頭未満	132	97.0	2.3	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	0.1	4.8
	75頭未満	250	97.6	1.2	0.4	-	0.4	-	-	-	-	0.4	-	-	2.4	0.6	25.2
	100頭未満	99	93.9	3.0	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	6.0	1.1	18.5
	150頭未満	55	98.2	-	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	0.1	5.0
	150頭以上	48	89.6	-	2.1	-	-	2.1	2.1	-	-	-	4.2	-	10.5	71.1	682.8
無回答	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	93.6	2.1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	4.2	0.2	3.5
	10頭未満	180	83.9	7.2	2.2	1.1	-	-	-	-	-	-	-	5.6	10.5	0.5	4.2
	20頭未満	391	86.2	9.0	1.3	1.3	0.3	0.5	-	-	-	-	-	1.5	12.4	0.6	5.1
	30頭未満	406	88.2	4.9	1.0	1.5	0.7	0.5	-	0.2	-	-	-	3.0	8.8	0.9	9.5
	40頭未満	325	88.3	4.6	2.2	1.5	0.9	-	0.3	0.3	-	-	0.3	1.5	10.1	1.5	14.7
	50頭未満	204	88.7	3.4	0.5	1.5	1.5	1.5	0.5	-	-	0.5	-	2.0	9.4	1.9	20.2
	75頭未満	193	81.9	6.7	2.1	3.1	1.0	-	0.5	2.6	0.5	1.6	-	-	18.1	4.7	25.7
	100頭未満	61	77.0	8.2	-	1.6	-	-	-	-	-	6.6	4.9	1.6	21.3	18.3	84.6
	150頭未満	31	83.9	3.2	3.2	9.7	-	-	-	-	-	-	-	-	16.1	1.5	9.6
	150頭以上	19	73.7	5.3	5.3	5.3	-	-	-	-	5.3	-	-	-	26.5	29.8	113.4
無回答	9	77.8	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	0.2	1.0	
20年度調査 全体	2,443	76.5	3.7	1.2	0.9	0.6	0.5	0.3	0.5	0.1	0.2	0.3	15.1	8.3	4.1	38.6	

## 6 乳用牛の分娩頭数・導入頭数（平成20年度）

### （1）分娩頭数

#### ア 総分娩頭数

全体としてみると、10～30頭未満の範囲に36.9%、30～75頭未満の範囲に39.5%の経営が含まれており、平均総分娩頭数は39.4頭であった。

北海道・都府県別にみると、30頭未満の経営が占める割合（北海道15.0%、都府県63.6%）は都府県、30頭以上の経営が占める割合（北海道84.1%、都府県34.9%）は北海道が圧倒的に多く、北海道の平均総分娩頭数（62.8頭）は都府県の平均総分娩頭数（29.7頭）の2倍以上であった。

また、都府県では、平均総分娩頭数は近畿（36.8頭）、中国（36.2頭）でやや多く、東北（21.1頭）、北陸（27.3頭）が少なかった。

経産牛飼養規模別には、飼養規模の増大に伴い、平均総分娩頭数が上昇するという傾向が明瞭にみられた。

問5（1）① 平成20年度総分娩頭数<数値回答>

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～20頭未満	20～30頭未満	30～40頭未満	40～50頭未満	50～60頭未満	60～70頭未満	70～80頭未満	80頭以上			無回答
全体	2,635	-	3.9	8.5	17.6	19.3	15.1	10.8	13.6	4.7	5.1	1.3	98.6	39.4	
北海道 (都府県計)	769	-	0.5	1.0	4.0	9.5	16.1	17.4	29.1	8.8	12.7	0.7	99.1	62.8	
	1,866	-	5.4	11.6	23.2	23.4	14.6	8.0	7.2	3.1	2.0	1.5	98.5	29.7	
	東 北	422	-	9.0	18.7	26.8	19.4	11.8	5.2	4.0	1.2	0.7	3.1	96.8	21.1
	関 東	570	-	4.9	10.4	21.1	26.1	15.3	9.8	7.0	2.6	1.8	1.1	99.0	28.8
	北 陸	66	-	3.0	22.7	15.2	25.8	15.2	4.5	10.6	1.5	1.5	-	100.0	27.3
	東 海	151	-	4.0	7.9	17.2	28.5	15.2	7.9	11.3	5.3	2.0	0.7	99.3	33.4
	近 畿	108	-	8.3	5.6	27.8	23.1	15.7	3.7	6.5	1.9	3.7	3.7	96.3	36.8
	中 国	140	-	5.7	12.1	25.0	17.1	14.3	11.4	5.0	5.7	2.9	0.7	99.2	36.2
	四 国	83	-	3.6	9.6	28.9	20.5	12.0	7.2	9.6	4.8	3.6	-	99.8	34.6
	九 州	314	-	1.9	6.7	22.9	24.2	16.6	9.6	10.2	4.1	2.9	1.0	99.1	35.0
沖 縄	12	-	-	-	25.0	25.0	33.3	8.3	-	8.3	-	-	99.9	30.3	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	-	79.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-	6.1	93.9	2.9
	10頭未満	185	-	31.9	59.5	5.4	-	-	-	-	-	-	3.2	96.8	5.6
	20頭未満	412	-	1.5	25.5	68.4	3.2	-	-	-	-	-	1.5	98.6	11.9
	30頭未満	464	-	-	0.4	33.0	62.5	3.9	-	-	0.2	-	-	100.0	21.0
	40頭未満	421	-	-	-	4.3	39.7	50.1	5.0	0.2	-	-	0.7	99.3	29.8
	50頭未満	336	-	-	-	-	8.9	38.4	42.9	8.6	-	-	1.2	98.8	38.8
	75頭未満	443	-	-	-	-	2.0	7.4	26.4	60.7	2.9	-	0.5	99.4	52.4
	100頭未満	160	-	-	-	-	-	1.3	0.6	35.0	55.0	7.5	0.6	99.4	79.2
	150頭未満	86	-	-	-	-	-	-	-	4.7	26.7	67.4	1.2	98.8	108.8
	150頭以上	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.0	3.0	97.0	252.5
無回答	12	-	-	8.3	8.3	-	33.3	8.3	-	-	-	41.7	58.2	26.3	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	3.0
	10頭未満	5	-	40.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	5.6
	20頭未満	21	-	-	23.8	71.4	4.8	-	-	-	-	-	-	100.0	12.3
	30頭未満	58	-	-	-	24.1	65.5	8.6	-	-	1.7	-	-	99.9	23.3
	40頭未満	96	-	-	-	2.1	25.0	63.5	9.4	-	-	-	-	100.0	31.7
	50頭未満	132	-	-	-	-	5.3	33.3	46.2	14.4	-	-	0.8	99.2	40.6
	75頭未満	250	-	-	-	-	1.2	4.8	25.2	66.0	2.8	-	-	100.0	53.7
	100頭未満	99	-	-	-	-	-	2.0	-	37.4	49.5	11.1	-	100.0	79.0
	150頭未満	55	-	-	-	-	-	-	-	5.5	20.0	74.5	-	100.0	111.2
	150頭以上	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95.8	4.2	95.8	230.0
無回答	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	33.3	40.0	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	-	78.7	14.9	-	-	-	-	-	-	-	6.4	93.6	2.9
	10頭未満	180	-	31.7	59.4	5.6	-	-	-	-	-	-	3.3	96.7	5.6
	20頭未満	391	-	1.5	25.6	68.3	3.1	-	-	-	-	-	1.5	98.5	11.9
	30頭未満	406	-	-	0.5	34.2	62.1	3.2	-	-	-	-	-	100.0	20.7
	40頭未満	325	-	-	-	4.9	44.0	46.2	3.7	0.3	-	-	0.9	99.1	29.3
	50頭未満	204	-	-	-	-	11.3	41.7	40.7	4.9	-	-	1.5	98.6	37.6
	75頭未満	193	-	-	-	-	3.1	10.9	28.0	53.9	3.1	-	1.0	99.0	50.6
	100頭未満	61	-	-	-	-	-	-	1.6	31.1	63.9	1.6	1.6	98.2	79.5
	150頭未満	31	-	-	-	-	-	-	-	3.2	38.7	54.8	3.2	96.7	104.4
	150頭以上	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	306.9
無回答	9	-	-	11.1	11.1	-	44.4	-	-	-	-	33.3	66.6	24.0	
20年度調査 全体	2,443	0.2	2.7	7.4	18.9	19.1	15.7	10.8	12.8	4.9	6.1	1.3	98.4	40.7	

# イ 乳用種産子数

全体的にみると、昨年度に乳用種子牛が産まれた経営（「0頭・無回答を除く合計」）は86.7%であり、そのうち57.7%は乳用種産子数が1～30頭未満であった。また、乳用種産出経営の平均乳用種産子数（「0頭を除く平均」）は28.4頭、非乳用種産出経営も含む平均乳用種産子数（「0頭を含む平均」）は25.0頭であった。

北海道・都府県別にみると、乳用種産子数が20頭未満の経営（北海道16.1%、都府県73.5%）は都府県、20頭以上の経営（北海道82.8%、都府県24.6%）は北海道が圧倒的に多く、非乳用種産出経営も含む平均乳用種産子数（「0頭を含む平均」）では北海道（50.1頭）は都府県（14.6頭）の3.4倍に及んだ。

また、非乳用種産出経営（「0頭」）の割合は、沖縄（25.0%）、北陸（22.7%）、東海（21.9%）で高く、そのうち沖縄では乳用種産出経営の平均乳用種産子数（「0頭を除く平均」）も10地域中最少であった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県を問わず、規模増大に伴い平均乳用種産子数が増加するという傾向が明瞭に認められた。ただし、いずれの規模層においても、平均乳用種産子数は北海道の方が都府県よりも大きい値を示した。

問5（1）①付1 平成20年度分娩頭数（産子が乳用種）＜数値回答＞

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～20頭未満	20～30頭未満	30～40頭未満	40～50頭未満	50～70頭未満	70～100頭未満	100頭以上	無回答			
全体	2,635	11.8	12.9	12.9	19.2	12.7	9.3	6.9	7.2	2.5	3.1	1.6	86.7	25.0	28.4
北海道 (都府県計)	769 1,866	1.2 16.2	1.8 17.5	3.3 16.8	9.8 23.0	15.3 11.6	16.6 6.2	16.6 2.9	18.7 2.5	6.9 0.6	8.7 0.8	1.0 1.8	97.7 81.9	50.1 14.6	50.7 17.4
プロンク															
東 北	422	10.4	24.2	18.5	24.4	10.9	5.2	1.4	1.2	0.5	-	3.3	86.3	11.5	12.9
関 東	570	18.8	13.5	17.4	22.1	11.8	7.4	3.0	3.2	0.7	0.7	1.6	79.8	14.9	18.4
北 陸	66	22.7	27.3	12.1	19.7	6.1	7.6	1.5	1.5	-	1.5	-	77.3	11.5	14.9
東 海	151	21.9	13.9	15.2	23.2	12.6	6.0	2.0	3.3	-	0.7	1.3	76.9	13.6	17.5
近 畿	108	20.4	17.6	14.8	24.1	13.9	1.9	-	1.9	-	1.9	3.7	76.1	13.1	16.6
中 国	140	16.4	16.4	17.1	20.7	10.0	8.6	5.7	2.1	-	2.1	0.7	82.7	18.7	22.4
四 国	83	21.7	13.3	19.3	18.1	13.3	3.6	4.8	4.8	-	1.2	-	78.4	17.8	22.8
九 州	314	11.8	16.6	15.3	25.8	12.7	6.7	4.5	2.9	1.9	1.0	1.0	87.4	17.1	19.5
沖 縄	12	25.0	25.0	16.7	16.7	8.3	-	8.3	-	-	-	-	75.0	9.3	12.4
経産牛飼養頭数(全国)															
5頭未満	49	51.0	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	42.9	0.9	2.0
10頭未満	185	33.0	49.7	13.5	0.5	-	-	-	-	-	-	3.2	63.7	2.1	3.1
20頭未満	412	21.6	28.6	32.0	15.5	0.2	-	-	-	-	-	1.9	76.3	4.9	6.3
30頭未満	464	12.1	12.9	21.6	43.3	9.7	0.2	-	-	-	-	0.2	87.7	10.1	11.5
40頭未満	421	8.1	6.4	12.6	31.4	31.6	8.3	0.7	-	-	-	1.0	91.0	16.2	17.6
50頭未満	336	4.8	3.0	3.6	17.9	25.0	32.7	10.7	0.9	-	-	1.5	93.8	25.3	26.6
75頭未満	443	3.8	1.8	3.2	8.8	13.1	19.4	26.0	22.6	0.7	-	0.7	95.6	36.2	37.7
100頭未満	160	5.0	0.6	0.6	1.3	5.0	5.6	14.4	43.1	21.3	1.3	1.9	93.2	56.3	59.3
150頭未満	86	4.7	1.2	-	3.5	4.7	2.3	4.7	17.4	29.1	31.4	1.2	94.3	77.6	81.5
150頭以上	67	1.5	1.5	-	1.5	1.5	-	1.5	6.0	4.5	79.1	3.0	95.6	170.7	173.4
無回答	12	-	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	-	-	-	-	41.7	58.3	16.3	16.3
経産牛飼養頭数(北海道)															
5頭未満	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	0.5	1.0
10頭未満	5	20.0	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	2.2	2.8
20頭未満	21	4.8	19.0	33.3	38.1	4.8	-	-	-	-	-	-	95.2	8.8	9.2
30頭未満	58	3.4	5.2	12.1	44.8	32.8	1.7	-	-	-	-	-	96.6	15.3	15.8
40頭未満	96	-	1.0	6.3	15.6	52.1	21.9	3.1	-	-	-	-	100.0	24.3	24.3
50頭未満	132	0.8	0.8	2.3	9.8	20.5	39.4	22.0	2.3	-	-	2.3	97.1	31.1	31.4
75頭未満	250	0.8	-	0.4	4.4	6.4	20.0	34.0	32.8	0.8	-	0.4	98.8	43.4	43.7
100頭未満	99	1.0	-	-	2.0	2.0	4.0	8.1	49.5	31.3	2.0	-	98.9	64.6	65.2
150頭未満	55	-	-	-	-	3.6	-	5.5	12.7	34.5	43.6	-	99.9	91.7	91.7
150頭以上	48	-	2.1	-	-	-	-	-	6.3	2.1	85.4	4.2	95.9	183.1	183.1
無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7	33.3	28.0	28.0
経産牛飼養頭数(都府県)															
5頭未満	47	51.1	42.6	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	42.6	0.9	2.0
10頭未満	180	33.3	49.4	13.3	0.6	-	-	-	-	-	-	3.3	63.3	2.1	3.1
20頭未満	391	22.5	29.2	32.0	14.3	-	-	-	-	-	-	2.0	75.5	4.7	6.1
30頭未満	406	13.3	14.0	22.9	43.1	6.4	-	-	-	-	-	0.2	86.4	9.4	10.8
40頭未満	325	10.5	8.0	14.5	36.0	25.5	4.3	-	-	-	-	1.2	88.3	13.8	15.4
50頭未満	204	7.4	4.4	4.4	23.0	27.9	28.4	3.4	-	-	-	1.0	91.5	21.6	23.4
75頭未満	193	7.8	4.1	6.7	14.5	21.8	18.7	15.5	9.3	0.5	-	1.0	91.1	26.9	29.2
100頭未満	61	11.5	1.6	1.6	-	9.8	8.2	24.6	32.8	4.9	-	4.9	83.5	42.2	48.0
150頭未満	31	12.9	3.2	-	9.7	6.5	6.5	3.2	25.8	19.4	9.7	3.2	84.0	51.8	59.8
150頭以上	19	5.3	-	-	5.3	5.3	-	5.3	5.3	10.5	63.2	-	94.9	140.7	148.5
無回答	9	-	11.1	22.2	22.2	-	11.1	-	-	-	-	33.3	66.6	14.3	14.3
20年度調査全体	2,443	11.2	12.5	13.8	19.6	13.8	8.7	5.2	7.9	2.5	2.7	2.1	86.7	24.4	27.5

## <参考>乳用種産子率

乳用種産子率は、「総分娩頭数」と「乳用種産子数」の調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{乳用種産子率} = \text{乳用種産子数} \div \text{総分娩頭数}$$

全体としてみると、乳用種産子率が60%未満の経営(48.5%)と60%以上の経営(49.7%)の経営がほぼ半数ずつとなっており、平均乳用種産子率は54.6%であった。

地域的にみると、北海道・都府県間の差異が大きく、北海道では乳用種産子率60%以上の経営が83.2%を占め、平均乳用種産子率は77.5%であったが、都府県では乳用種産子率60%未満の経営が62.1%を占め、平均乳用種産子率は45.0%と北海道を大きく下回った。中でも、沖縄(26.0%)、北陸(35.2%)の平均乳用種産子率はとりわけ低く、北海道(77.5%)の1/2以下の水準であった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県のいずれにおいても、平均乳用種産子率は飼養規模の増大に伴い上昇するが、一定規模(北海道150頭、都府県50頭)を超えると低下に転ずるといった傾向がみられた。ただし、北海道の平均乳用種産子数は、10頭以上の全ての規模層で都府県よりも大幅に大きい値を示した。また、経産牛飼養規模別に乳用種産子率の分布をみると、多くの規模層において北海道より都府県の方が広く分散しているという特徴がみられた。

<加工値>問5(1)①・問5(1)①ア 乳用種産子率<数値回答>

[単位:戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	有効回答平均 (0を含む)	
		0%	20%未満 (ゼロを除く)	20%未満	40%未満	60%未満	80%以上	無回答・非該当		
全 体	2,635	11.7	6.9	12.0	17.9	23.0	26.7	1.7	54.6	
ホ ロ ッ ク	北 海 道	769	1.2	1.7	5.2	7.7	25.6	57.6	1.0	77.5
	(都府県計)	1,866	16.1	9.1	14.8	22.1	22.0	14.0	1.9	45.0
	東 北	422	10.4	7.8	12.6	23.2	24.6	17.8	3.6	51.2
	関 東	570	18.4	6.7	16.1	21.4	21.9	13.5	1.9	44.4
	北 陸	66	22.7	22.7	9.1	13.6	21.2	10.6	-	35.2
	東 海	151	21.9	11.3	12.6	17.2	25.8	9.9	1.3	40.3
	近 畿	108	20.4	11.1	11.1	28.7	13.9	11.1	3.7	39.6
	中 国	140	16.4	6.4	17.9	22.9	22.9	12.9	0.7	45.3
	四 国	83	21.7	7.2	12.0	24.1	22.9	12.0	-	42.3
	九 州	314	11.8	11.5	18.5	23.2	19.1	15.0	1.0	45.5
沖 縄	12	25.0	25.0	16.7	16.7	16.7	-	-	26.0	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	49.0	-	12.2	8.2	6.1	16.3	8.2	29.5
	10 頭 未 満	185	32.4	5.4	14.1	19.5	13.5	11.4	3.8	35.1
	20 頭 未 満	412	21.6	9.5	17.0	20.9	17.5	11.7	1.9	39.5
	30 頭 未 満	464	12.1	10.1	14.9	24.6	22.6	15.5	0.2	47.4
	40 頭 未 満	421	8.1	7.8	14.5	20.9	25.4	22.3	1.0	53.7
	50 頭 未 満	336	4.8	4.8	8.9	14.6	32.4	32.7	1.8	64.4
	75 頭 未 満	443	3.8	5.0	8.1	13.3	24.6	44.5	0.7	67.9
	100 頭 未 満	160	5.0	1.9	5.0	13.1	24.4	48.8	1.9	72.0
	150 頭 未 満	86	4.7	5.8	9.3	8.1	19.8	51.2	1.2	70.8
	150 頭 以上	67	1.5	9.0	4.5	10.4	25.4	46.3	3.0	71.7
無 回 答	12	-	8.3	-	8.3	33.3	8.3	41.7	59.3	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	16.7
	10 頭 未 満	5	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-	38.0
	20 頭 未 満	21	4.8	-	9.5	23.8	28.6	33.3	-	67.1
	30 頭 未 満	58	3.4	3.4	15.5	8.6	27.6	41.4	-	67.3
	40 頭 未 満	96	-	2.1	4.2	11.5	29.2	53.1	-	75.3
	50 頭 未 満	132	0.8	2.3	4.5	9.1	27.3	53.8	2.3	75.8
	75 頭 未 満	250	0.8	0.8	3.2	7.6	24.8	62.4	0.4	80.2
	100 頭 未 満	99	1.0	1.0	3.0	4.0	24.2	66.7	-	82.1
	150 頭 未 満	55	-	1.8	7.3	-	20.0	70.9	-	83.2
	150 頭 以上	48	-	2.1	4.2	6.3	25.0	58.3	4.2	80.5
無 回 答	3	-	-	-	-	33.3	-	66.7	70.0	
経産牛飼養頭数(都府県)	5 頭 未 満	47	48.9	-	10.6	8.5	6.4	17.0	8.5	30.1
	10 頭 未 満	180	32.8	5.0	13.9	20.0	13.3	11.1	3.9	35.0
	20 頭 未 満	391	22.5	10.0	17.4	20.7	16.9	10.5	2.0	38.0
	30 頭 未 満	406	13.3	11.1	14.8	26.8	21.9	11.8	0.2	44.5
	40 頭 未 満	325	10.5	9.5	17.5	23.7	24.3	13.2	1.2	47.2
	50 頭 未 満	204	7.4	6.4	11.8	18.1	35.8	19.1	1.5	57.0
	75 頭 未 満	193	7.8	10.4	14.5	20.7	24.4	21.2	1.0	51.9
	100 頭 未 満	61	11.5	3.3	8.2	27.9	24.6	19.7	4.9	54.8
	150 頭 未 満	31	12.9	12.9	12.9	22.6	19.4	16.1	3.2	48.2
	150 頭 以上	19	5.3	26.3	5.3	21.1	26.3	15.8	-	50.6
無 回 答	9	-	11.1	-	11.1	33.3	11.1	33.3	57.5	
20年度調査 全体	2,443	11.2	7.4	13.4	18.6	24.8	22.1	2.4	52.7	

## ウ F1産子数

全体としてみると、昨年度にF1を生産した経営（「0頭・無回答を除く合計」）は88.0%であり、そのうちの71.2%はF1産子数が1～20頭未満であった。また、F1生産経営の平均F1産子数（「0頭を除く平均」）は14.1頭、非F1生産経営も含む平均F1産子数（「0頭を含む平均」）は12.6頭であった。

地域別にみると、北海道は都府県に比べて非F1生産経営（『0頭』）の割合（北海道18.9%、都府県6.9%）が高く、F1生産経営の平均F1産子数（「0頭を除く」）でも北海道（12.6頭）は都府県（14.7頭）を下回った。

また、非生産経営も含む平均F1産子数（0頭を含む）でみると、都府県では特に近畿（22.2頭）、沖縄（18.8頭）、東海（17.9頭）等が特に高い値を示したが、東北（8.3頭）は北海道（10.2頭）を下回る水準であった。

経産牛飼養規模別には、北海道・都府県を問わず、規模増大に伴い平均F1産子数も増大するという傾向が明瞭にみられた。

問5（1）①付2 平成20年度分娩頭数（産子がF1）＜数値回答＞

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	産子数											合計 0頭・ 無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0頭	1～5頭未満	5～10頭未満	10～15頭未満	15～20頭未満	20～25頭未満	25～30頭未満	30～35頭未満	35～40頭未満	40～45頭未満	45～50頭未満				50頭以上
全体	2,635	10.4	19.4	25.0	26.8	8.9	3.8	1.6	1.1	0.7	0.7	1.5	88.0	12.6	14.1	
プロック	北海道 (都府県計)	769 1,866	18.9 6.9	17.8 20.1	26.3 24.4	23.7 28.1	6.2 10.0	2.6 4.3	1.3 1.8	1.2 1.1	0.5 0.8	0.5 0.8	1.0 1.7	80.1 91.4	10.2 13.6	12.6 14.7
	東北	422	10.0	32.2	28.7	17.5	5.7	1.7	0.2	0.2	0.2	0.5	3.1	86.9	8.3	9.2
	関東	570	5.3	17.4	23.3	33.2	10.9	4.6	1.9	1.4	0.2	0.4	1.6	93.3	12.7	13.5
	北陸	66	4.5	13.6	25.8	28.8	19.7	4.5	-	1.5	1.5	-	-	95.4	14.3	14.9
	東海	151	5.3	19.9	19.9	24.5	11.9	6.6	3.3	2.6	4.0	0.7	1.3	93.4	17.9	18.9
	近畿	108	6.5	13.0	21.3	33.3	8.3	6.5	1.9	1.9	1.9	1.9	3.7	90.0	22.2	23.8
	中国	140	5.7	15.0	28.6	31.4	9.3	3.6	2.9	0.7	-	2.1	0.7	93.6	16.1	17.0
	四国	83	8.4	12.0	18.1	32.5	13.3	10.8	1.2	1.2	2.4	-	-	91.5	15.8	17.3
	九州	314	7.6	17.8	23.9	29.9	10.8	3.8	2.5	1.0	0.3	1.3	1.0	91.3	15.3	16.6
	沖縄	12	-	-	16.7	41.7	16.7	16.7	8.3	-	-	-	-	100.1	18.8	18.8
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	24.5	67.3	2.0	-	-	-	-	-	-	-	6.1	69.3	1.7	2.3
	10頭未満	185	10.8	61.6	24.3	-	-	-	-	-	-	-	3.2	85.9	3.2	3.6
	20頭未満	412	6.8	29.4	39.1	23.1	-	-	-	-	-	-	1.7	91.6	6.3	6.7
	30頭未満	464	6.9	15.9	30.6	36.2	9.9	0.2	-	-	-	-	0.2	92.8	9.7	10.4
	40頭未満	421	6.7	12.6	26.8	33.3	15.9	3.6	0.2	-	-	-	1.0	92.4	11.8	12.7
	50頭未満	336	9.8	13.1	24.1	33.6	8.9	7.4	1.5	-	-	-	1.5	88.6	11.7	12.9
	75頭未満	443	15.3	10.4	17.6	29.6	12.2	7.4	4.1	2.7	-	-	0.7	84.0	14.0	16.5
	100頭未満	160	14.4	10.6	15.6	21.9	13.1	8.1	5.0	3.8	5.6	-	1.9	83.7	19.3	22.6
	150頭未満	86	18.6	9.3	7.0	19.8	10.5	9.3	5.8	9.3	4.7	4.7	1.2	80.4	26.0	32.1
	150頭以上	67	19.4	1.5	7.5	7.5	9.0	9.0	9.0	6.0	7.5	20.9	3.0	77.9	73.3	91.6
無回答	12	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	-	-	-	-	-	-	41.7	49.9	9.7	11.3
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	2.5	2.5
	10頭未満	5	-	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	3.4	3.4
	20頭未満	21	28.6	52.4	14.3	4.8	-	-	-	-	-	-	-	71.5	3.0	4.2
	30頭未満	58	22.4	24.1	31.0	15.5	6.9	-	-	-	-	-	-	77.5	6.0	7.8
	40頭未満	96	11.5	24.0	45.8	16.7	2.1	-	-	-	-	-	-	88.6	6.1	6.9
	50頭未満	132	12.1	19.7	34.1	26.5	3.0	2.3	-	-	-	-	2.3	85.6	7.5	8.6
	75頭未満	250	21.2	13.6	24.8	28.8	7.6	2.8	0.4	0.4	-	-	0.4	78.4	8.7	11.0
	100頭未満	99	19.2	14.1	21.2	29.3	8.1	3.0	1.0	3.0	1.0	-	-	80.7	11.2	13.9
	150頭未満	55	25.5	14.5	9.1	25.5	12.7	3.6	5.5	1.8	-	1.8	-	74.5	13.2	17.7
	150頭以上	48	27.1	2.1	6.3	10.4	8.3	10.4	10.4	8.3	6.3	6.3	4.2	68.8	37.6	52.4
無回答	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	12.0	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	25.5	66.0	2.1	-	-	-	-	-	-	-	6.4	68.1	1.7	2.3
	10頭未満	180	11.1	61.1	24.4	-	-	-	-	-	-	-	3.3	85.5	3.2	3.6
	20頭未満	391	5.6	28.1	40.4	24.0	-	-	-	-	-	-	1.8	92.5	6.5	6.8
	30頭未満	406	4.7	14.8	30.5	39.2	10.3	0.2	-	-	-	-	0.2	95.0	10.2	10.7
	40頭未満	325	5.2	9.2	21.2	38.2	20.0	4.6	0.3	-	-	-	1.2	93.5	13.6	14.3
	50頭未満	204	8.3	8.8	17.6	38.2	12.7	10.8	2.5	-	-	-	1.0	90.6	14.3	15.6
	75頭未満	193	7.8	6.2	8.3	30.6	18.1	13.5	8.8	5.7	-	-	1.0	91.2	20.9	22.7
	100頭未満	61	6.6	4.9	6.6	9.8	21.3	16.4	11.5	4.9	13.1	-	4.9	88.5	33.2	35.6
	150頭未満	31	6.5	-	3.2	9.7	6.5	19.4	6.5	22.6	12.9	9.7	3.2	90.5	49.6	53.1
	150頭以上	19	-	-	10.5	-	10.5	5.3	5.3	-	10.5	57.9	-	100.0	159.8	159.8
無回答	9	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-	-	33.3	55.5	9.3	11.2	
20年度調査 全体	2,443	6.8	15.6	24.9	30.2	10.5	4.3	2.0	2.4	0.4	0.9	2.1	91.2	14.5	15.6	

## エ ET[肉専用種]産子数

全体としてみると、昨年度にET[肉専用種]を実施した経営（「0頭・無回答を除く合計」）は24.0%で、その平均ET産子数（「0頭を除く平均」）は5.7頭であった。また、ETの非実施経営も含む平均ET産子数（「0頭を含む平均」）は1.4頭であった。

北海道・都府県別には、ET実施経営の割合は北海道（15.5%）よりも都府県（27.6%）の方が高く、ET実施経営の平均ET産子数（「0頭を除く平均」）は都府県（5.0頭）より北海道（8.3頭）の方が多く、非ET実施経営も含む平均ET産子数（「0頭を含む平均」）でみると北海道（1.3頭）と都府県（1.4頭）の間に大きな差異はみられなかった。

また、非ET実施経営も含む平均ET産子数（「0頭を含む平均」）でみると、都府県では九州（2.4頭）、沖縄（2.4頭）は比較的大きい値を示したが、関東（0.9頭）、四国（0.9頭）、東北（1.1頭）は北海道（1.3頭）を下回った。

経産牛飼養規模別にみると、都府県では、飼養規模の増大に伴いET実施経営の割合とその平均ET産子数（「0頭を除く平均」）がともに増加するという傾向が認められた。一方、北海道では、飼養規模の増大に伴ってET実施経営の平均ET産子数（「0頭を除く平均」）は増加するが、ET実施経営の割合は低下するという傾向がみられた。

問5（1）①付3 平成20年度分娩頭数（産子がET）＜数値回答＞

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)
		0頭	1 〜 5頭未満	5 〜 10頭未満	10 〜 20頭未満	20 〜 30頭未満	30 〜 40頭未満	40 〜 50頭未満	50 〜 75頭未満	75 〜 100頭未満	100 〜 150頭未満	150 頭以上			
全体	2,635	74.4	15.7	4.6	2.7	0.5	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	1.6	24.0	1.4	5.7
北海道	769	83.6	8.2	2.7	3.3	0.4	0.3	0.1	0.4	0.1	-	0.9	15.5	1.3	8.3
（都府県計）	1,866	70.6	18.9	5.3	2.4	0.5	0.2	0.1	0.1	-	0.1	1.8	27.6	1.4	5.0
東北	422	73.7	15.9	4.3	2.1	0.2	-	-	0.2	-	-	3.6	22.7	1.1	4.9
関東	570	76.5	15.3	4.2	2.1	0.4	-	-	-	-	-	1.6	22.0	0.9	4.3
北陸	66	62.1	28.8	4.5	1.5	3.0	-	-	-	-	-	-	37.8	1.6	4.2
北海道	151	59.6	23.8	9.9	4.0	0.7	0.7	-	-	-	-	1.3	39.1	2.0	5.1
近畿	108	81.5	13.0	-	0.9	-	-	-	-	-	0.9	3.7	14.8	1.4	9.1
中国	140	65.7	22.9	9.3	0.7	-	0.7	-	-	-	-	0.7	33.6	1.4	4.1
四国	83	86.7	9.6	2.4	-	-	-	1.2	-	-	-	-	13.2	0.9	6.5
九州	314	56.7	28.3	7.6	4.1	1.3	0.6	0.3	-	-	-	1.0	42.2	2.4	5.5
沖縄	12	83.3	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	2.3	13.5
経産牛飼養頭数（全国）															
5頭未満	49	83.7	10.2	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	10.2	0.2	1.6
10頭未満	185	87.6	7.6	1.6	-	-	-	-	-	-	-	3.2	9.2	0.2	2.5
20頭未満	412	77.2	16.7	3.4	0.7	-	-	-	-	-	-	1.9	20.8	0.6	3.0
30頭未満	464	70.9	21.1	5.2	2.4	-	-	-	0.2	-	-	0.2	28.9	1.2	4.0
40頭未満	421	65.6	24.2	5.5	2.6	0.7	0.2	-	0.2	-	-	1.0	33.4	1.7	5.0
50頭未満	336	75.0	13.4	6.5	2.4	0.9	0.3	-	-	-	-	1.5	23.5	1.3	5.5
75頭未満	443	79.0	10.6	4.1	4.3	0.7	0.5	0.2	-	-	-	0.7	20.4	1.5	7.1
100頭未満	160	68.8	15.0	3.8	6.9	1.3	0.6	0.6	0.6	-	-	2.5	28.8	2.5	8.6
150頭未満	86	80.2	7.0	5.8	4.7	-	1.2	-	-	-	-	1.2	18.7	1.4	7.5
150頭以上	67	71.6	6.0	7.5	4.5	3.0	-	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	27.0	6.5	23.8
無回答	12	50.0	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	41.7	8.3	0.3	2.0
経産牛飼養頭数（北海道）															
5頭未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10頭未満	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20頭未満	21	71.4	23.8	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	0.6	2.2
30頭未満	58	86.2	3.4	3.4	5.2	-	-	-	1.7	-	-	-	13.7	1.7	12.5
40頭未満	96	76.0	14.6	4.2	5.2	-	-	-	-	-	-	-	24.0	1.2	4.9
50頭未満	132	83.3	9.1	2.3	3.0	0.8	-	-	-	-	-	1.5	15.2	1.0	6.4
75頭未満	250	89.2	6.0	2.0	2.0	-	0.4	-	-	-	-	0.4	10.4	0.6	6.1
100頭未満	99	78.8	9.1	3.0	6.1	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	20.2	1.8	8.7
150頭未満	55	85.5	5.5	5.5	1.8	-	1.8	-	-	-	-	-	14.6	1.3	9.1
150頭以上	48	81.3	6.3	-	2.1	2.1	-	2.1	2.1	2.1	-	2.1	16.8	5.0	29.3
無回答	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-
経産牛飼養頭数（都府県）															
5頭未満	47	83.0	10.6	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	10.6	0.2	1.6
10頭未満	180	87.2	7.8	1.7	-	-	-	-	-	-	-	3.3	9.5	0.2	2.5
20頭未満	391	77.5	16.4	3.3	0.8	-	-	-	-	-	-	2.0	20.5	0.6	3.1
30頭未満	406	68.7	23.6	5.4	2.0	-	-	-	-	-	-	0.2	31.0	1.1	3.5
40頭未満	325	62.5	27.1	5.8	1.8	0.9	0.3	-	0.3	-	-	1.2	36.2	1.8	5.0
50頭未満	204	69.6	16.2	9.3	2.0	1.0	0.5	-	-	-	-	1.5	29.0	1.5	5.3
75頭未満	193	65.8	16.6	6.7	7.3	1.6	0.5	0.5	-	-	-	1.0	33.2	2.5	7.5
100頭未満	61	52.5	24.6	4.9	8.2	1.6	1.6	1.6	-	-	-	4.9	42.5	3.8	8.5
150頭未満	31	71.0	9.7	6.5	9.7	-	-	-	-	-	-	3.2	25.9	1.6	5.9
150頭以上	19	47.4	5.3	26.3	10.5	5.3	-	-	-	-	5.3	-	52.7	10.3	19.5
無回答	9	55.6	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	11.1	0.3	2.0
20年度調査全体	2,443	72.0	14.7	5.7	2.5	0.6	0.3	0.2	0.2	-	0.0	3.8	24.2	1.6	6.2

## (2) 経産牛の廃用時平均産次数

全体としてみると、61.1%の経営が『3～4産未満』(34.3%)か『4～5産未満』(26.8%)のいずれかに属しており、平均廃用時産次数は4.0産であった。

地域別には、北海道と東北は他の地域に比べて4産以上の割合(全体47.7%、北海道52.4%、東北59.5%)がやや高く、平均産次数(全体4.0歳、北海道4.2歳、東北4.2歳)も相対的に高い値を示した。これに対して、沖縄では2～4産の割合(全体45.6%、沖縄83.3%)が著しく高く、平均産次数(全体4.0歳、沖縄3.1歳)は10地域中最低であった。

また、経産牛飼養規模別には、北海道・都府県を問わず、飼養規模増大に伴い平均産次数が低下するという傾向が認められ、小規模層と大規模層では1.5～1.9産の差がみられた。

問5(1)② 平成20年度廃用時平均産次数<数値回答>

[単位:戸、%、産]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	有効回答平均 (0含む)	
		2産未満	2<3産未満	3<4産未満	4<5産未満	5<6産未満	6<7産未満	7産以上	無回答		
全体	2,635	0.7	11.3	34.3	26.8	13.0	5.1	2.8	6.1	4.0	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	0.5	9.1	33.0	28.2	13.8	6.2	4.2	4.9	
	(都府県計)	1,866	0.8	12.2	34.8	26.2	12.6	4.7	2.3	6.5	
	東北	422	0.9	6.6	25.8	30.1	19.2	5.9	4.3	7.1	
	関東	570	0.9	10.5	36.8	27.5	11.6	4.0	1.6	7.0	
	北陸	66	-	15.2	39.4	22.7	12.1	4.5	3.0	3.0	
	東海	151	0.7	20.5	35.8	23.8	11.3	1.3	1.3	5.3	
	近畿	108	0.9	10.2	30.6	32.4	10.2	6.5	0.9	8.3	
	中国	140	0.7	21.4	32.9	19.3	9.3	7.1	2.1	7.1	
	四国	83	1.2	3.6	51.8	22.9	7.2	6.0	-	7.2	
	九州	314	0.3	16.6	38.5	22.6	10.5	3.8	2.2	5.4	
沖縄	12	-	25.0	58.3	8.3	8.3	-	-	-	3.1	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	-	8.2	14.3	26.5	16.3	10.2	8.2	16.3	4.6
	10頭未満	185	1.1	4.9	18.9	28.1	18.4	8.6	6.5	13.5	4.5
	20頭未満	412	1.5	6.1	29.1	25.7	17.7	8.3	3.9	7.8	4.2
	30頭未満	464	0.6	10.8	34.3	28.7	14.2	4.3	2.4	4.7	4.0
	40頭未満	421	0.2	11.6	34.4	27.3	13.8	5.5	3.3	3.8	4.0
	50頭未満	336	0.9	12.2	38.4	28.9	10.1	3.9	1.8	3.9	3.8
	75頭未満	443	0.7	12.4	40.4	26.0	11.1	3.8	1.6	4.1	3.9
	100頭未満	160	-	16.9	36.9	26.9	7.5	3.1	1.3	7.5	3.8
	150頭未満	86	-	20.9	41.9	27.9	2.3	1.2	1.2	4.7	3.5
	150頭以上	67	-	29.9	46.3	10.4	4.5	1.5	-	7.5	3.3
無回答	12	-	-	25.0	-	25.0	-	8.3	41.7	4.5	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	5.3
	10頭未満	5	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	40.0	5.8
	20頭未満	21	4.8	14.3	-	33.3	-	19.0	14.3	14.3	4.7
	30頭未満	58	-	5.2	25.9	25.9	27.6	6.9	6.9	1.7	4.6
	40頭未満	96	-	4.2	28.1	25.0	19.8	11.5	9.4	2.1	4.7
	50頭未満	132	0.8	6.1	29.5	31.1	16.7	6.1	3.8	6.1	4.2
	75頭未満	250	0.8	6.4	36.4	30.4	14.4	6.0	2.4	3.2	4.1
	100頭未満	99	-	14.1	36.4	29.3	9.1	4.0	1.0	6.1	3.9
	150頭未満	55	-	14.5	43.6	34.5	3.6	-	1.8	1.8	3.6
	150頭以上	48	-	27.1	43.8	12.5	4.2	2.1	-	10.4	3.4
無回答	3	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	7.0	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	-	6.4	14.9	27.7	17.0	10.6	6.4	17.0	4.5
	10頭未満	180	1.1	5.0	18.9	28.9	18.9	8.3	6.1	12.8	4.4
	20頭未満	391	1.3	5.6	30.7	25.3	18.7	7.7	3.3	7.4	4.2
	30頭未満	406	0.7	11.6	35.5	29.1	12.3	3.9	1.7	5.2	3.9
	40頭未満	325	0.3	13.8	36.3	28.0	12.0	3.7	1.5	4.3	3.9
	50頭未満	204	1.0	16.2	44.1	27.5	5.9	2.5	0.5	2.5	3.6
	75頭未満	193	0.5	20.2	45.6	20.2	6.7	1.0	0.5	5.2	3.5
	100頭未満	61	-	21.3	37.7	23.0	4.9	1.6	1.6	9.8	3.6
	150頭未満	31	-	32.3	38.7	16.1	-	3.2	-	9.7	3.3
	150頭以上	19	-	36.8	52.6	5.3	5.3	-	-	-	3.1
無回答	9	-	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	4.1	
20年度調査全体	2,443	0.5	10.4	33.0	24.8	13.6	4.9	3.0	9.8	4.0	

### (3) 導入頭数

#### ア 仔牛・育成牛

全体的にみると、昨年度に仔牛・育成牛を導入した経営（「0頭・無回答を除く合計」）は8.8%で、導入経営の平均導入頭数（「0頭を除く平均」）は6.5頭であった。また、非導入経営を含む平均導入頭数（「0頭を含む平均」）は0.6頭であった。

地域別には、導入経営の平均導入頭数（「0頭を除く平均」）に関して、北海道（17.8頭）と都府県（3.8頭）の間に大きな差異がみられた。また、非導入経営を含む平均導入頭数（「0頭を含む平均」）でみると、北海道（1.1頭）、東海（0.9頭）、北陸（0.7頭）が上位を占めた。

経産牛飼養規模別には、都府県では、導入経営の割合に関して、飼養規模の増大に伴い一定規模（『40～50頭未満』）までは上昇するが、それを超えると低下に転ずるという傾向がみられた。また、都府県では、『150頭以上』層を除けば、平均導入頭数もほぼ同様の動きを示している。

問5(2)① 平成20年度導入頭数(子牛・育成牛) <数値回答>

[単位:戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0頭	1 \2 頭	3 \4 頭	5 \9 頭	1 0 \1 9頭	2 0 \2 9頭	3 0 \3 9頭	4 0頭以上	無回答				
全体	2,635	86.2	5.1	1.6	0.9	0.9	0.1	-	0.2	4.9	8.8	0.6	6.5	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	88.2	1.7	0.9	1.4	1.6	0.1	-	0.3	5.9	6.0	1.1	17.8
	(都府県計)	1,866	85.4	6.5	1.9	0.8	0.7	0.1	-	0.1	4.5	10.1	0.4	3.8
	東北	422	82.7	5.7	1.4	0.9	0.5	-	-	-	8.8	8.5	0.3	2.8
	関東	570	85.3	6.3	1.8	0.2	0.7	-	-	0.2	5.6	9.2	0.4	4.2
	北陸	66	86.4	6.1	1.5	3.0	3.0	-	-	-	-	13.6	0.7	4.8
	東海	151	83.4	7.9	2.6	1.3	0.7	0.7	-	0.7	2.6	13.9	0.9	6.5
	近畿	108	89.8	4.6	0.9	-	0.9	-	-	-	3.7	6.4	0.2	2.9
	中国	140	86.4	9.3	1.4	-	-	-	-	-	2.9	10.7	0.2	1.7
	四国	83	91.6	4.8	1.2	-	-	1.2	-	-	1.2	7.2	0.4	5.0
	九州	314	85.7	7.6	3.5	1.6	1.0	-	-	-	0.6	13.7	0.4	3.2
沖縄	12	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	83.7	8.2	-	-	-	-	-	-	8.2	8.2	0.1	1.5
	10頭未満	185	89.2	4.3	0.5	-	-	-	-	-	5.9	4.8	0.1	1.7
	20頭未満	412	86.7	6.1	1.0	0.2	0.2	-	-	-	5.8	7.5	0.2	2.0
	30頭未満	464	86.4	6.9	1.3	0.6	0.6	0.2	-	-	3.9	9.6	0.3	3.0
	40頭未満	421	86.7	5.0	2.1	1.4	0.7	-	-	0.2	3.8	9.4	0.5	5.2
	50頭未満	336	82.1	5.1	3.9	1.5	1.8	0.6	-	-	5.1	12.9	0.7	5.0
	75頭未満	443	86.5	4.7	1.4	1.4	0.9	-	-	-	5.2	8.4	0.3	3.6
	100頭未満	160	86.9	2.5	1.9	1.3	2.5	-	-	-	5.0	8.2	0.5	5.8
	150頭未満	86	94.2	2.3	-	1.2	-	-	-	-	2.3	3.5	0.1	3.0
	150頭以上	67	85.1	-	-	1.5	3.0	-	-	4.5	6.0	9.0	10.1	106.0
無回答	12	50.0	8.3	8.3	-	16.7	-	-	-	16.7	33.3	3.0	7.5	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	10頭未満	5	80.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-
	20頭未満	21	85.7	-	4.8	-	-	-	-	-	9.5	4.8	0.2	4.0
	30頭未満	58	84.5	6.9	-	1.7	1.7	-	-	-	5.2	10.3	0.4	3.7
	40頭未満	96	90.6	1.0	1.0	2.1	1.0	-	-	-	4.2	5.1	0.3	5.4
	50頭未満	132	87.9	-	1.5	1.5	2.3	0.8	-	-	6.1	6.1	0.6	9.3
	75頭未満	250	88.8	2.8	0.8	1.2	0.4	-	-	-	6.0	5.2	0.2	3.7
	100頭未満	99	88.9	-	1.0	1.0	3.0	-	-	-	6.1	5.0	0.5	8.8
	150頭未満	55	94.5	1.8	-	1.8	-	-	-	-	1.8	3.6	0.1	4.0
	150頭以上	48	81.3	-	-	2.1	4.2	-	-	4.2	8.3	10.5	13.1	115.0
無回答	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	5.3	16.0	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	85.1	8.5	-	-	-	-	-	-	6.4	8.5	0.1	1.5
	10頭未満	180	89.4	4.4	0.6	-	-	-	-	-	5.6	5.0	0.1	1.7
	20頭未満	391	86.7	6.4	0.8	0.3	0.3	-	-	-	5.6	7.8	0.2	2.0
	30頭未満	406	86.7	6.9	1.5	0.5	0.5	0.2	-	-	3.7	9.6	0.3	2.8
	40頭未満	325	85.5	6.2	2.5	1.2	0.6	-	-	0.3	3.7	10.8	0.6	5.2
	50頭未満	204	78.4	8.3	5.4	1.5	1.5	0.5	-	-	4.4	17.2	0.7	4.1
	75頭未満	193	83.4	7.3	2.1	1.6	1.6	-	-	-	4.1	12.6	0.5	3.5
	100頭未満	61	83.6	6.6	3.3	1.6	1.6	-	-	-	3.3	13.1	0.5	4.0
	150頭未満	31	93.5	3.2	-	-	-	-	-	-	3.2	3.2	0.0	1.0
	150頭以上	19	94.7	-	-	-	-	-	-	5.3	-	5.3	3.2	61.0
無回答	9	44.4	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	22.2	33.3	2.0	4.7	
20年度調査 全体	2,443	87.3	4.5	1.6	1.1	0.6	0.1	0.1	0.4	4.2	8.4	0.6	7.1	

# イ 初妊牛

全体的にみると、昨年度に初妊牛を導入した経営（「0頭・無回答を除く合計」）は29.2%で、導入経営の平均導入頭数（「0頭を除く平均」）は6.6頭であった。また、非導入経営を含む平均導入頭数（「0頭を含む平均」）は2.0頭であった。

地域別にみると、導入経営の割合は沖縄（66.7%）、東海（53.6%）、北陸（51.5%）、九州（43.6%）が高く、逆に北海道（13.7%）、東北（29.2%）が低率であった。一方、導入経営の平均導入頭数（「0を除く平均」）は近畿（13.2頭）、北海道（11.6頭）、沖縄（9.6頭）が多く、東北（3.7頭）が最も少なかった。このため、非導入経営も含む平均導入頭数（「0頭を含む平均」）では、沖縄（6.4頭）、近畿（4.5頭）、東海（3.2頭）が上位を占め、東北（1.2頭）が最下位となった。

経産牛飼養規模別にみると、平均導入頭数に関しては、北海道、都府県の双方で、飼養規模の増大とともに増加するという傾向がおおむね認められた。また、都府県では、導入経営の割合に関しても、飼養規模の増大に伴いその割合が上昇する傾向が明瞭にみられた。

問5(2)② 平成20年度導入頭数(初妊牛) <数値回答>

[単位:戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0頭	1 2頭	3 4頭	5 9頭	1 5 9頭	2 5 9頭	3 5 9頭	4 0頭以上	無回答				
全 体	2,635	65.9	13.1	5.4	6.3	3.0	0.6	0.2	0.6	4.9	29.2	2.0	6.6	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	80.5	3.9	3.0	2.7	2.5	0.5	0.3	0.8	5.9	13.7	1.7	11.6
	(都府県計)	1,866	59.9	16.9	6.4	7.8	3.3	0.6	0.1	0.6	4.5	35.7	2.2	5.8
	東 北	422	62.1	19.0	3.8	4.5	1.2	0.5	-	0.2	8.8	29.2	1.2	3.7
	関 東	570	63.7	14.0	5.3	7.0	3.2	0.5	0.4	0.4	5.6	30.8	1.8	5.5
	北 陸	66	48.5	18.2	7.6	19.7	4.5	1.5	-	-	-	51.5	2.8	5.5
	東 海	151	43.7	18.5	9.3	13.2	11.3	1.3	-	-	2.6	53.6	3.2	5.7
	近 畿	108	63.9	13.0	7.4	6.5	2.8	0.9	-	1.9	3.7	32.5	4.5	13.2
	中 国	140	65.0	13.6	5.0	9.3	3.6	-	-	0.7	2.9	32.2	2.3	7.1
	四 国	83	66.3	14.5	9.6	7.2	-	-	-	1.2	1.2	32.5	1.7	5.3
	九 州	314	55.7	22.3	9.9	7.3	2.5	0.3	-	1.3	0.6	43.6	2.6	5.9
沖 縄	12	33.3	-	-	41.7	16.7	8.3	-	-	-	66.7	6.4	9.6	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	71.4	20.4	-	-	-	-	-	-	8.2	20.4	0.3	1.2
	10頭未満	185	70.3	22.2	1.6	-	-	-	-	-	5.9	23.8	0.4	1.4
	20頭未満	412	67.2	21.4	3.9	1.7	-	-	-	-	5.8	27.0	0.5	1.9
	30頭未満	464	63.4	18.3	7.8	6.0	0.6	-	-	-	3.9	32.7	1.0	2.9
	40頭未満	421	65.3	11.4	8.8	8.8	1.9	-	-	-	3.8	30.9	1.3	3.9
	50頭未満	336	65.2	9.2	7.1	10.7	2.7	-	-	-	5.1	29.7	1.4	4.5
	75頭未満	443	66.8	6.3	4.5	8.6	7.0	1.4	0.2	-	5.2	28.0	2.2	7.4
	100頭未満	160	66.3	6.9	2.5	6.3	10.6	1.9	-	0.6	5.0	28.8	2.8	9.2
	150頭未満	86	68.6	1.2	1.2	7.0	10.5	4.7	2.3	2.3	2.3	29.2	5.1	17.1
	150頭以上	67	56.7	1.5	-	6.0	4.5	3.0	1.5	20.9	6.0	37.4	25.8	65.0
無 回 答	12	58.3	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	16.7	24.9	1.0	3.3	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	10頭未満	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	0.3	1.0
	20頭未満	21	90.5	-	-	-	-	-	-	-	9.5	-	-	-
	30頭未満	58	84.5	6.9	1.7	1.7	-	-	-	-	5.2	10.3	0.3	2.7
	40頭未満	96	83.3	6.3	3.1	3.1	-	-	-	-	4.2	12.5	0.4	2.8
	50頭未満	132	81.1	2.3	3.8	5.3	1.5	-	-	-	6.1	12.9	0.7	5.2
	75頭未満	250	80.0	4.4	4.4	2.0	3.2	-	-	-	6.0	14.0	0.8	5.2
	100頭未満	99	79.8	3.0	2.0	3.0	5.1	-	-	1.0	6.1	14.1	1.6	10.6
	150頭未満	55	83.6	1.8	1.8	-	3.6	3.6	1.8	1.8	1.8	14.4	3.0	20.3
	150頭以上	48	66.7	2.1	-	4.2	4.2	4.2	2.1	8.3	8.3	25.1	13.5	49.4
無 回 答	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	72.3	21.3	-	-	-	-	-	-	6.4	21.3	0.3	1.2
	10頭未満	180	70.6	22.2	1.7	-	-	-	-	-	5.6	23.9	0.4	1.4
	20頭未満	391	66.0	22.5	4.1	1.8	-	-	-	-	5.6	28.4	0.6	1.9
	30頭未満	406	60.3	20.0	8.6	6.7	0.7	-	-	-	3.7	36.0	1.1	2.9
	40頭未満	325	60.0	12.9	10.5	10.5	2.5	-	-	-	3.7	36.4	1.5	4.1
	50頭未満	204	54.9	13.7	9.3	14.2	3.4	-	-	-	4.4	40.6	1.9	4.4
	75頭未満	193	49.7	8.8	4.7	17.1	11.9	3.1	0.5	-	4.1	46.1	4.0	8.2
	100頭未満	61	44.3	13.1	3.3	11.5	19.7	4.9	-	-	3.3	52.5	4.6	8.5
	150頭未満	31	41.9	-	-	19.4	22.6	6.5	3.2	3.2	3.2	54.9	8.9	15.6
	150頭以上	19	31.6	-	-	10.5	5.3	-	-	52.6	-	68.4	54.4	79.5
無 回 答	9	44.4	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	22.2	33.3	1.4	3.3	
20年度調査全体	2,443	66.9	12.3	6.4	6.1	3.3	1.3	0.3	0.7	2.7	30.4	2.2	7.1	

## ウ 経産牛

全体的にみると、昨年度に経産牛を導入した経営（「0頭・無回答を除く合計」）は15.9%で、導入経営の平均導入頭数（「0頭を除く平均」）は5.0頭であった。また、非導入経営も含む平均導入頭数（「0頭を含む平均」）は0.8頭であった。

地域別には、非導入経営も含む平均導入頭数（「0頭を含む平均」）でみると、沖縄（1.7頭）、近畿（1.4頭）が比較的大きい値を示し、四国（0.5頭）が比較的小さい値を示した。

経産牛飼養規模別には、都府県に関しては、『150頭以上』層を除けば、飼養規模の増大に伴い平均導入頭数（「0頭を含む平均」）も増大するが、75頭規模を超えると低下に転ずるといふ傾向がおおむね認められた。

問5(2)③ 平成20年度導入頭数(経産牛) <数値回答>

[単位:戸、%、頭]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計 0頭・無回答を除く	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0頭	1 ~ 2頭	3 ~ 4頭	5 ~ 9頭	1 0 ~ 1 9頭	2 0 ~ 2 9頭	3 0 ~ 3 9頭	4 0頭以上	無回答				
全体	2,635	79.1	8.0	3.1	3.2	0.9	0.4	0.1	0.2	4.9	15.9	0.8	5.0	
ブ ロ ッ ク	北海道 (都府県計)	769 1,866	82.4 77.7	4.2 9.6	3.0 3.2	3.0 3.3	0.8 1.0	0.1 0.5	- 0.2	0.7 0.1	5.9 4.5	11.8 17.9	1.0 0.8	7.9 4.3
	北	422	77.3	8.1	2.1	1.9	1.2	-	0.5	0.2	8.8	14.0	0.8	5.2
	関	570	78.4	8.8	2.3	3.3	0.9	0.7	-	-	5.6	16.0	0.7	4.1
	北	66	71.2	16.7	4.5	4.5	3.0	-	-	-	-	28.7	1.0	3.5
	東	151	75.5	13.2	4.0	3.3	0.7	0.7	-	-	2.6	21.9	0.8	3.6
	近	108	68.5	13.9	3.7	6.5	1.9	1.9	-	-	3.7	27.9	1.4	5.0
	中	140	82.1	5.0	4.3	4.3	0.7	-	0.7	-	2.9	15.0	0.8	5.2
	四	83	86.7	4.8	3.6	2.4	1.2	-	-	-	1.2	12.0	0.5	4.5
	九	314	77.7	12.4	4.8	3.8	0.3	0.3	-	-	0.6	21.6	0.7	3.4
沖	12	91.7	-	-	-	-	8.3	-	-	-	8.3	1.7	20.0	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	81.6	10.2	-	-	-	-	-	-	8.2	10.2	0.1	1.2
	10頭未満	185	78.9	12.4	0.5	2.2	-	-	-	-	5.9	15.1	0.3	2.0
	20頭未満	412	78.4	9.2	4.4	1.5	0.7	-	-	-	5.8	15.8	0.5	2.9
	30頭未満	464	78.4	9.5	3.9	3.7	0.6	-	-	-	3.9	17.7	0.6	3.2
	40頭未満	421	79.8	8.6	1.9	3.8	1.2	1.0	-	-	3.8	16.5	0.8	4.8
	50頭未満	336	78.0	7.1	3.3	5.1	0.6	0.3	-	0.6	5.1	17.0	0.9	5.3
	75頭未満	443	76.3	6.8	4.7	4.3	1.8	0.7	-	0.2	5.2	18.5	1.1	5.5
	100頭未満	160	84.4	5.6	1.3	1.9	0.6	0.6	0.6	-	5.0	10.6	0.6	5.7
	150頭未満	86	90.7	2.3	1.2	-	1.2	1.2	-	1.2	2.3	7.1	1.0	14.5
150頭以上	67	83.6	-	1.5	3.0	1.5	-	1.5	3.0	6.0	10.5	4.8	43.3	
無回答	12	50.0	8.3	8.3	8.3	-	-	8.3	-	16.7	33.2	4.9	12.3	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	10頭未満	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	0.5	2.0
	20頭未満	21	81.0	4.8	-	-	-	-	-	-	9.5	9.6	0.3	2.5
	30頭未満	58	84.5	3.4	3.4	1.7	1.7	-	-	-	5.2	10.2	0.5	4.5
	40頭未満	96	81.3	6.3	5.2	3.1	-	-	-	-	4.2	14.6	0.5	3.1
	50頭未満	132	77.3	4.5	3.8	5.3	0.8	0.8	-	1.5	6.1	16.7	1.4	8.1
	75頭未満	250	81.6	4.8	3.2	3.2	1.2	-	-	-	6.0	12.4	0.5	3.9
	100頭未満	99	87.9	3.0	1.0	2.0	-	-	-	-	6.1	6.0	0.2	3.2
	150頭未満	55	90.9	1.8	1.8	-	1.8	-	-	1.8	1.8	7.2	1.2	16.5
150頭以上	48	83.3	-	-	4.2	-	-	-	4.2	8.3	8.4	5.7	62.8	
無回答	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	83.0	10.6	-	-	-	-	-	-	6.4	10.6	0.1	1.2
	10頭未満	180	79.4	12.2	0.6	2.2	-	-	-	-	5.6	15.0	0.3	2.0
	20頭未満	391	78.3	9.5	4.3	1.5	0.8	-	-	-	5.6	16.1	0.5	2.9
	30頭未満	406	77.6	10.3	3.9	3.9	0.5	-	-	-	3.7	18.6	0.6	3.1
	40頭未満	325	79.4	9.2	0.9	4.0	1.5	1.2	-	-	3.7	16.8	0.9	5.2
	50頭未満	204	78.4	8.8	2.9	4.9	0.5	-	-	-	4.4	17.1	0.6	3.5
	75頭未満	193	69.4	9.3	6.7	5.7	2.6	1.6	-	0.5	4.1	26.4	1.8	6.5
	100頭未満	61	78.7	9.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	-	3.3	17.8	1.3	7.1
	150頭未満	31	90.3	3.2	-	-	-	3.2	-	-	3.2	6.4	0.7	10.5
150頭以上	19	84.2	-	5.3	-	5.3	-	5.3	-	-	15.9	2.7	17.3	
無回答	9	33.3	11.1	11.1	11.1	-	-	11.1	-	22.2	44.4	7.0	12.3	
20年度調査 全体	2,443	79.2	8.1	3.8	2.8	1.2	0.2	0.2	0.3	4.2	16.6	0.9	5.4	

## 7 平成20年度年間出荷乳量

昨年度の年間出荷乳量に関する経営戸数の構成は、全体としてみると150トン未満(26.2%)が1/4強、150～400トン未満(44.7%)が1/2弱、400トン以上(26.5%)が1/4強となっており、1戸当たりの平均年間出荷乳量は349.3トンであった。

北海道・都府県別にみると、北海道と都府県では300トン未満の割合(北海道28.2%、都府県67.5%)と300トン以上の割合(北海道69.7%、都府県29.7%)がほぼ逆転しており、北海道の平均年間出荷乳量(531.4トン)は都府県の年間出荷乳量(273.8トン)の約2倍であった。なお、都府県では、中国(360.4トン)、近畿(326.2トン)、東海(322.9トン)の平均年間出荷乳量が多く、東北(189.2トン)、北陸(250.7トン)の平均年間出荷乳量が少なかった。

また、経産牛飼養規模別には、当然のことながら飼養規模の増大に伴い平均年間出荷乳量も増加するという関係がみられた。

問6 平成20年度年間出荷乳量<数値回答>

[単位:戸、%、トン]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	14	15	16	有効回答平均		
		50トン未満	150トン未満	150トン未満	200トン未満	250トン未満	300トン未満	350トン未満	400トン未満	450トン未満	500トン未満	550トン未満	600トン未満	650トン未満	700トン未満	800トン以上	無回答	計300トン以上			
全体	2,635	6.3	9.0	10.9	9.6	11.2	9.0	8.9	6.0	5.4	3.3	3.4	2.6	3.0	2.5	6.3	2.7	41.3	349.3		
北海道 (都府県計)	北海道	769	0.4	2.1	3.4	4.3	9.0	9.0	10.5	9.0	9.4	6.1	5.2	4.7	6.4	4.9	13.5	2.2	69.7	531.4	
	(都府県計)	1,866	8.7	11.8	13.9	11.8	12.2	9.1	8.2	4.8	3.8	2.1	2.7	1.7	1.6	1.5	3.3	2.9	29.6	273.8	
	東北	422	16.6	17.1	14.7	12.1	7.3	5.7	8.3	2.8	2.6	1.9	1.7	0.7	0.2	0.5	1.2	6.6	19.9	189.2	
	関東	570	6.8	9.8	15.1	11.1	13.3	12.5	8.9	6.3	4.2	1.9	2.6	1.4	1.2	1.4	3.2	0.2	31.2	270.7	
	北陸	66	9.1	15.2	13.6	12.1	13.6	4.5	9.1	4.5	3.0	6.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	30.3	250.7	
	東海	151	6.0	7.9	9.3	9.3	19.9	11.3	6.6	4.0	5.3	3.3	4.0	2.6	1.3	2.6	6.6	-	36.4	322.9	
	近畿	108	11.1	9.3	17.6	11.1	10.2	9.3	6.5	4.6	2.8	2.8	1.9	1.9	-	-	5.6	5.6	25.9	326.2	
	中国	140	6.4	10.7	9.3	15.7	7.9	6.4	10.0	7.1	5.7	1.4	3.6	0.7	1.4	3.6	5.0	5.0	38.6	360.4	
	四国	83	9.6	13.3	19.3	12.0	9.6	8.4	6.0	3.6	2.4	3.6	-	2.4	4.8	1.2	3.6	-	27.7	276.4	
	九州	314	2.9	11.1	12.7	12.4	15.6	8.3	7.6	4.1	3.2	1.0	4.5	3.2	3.8	2.2	3.8	3.5	33.4	312.3	
沖縄	12	-	-	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	16.7	16.7	-	-	-	8.3	-	-	-	50.0	-	308.7	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	85.7	6.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.2	-	-	23.9	
	10頭未満	185	57.3	35.7	2.7	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	47.3	
	20頭未満	412	2.9	37.6	45.4	9.2	1.0	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	105.4	
	30頭未満	464	0.6	2.2	17.9	38.1	31.3	6.5	0.9	0.2	-	-	-	-	-	-	2.4	1.1	1.1	184.6	
	40頭未満	421	-	-	2.6	7.1	27.3	32.3	22.6	4.3	0.7	-	-	-	-	-	2.9	27.8	27.8	265.3	
	50頭未満	336	-	-	-	1.2	7.4	16.4	29.2	25.3	12.8	5.4	1.2	0.3	-	-	-	0.9	74.1	74.1	341.1
	75頭未満	443	0.2	0.5	-	0.5	1.4	3.4	7.9	12.2	20.8	13.8	16.9	12.2	7.2	1.6	-	1.6	92.6	92.6	459.1
	100頭未満	160	-	-	-	-	-	-	-	0.6	2.5	3.8	5.6	6.3	27.5	31.9	18.8	3.1	96.9	96.9	692.9
	150頭未満	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	3.5	2.3	9.3	82.6	-	100.0	972.9
	150頭以上	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.0	3.0	97.0	2,245.6	
無回答	12	8.3	8.3	-	8.3	8.3	8.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	41.7	16.7	-	197.9	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
	10頭未満	5	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43.8	
	20頭未満	21	-	57.1	38.1	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.0	
	30頭未満	58	-	3.4	25.9	27.6	29.3	6.9	-	1.7	-	-	-	-	-	-	5.2	1.7	1.7	182.9	
	40頭未満	96	-	-	3.1	12.5	34.4	29.2	13.5	4.2	-	-	-	-	-	-	3.1	17.7	17.7	248.7	
	50頭未満	132	-	-	-	2.3	11.4	21.2	28.0	18.2	12.1	4.5	-	0.8	-	-	1.5	63.6	63.6	326.9	
	75頭未満	250	-	-	-	0.4	1.2	3.6	12.0	15.6	20.8	14.4	13.2	10.0	6.8	0.8	-	1.2	93.6	446.3	
	100頭未満	99	-	-	-	-	-	-	-	1.0	4.0	5.1	6.1	7.1	30.3	29.3	15.2	2.0	98.0	670.6	
	150頭未満	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	5.5	3.6	12.7	76.4	-	100.0	930.2	
	150頭以上	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.9	2.1	97.9	2,013.3	
無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	260.5	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	89.4	6.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	23.9	
	10頭未満	180	57.2	35.6	2.8	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	47.4	
	20頭未満	391	3.1	36.6	45.8	9.5	1.0	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	105.8	
	30頭未満	406	0.7	2.0	16.7	39.7	31.5	6.4	1.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	1.0	1.0	184.9	
	40頭未満	325	-	-	2.5	5.5	25.2	33.2	25.2	4.3	0.9	0.3	-	-	-	-	2.8	30.8	30.8	270.2	
	50頭未満	204	-	-	-	0.5	4.9	13.2	29.9	29.9	13.2	5.9	2.0	-	-	-	0.5	80.9	80.9	350.2	
	75頭未満	193	0.5	1.0	-	0.5	1.6	3.1	2.6	7.8	20.7	13.0	21.8	15.0	7.8	2.6	-	2.1	91.2	475.8	
	100頭未満	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	4.9	4.9	23.0	36.1	24.6	4.9	95.1	730.1	
	150頭未満	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	3.2	93.5	-	100.0	1,048.6	
	150頭以上	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94.7	5.3	94.7	2,852.2	
無回答	9	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	44.4	11.1	-	172.8	
20年度調査 全体	2,443	4.0	8.9	12.0	11.1	10.8	9.8	9.0	6.6	5.7	3.8	2.6	1.8	2.9	-	-	2.0	41.5	-	350.6	

<参考> 経産牛1頭当たり年間出荷乳量

経産牛1頭当たり年間出荷乳量は、「経産牛飼養頭数（平成21年9月1日現在）」「年間出荷乳量（平成20年度）」に関する調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{経産牛1頭当たり年間出荷乳量} = \text{年間出荷乳量} \div \text{経産牛飼養頭数}$$

全体的にみると、『7,000～8,000kg未満』（24.7%）を中心として、6,000～9,000kg未満の経営が62.8%を占めており、平均1頭当たり年間出荷乳量は7,665.6kgであった。

平均1頭当たり年間出荷乳量で比較すると、地域別には中国（8,481.7kg）、東海（8,043.4kg）、北陸（7,925.0kg）の値が高く、四国（7,159.9kg）、沖縄（7,299.8kg）、東北（7,328.4kg）の値が低かった。

経産牛飼養規模別には、北海道・都府県ともに、規模の増大に伴って経産牛1頭当たり平均出荷乳量も上昇するという傾向がおおむね認められた。

<加工値>問4④・問6 経産牛1頭当たり年間出荷乳量<数値回答>

[単位：戸、%、kg]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	有効回答平均 (0含む)	
		5000kg未満	6000kg未満	7000kg未満	8000kg未満	9000kg未満	10000kg未満	10000kg以上	無回答・非該当		
全体	2,635	5.4	8.7	17.3	24.7	20.8	12.9	7.2	3.0	7,665.6	
ブ ロ ッ ク	北海道(都府県計)	1,866	5.7	8.2	16.6	23.8	21.0	13.2	8.3	7,712.1	
	東北	422	10.7	8.3	18.2	21.6	17.1	8.8	7.8	7,328.4	
	関東	570	3.7	7.7	17.2	23.3	21.9	17.2	8.6	7,866.7	
	北陸	66	4.5	1.5	19.7	30.3	16.7	13.6	12.1	7,925.0	
	東海	151	2.6	6.0	12.6	29.8	25.2	17.9	6.0	8,043.4	
	近畿	108	5.6	8.3	15.7	25.0	24.1	10.2	5.6	7,612.5	
	中国	140	1.4	7.9	9.3	20.7	20.0	17.9	17.9	8,481.7	
	四国	83	14.5	9.6	16.9	21.7	25.3	8.4	3.6	7,159.9	
	九州	314	4.1	10.8	18.2	24.8	21.3	10.2	7.0	7,569.0	
	沖縄	12	8.3	16.7	8.3	33.3	25.0	8.3	-	7,299.8	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	12.2	10.2	20.4	8.2	18.4	8.2	14.3	8.2	7,685.2
	10頭未満	185	17.8	18.4	21.6	15.1	11.9	6.5	4.9	3.8	6,617.5
	20頭未満	412	9.0	12.1	23.3	22.1	12.6	7.0	10.2	3.6	7,382.4
	30頭未満	464	4.5	8.8	19.6	25.4	21.3	11.9	6.0	2.4	7,576.3
	40頭未満	421	3.8	6.7	13.3	28.7	23.0	15.2	6.4	2.9	7,860.6
	50頭未満	336	1.8	8.9	16.7	29.5	22.3	11.9	8.0	0.9	7,809.6
	75頭未満	443	4.1	5.6	17.2	25.5	23.3	17.2	5.6	1.6	7,778.2
	100頭未満	160	1.9	4.4	11.3	25.6	28.8	16.9	8.1	3.1	8,141.6
	150頭未満	86	1.2	8.1	11.6	20.9	30.2	20.9	7.0	-	8,127.9
	150頭以上	67	1.5	1.5	4.5	26.9	29.9	22.4	10.4	3.0	8,406.3
無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	10頭未満	5	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	5,672.2
	20頭未満	21	19.0	4.8	38.1	19.0	4.8	4.8	9.5	-	6,970.1
	30頭未満	58	8.6	13.8	17.2	19.0	19.0	12.1	5.2	5.2	7,352.7
	40頭未満	96	7.3	13.5	19.8	27.1	18.8	7.3	3.1	3.1	7,212.2
	50頭未満	132	2.3	16.7	19.7	29.5	15.2	9.8	5.3	1.5	7,424.0
	75頭未満	250	4.0	6.8	24.8	26.8	19.6	12.4	4.4	1.2	7,535.7
	100頭未満	99	3.0	5.1	12.1	32.3	24.2	17.2	4.0	2.0	7,921.7
	150頭未満	55	1.8	10.9	12.7	21.8	32.7	14.5	5.5	-	7,903.4
	150頭以上	48	2.1	2.1	4.2	31.3	33.3	18.8	6.3	2.1	8,205.1
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	12.8	10.6	21.3	8.5	19.1	8.5	14.9	4.3	7,685.2
	10頭未満	180	17.8	17.8	21.7	15.6	11.7	6.7	5.0	3.9	6,644.8
	20頭未満	391	8.4	12.5	22.5	22.3	13.0	7.2	10.2	3.8	7,405.4
	30頭未満	406	3.9	8.1	20.0	26.4	21.7	11.8	6.2	2.0	7,607.2
	40頭未満	325	2.8	4.6	11.4	29.2	24.3	17.5	7.4	2.8	8,051.4
	50頭未満	204	1.5	3.9	14.7	29.4	27.0	13.2	9.8	0.5	8,056.6
	75頭未満	193	4.1	4.1	7.3	23.8	28.0	23.3	7.3	2.1	8,095.0
	100頭未満	61	-	3.3	9.8	14.8	36.1	16.4	14.8	4.9	8,509.4
	150頭未満	31	-	3.2	9.7	19.4	25.8	32.3	9.7	-	8,526.2
	150頭以上	19	-	-	5.3	15.8	21.1	31.6	21.1	5.3	8,931.8
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
20年度調査全体	2,443	4.0	10.2	20.5	23.6	22.1	11.2	6.3	2.1	7,596.3	

## 8 土地利用の状況

### (1) 経営耕地面積

全体としてみると、3ha未満の経営（28.8%）が約3割、3～20ha未満の経営（37.8%）が約4割、20ha以上の経営（30.4%）が約3割という構成になっており、非耕作経営を含む平均面積（「0を含む」）は21.4haであった。

北海道・都府県別にみると、北海道と都府県では20ha未満の割合（北海道5.6%、都府県92.0%）と20ha以上の割合（北海道93.9%、都府県4.3%）がほぼ逆転しており、平均経営耕地面積（「0を含む」）は北海道（58.2ha）が都府県（5.8ha）の約10倍であった。

また、都府県の地域別に平均経営耕地面積（「0を含む」）を比較すると、東北（9.8ha）、九州（5.9ha）、中国（50.4ha）が大きく、沖縄（1.2ha）、近畿（2.3ha）、四国（2.5ha）が小さい値を示した。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県ともに、やや不規則な動きもみられるが、飼養規模の増大に伴い平均面積（「0を含む」）も増加するという傾向がおおむね認められた。

問7 ① 経営耕地面積<数値回答>

[単位：戸、%、ha]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	0 ヘクタール を 除 く 合 計 ・ 無 回 答	有 効 回 答 平 均 （ 0 含 む ）	平 均 （ 0 除 く ）	
		0 ヘクタール	1 ヘクタール （ ゼ ロ を 除 く ） 未 満	1 ヘクタール 未 満 3 ヘクタール	3 ヘクタール 未 満 5 ヘクタール	5 ヘクタール 未 満 10 ヘクタール	10 ヘクタール 未 満 20 ヘクタール	20 ヘクタール 未 満 30 ヘクタール	30 ヘクタール 未 満 40 ヘクタール	40 ヘクタール 未 満 50 ヘクタール	50 ヘクタール 未 満 75 ヘクタール	75 ヘクタール 未 満 100 ヘクタール	100 ヘクタール 以上	無 回 答				
全 体	2,635	3.0	6.6	19.2	13.2	15.3	9.3	4.9	4.5	4.6	9.9	4.0	2.5	2.9	94.0	21.4	22.1	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	0.1	0.1	0.5	0.4	0.7	3.8	10.4	13.7	14.6	33.3	13.7	8.2	0.7	99.4	58.2	58.3
	(都府県計)	1,866	4.2	9.3	27.0	18.5	21.4	11.6	2.7	0.8	0.4	0.2	-	0.2	3.8	92.1	5.8	6.0
	東 北	422	1.4	6.2	15.2	17.1	21.3	20.9	7.1	2.4	1.2	0.2	-	0.7	6.4	92.3	9.8	9.9
	東 北 東	570	3.3	8.8	29.5	19.8	23.0	8.6	1.4	0.2	0.4	-	-	-	5.1	91.7	4.7	4.9
	東 北 陸	66	12.1	6.1	22.7	18.2	25.8	13.6	-	-	-	-	-	-	1.5	86.4	4.6	5.3
	海 道	151	3.3	13.9	34.4	19.2	15.9	8.6	2.6	-	-	-	-	-	2.0	94.6	4.1	4.3
	近 畿	108	13.9	22.2	42.6	10.2	3.7	2.8	1.9	-	-	-	-	-	2.8	83.4	2.3	2.7
	中 国	140	7.9	10.0	37.1	10.0	14.3	12.9	2.9	0.7	-	0.7	-	-	3.6	88.6	5.4	5.9
	四 国	83	6.0	20.5	37.3	21.7	13.3	-	1.2	-	-	-	-	-	-	94.0	2.5	2.7
	九 州	314	1.9	4.5	22.9	23.9	32.5	11.5	0.3	0.6	0.3	0.6	-	-	1.0	97.1	5.9	6.1
沖 縄	12	25.0	33.3	25.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	1.2	1.6	
経 産 牛 飼 養 頭 数 （ 全 国 ）	5 頭 未 満	49	-	14.3	51.0	14.3	10.2	2.0	-	-	-	-	-	8.2	91.8	2.6	2.6	
	10 頭 未 満	185	4.9	16.2	37.3	22.2	13.0	2.7	-	-	-	-	-	3.8	91.4	2.8	2.9	
	20 頭 未 満	412	4.1	9.5	33.7	19.7	16.3	7.3	2.4	1.0	0.5	0.2	-	0.2	5.1	90.8	5.2	5.5
	30 頭 未 満	464	2.6	9.7	22.2	18.1	19.8	12.5	6.0	2.8	1.9	1.3	0.4	-	2.6	94.7	8.7	8.9
	40 頭 未 満	421	4.0	5.2	16.9	15.2	20.7	11.2	7.6	7.6	4.3	3.8	1.4	0.2	1.9	94.1	14.1	14.7
	50 頭 未 満	336	1.5	3.9	9.2	8.6	19.0	11.3	10.1	8.3	7.1	15.2	3.0	0.3	2.4	96.0	23.9	24.3
	75 頭 未 満	443	3.4	2.5	11.7	5.9	10.2	7.4	3.8	7.2	12.2	24.6	7.0	2.9	1.1	95.4	36.0	37.3
	100 頭 未 満	160	0.6	3.8	4.4	5.0	9.4	11.3	1.9	3.8	5.6	31.9	12.5	7.5	2.5	97.1	47.5	47.8
	150 頭 未 満	86	2.3	-	4.7	5.8	3.5	8.1	4.7	2.3	1.2	20.9	27.9	15.1	3.5	94.2	60.4	61.9
	150 頭 以上	67	1.5	1.5	4.5	3.0	3.0	10.4	3.0	3.0	1.5	11.9	17.9	37.3	1.5	97.0	95.5	97.0
無 回 答	12	-	8.3	25.0	16.7	-	8.3	-	-	16.7	-	-	-	25.0	75.0	12.9	12.9	
経 産 牛 飼 養 頭 数 （ 北 海 道 ）	5 頭 未 満	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	10.5	10.5	
	10 頭 未 満	5	-	20.0	-	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	6.7	6.7	
	20 頭 未 満	21	4.8	4.8	4.8	-	28.6	33.3	14.3	4.8	4.8	-	-	-	95.4	22.1	23.2	
	30 頭 未 満	58	-	-	1.7	-	1.7	19.0	27.6	22.4	15.5	8.6	3.4	-	99.9	31.7	31.7	
	40 頭 未 満	96	-	-	1.0	-	-	2.1	27.1	29.2	15.6	16.7	6.3	1.0	99.0	40.5	40.5	
	50 頭 未 満	132	-	-	-	0.8	-	3.8	12.9	19.7	16.7	37.9	7.6	-	0.8	99.4	46.6	46.6
	75 頭 未 満	250	-	-	-	0.4	-	0.8	4.4	11.6	21.6	43.6	12.4	4.8	0.4	99.6	58.2	58.2
	100 頭 未 満	99	-	-	-	-	-	1.0	2.0	4.0	8.1	51.5	20.2	12.1	1.0	98.9	70.2	70.2
	150 頭 未 満	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.7	43.6	23.6	-	99.9	84.9	84.9
	150 頭 以上	48	-	-	-	-	-	2.1	2.1	4.2	2.1	12.5	25.0	52.1	-	100.1	125.9	125.9
無 回 答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3	66.7	44.4	44.4	
経 産 牛 飼 養 頭 数 （ 都 府 県 ）	5 頭 未 満	47	-	14.9	53.2	12.8	10.6	-	-	-	-	-	-	8.5	91.5	2.2	2.2	
	10 頭 未 満	180	5.0	16.7	37.8	22.8	11.1	2.8	-	-	-	-	-	3.9	91.2	2.7	2.8	
	20 頭 未 満	391	4.1	9.7	35.3	20.7	17.1	6.1	0.8	0.3	0.3	-	-	0.3	5.4	90.6	4.3	4.5
	30 頭 未 満	406	3.0	11.1	25.1	20.7	22.4	11.6	3.0	-	-	0.2	-	-	3.0	94.1	5.3	5.5
	40 頭 未 満	325	5.2	6.8	21.5	19.7	26.8	13.8	1.8	1.2	0.9	-	-	-	2.2	92.5	6.2	6.6
	50 頭 未 満	204	2.5	6.4	15.2	13.7	31.4	16.2	8.3	1.0	1.0	0.5	-	0.5	3.4	94.2	8.9	9.1
	75 頭 未 満	193	7.8	5.7	26.9	13.0	23.3	16.1	3.1	1.6	-	-	-	0.5	2.1	90.2	6.8	7.3
	100 頭 未 満	61	1.6	9.8	11.5	13.1	24.6	27.9	1.6	3.3	1.6	-	-	-	4.9	93.4	9.0	9.2
	150 頭 未 満	31	6.5	-	12.9	16.1	9.7	22.6	12.9	6.5	3.2	-	-	-	9.7	83.9	12.1	13.0
	150 頭 以上	19	5.3	5.3	15.8	10.5	10.5	31.6	5.3	-	-	10.5	-	-	5.3	89.5	14.5	15.4
無 回 答	9	-	11.1	33.3	22.2	-	11.1	-	-	-	-	-	-	22.2	77.7	3.9	3.9	
20年度調査 全体	2,443	2.4	5.8	21.0	13.2	17.8	10.4	4.3	5.1	3.6	8.6	3.9	2.4	1.4	96.1	20.0	20.5	

<参考> 経産牛1頭当たり経営耕地面積

経産牛1頭当たり経営耕地面積は、「経産牛飼養頭数」と「経営耕地面積」の調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{経産牛1頭当たり経営耕地面積} = \text{経営耕地面積} \div \text{経産牛飼養頭数}$$

全体としてみると、1頭当たり0.3ha未満の経営(51.6%)と0.3ha以上の経営(45.3%)がおおむね半々となっており、平均1頭当たり経営耕地面積(「0を含む」)は0.47haであった。

北海道・都府県別にみると、北海道では0.5ha以上の経営(90.7%)が約9割を占めるのに対して、都府県では0.5ha未満の経営(83.6%)が8割強を占めており、平均1頭当たり経営耕地面積(「0を含む」)でみると北海道(1.00ha)は都府県(0.24ha)の4.2倍であった。

なお、都府県の地域別に平均1頭当たり面積(「0を含む」)を比較すると、東北(0.47ha)で相対的に大きく、沖縄(0.03ha)、近畿(0.11ha)、四国(0.13ha)で相対的に小さかった。

また、経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方について、飼養規模の増大とともに平均1頭当たり経営耕地面積(「0を含む」)は減少するという傾向がおおむね認められた。

<加工値>問4①・問7 ① 経産牛1頭当たり経営耕地面積<数値回答>

[単位:戸、%、ha]

	酪農家数	経営耕地面積(0を含む)													有効回答平均(0を含む)	平均(0を除く)			
		0ヘクタール未満(ゼロを除く)	0.1ヘクタール未満	0.2ヘクタール未満	0.3ヘクタール未満	0.4ヘクタール未満	0.5ヘクタール未満	0.6ヘクタール未満	0.7ヘクタール未満	0.8ヘクタール未満	0.9ヘクタール未満	1.0ヘクタール未満	1.0以上	無回答・非該当					
全体	2,635	3.4	20.5	17.3	10.4	6.1	4.1	5.2	8.7	6.9	5.9	3.9	4.5	3.1	93.5	0.47	0.48		
プロダク	北海道(都府県計)	769	0.1	0.9	0.4	1.2	2.1	3.8	7.3	21.2	19.4	18.1	11.7	13.0	0.9	99.1	1.00	1.00	
	北 東	422	1.7	10.7	10.4	12.1	13.5	9.7	13.7	9.0	4.0	2.8	2.8	2.1	7.3	90.8	0.47	0.48	
	北 東	570	3.9	31.1	30.7	17.2	4.7	3.0	1.4	1.4	0.7	0.2	0.2	0.7	4.9	91.3	0.18	0.19	
	北 陸	66	13.6	18.2	19.7	19.7	13.6	3.0	3.0	6.1	-	1.5	-	-	1.5	84.8	0.21	0.25	
	東 海	151	4.6	47.0	20.5	7.9	5.3	3.3	2.0	4.0	2.0	0.7	-	0.7	2.0	93.4	0.18	0.19	
	近 畿	108	15.7	45.4	21.3	3.7	5.6	0.9	2.8	-	0.9	0.9	-	-	2.8	81.5	0.11	0.14	
	中 国	140	7.9	33.6	21.4	15.7	11.4	0.7	-	0.7	3.6	-	0.7	0.7	3.6	88.5	0.19	0.21	
	四 国	83	6.0	57.8	20.5	6.0	4.8	-	-	2.4	1.2	-	-	1.2	-	93.9	0.13	0.14	
	九 州	314	2.2	23.9	38.2	18.8	6.1	3.8	1.9	2.2	0.3	0.3	-	0.6	1.6	96.1	0.20	0.20	
	沖 縄	12	25.0	66.7	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	0.03	0.04	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	-	4.1	4.1	6.1	18.4	6.1	10.2	12.2	2.0	10.2	2.0	16.3	8.2	91.7	0.85	0.85	
	10頭未満	185	4.9	13.0	13.0	12.4	15.1	5.9	10.8	9.7	4.3	2.7	3.8	1.1	3.2	91.8	0.40	0.43	
	20頭未満	412	4.1	19.7	22.3	15.0	9.5	5.1	4.9	4.4	3.2	1.7	1.2	3.9	5.1	90.9	0.36	0.38	
	30頭未満	464	2.6	25.9	23.3	12.5	8.0	5.0	3.2	4.7	3.7	2.2	2.4	4.3	2.4	95.2	0.36	0.37	
	40頭未満	421	4.3	23.5	23.3	12.1	4.3	3.1	3.1	5.0	5.9	4.8	3.6	5.2	1.9	93.9	0.41	0.43	
	50頭未満	336	2.1	19.6	15.5	11.9	3.9	3.3	4.2	8.9	4.8	8.6	8.6	6.3	2.4	95.6	0.55	0.56	
	75頭未満	443	4.3	20.5	10.8	4.7	2.0	1.6	4.5	12.2	12.4	13.3	6.8	5.6	1.1	94.4	0.61	0.64	
	100頭未満	160	1.3	18.1	12.5	3.8	1.9	3.8	5.6	18.8	16.3	10.6	2.5	2.5	2.5	96.4	0.56	0.57	
	150頭未満	86	2.3	16.3	9.3	4.7	-	4.7	11.6	23.3	19.8	3.5	1.2	-	3.5	94.4	0.52	0.53	
	150頭以上	67	4.5	19.4	7.5	7.5	9.0	13.4	14.9	14.9	4.5	1.5	1.5	-	1.5	94.1	0.39	0.41	
無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-		
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	3.82	3.82	
	10頭未満	5	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	60.0	20.0	-	100.0	0.91	0.91	
	20頭未満	21	4.8	9.5	-	-	-	-	-	-	9.5	19.0	9.5	47.6	-	95.1	1.48	1.56	
	30頭未満	58	-	1.7	-	1.7	-	1.7	3.4	13.8	17.2	10.3	17.2	32.8	-	99.8	1.29	1.29	
	40頭未満	96	-	1.0	-	-	-	-	1.0	3.1	17.7	21.9	18.8	13.5	21.9	1.0	98.9	1.17	1.17
	50頭未満	132	-	0.8	-	-	3.0	2.3	5.3	18.9	11.4	21.2	21.2	15.2	0.8	99.3	1.06	1.06	
	75頭未満	250	-	0.4	-	0.4	1.6	2.4	6.4	21.2	22.0	23.6	12.0	9.6	0.4	99.6	0.99	0.99	
	100頭未満	99	-	-	-	2.0	2.0	5.1	8.1	30.3	26.3	17.2	4.0	4.0	1.0	99.0	0.83	0.83	
	150頭未満	55	-	-	-	-	-	-	7.3	18.2	36.4	30.9	5.5	1.8	-	100.1	0.73	0.73	
	150頭以上	48	-	2.1	6.3	8.3	12.5	18.8	20.8	20.8	6.3	2.1	2.1	-	-	100.1	0.52	0.52	
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-		
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	-	4.3	4.3	6.4	19.1	6.4	10.6	12.8	2.1	10.6	2.1	12.8	8.5	91.5	0.72	0.72	
	10頭未満	180	5.0	13.3	13.3	12.2	15.6	6.1	11.1	10.0	4.4	1.1	3.3	1.1	3.3	91.5	0.39	0.41	
	20頭未満	391	4.1	20.2	23.5	15.9	10.0	5.4	5.1	4.6	2.8	0.8	1.5	5.4	0.8	90.6	0.30	0.31	
	30頭未満	406	3.0	29.3	26.6	14.0	9.1	5.4	3.2	3.4	1.7	1.0	0.2	0.2	2.7	94.1	0.22	0.23	
	40頭未満	325	5.5	30.2	30.2	15.7	5.5	3.7	3.1	1.2	1.2	0.6	0.6	0.3	2.2	92.3	0.19	0.20	
	50頭未満	204	3.4	31.9	25.5	19.6	4.4	3.9	3.4	2.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3.4	93.2	0.20	0.21	
	75頭未満	193	9.8	46.6	24.9	10.4	2.6	0.5	2.1	0.5	-	-	-	0.5	2.1	88.1	0.12	0.13	
	100頭未満	61	3.3	47.5	32.8	6.6	1.6	1.6	1.6	-	-	-	-	-	4.9	91.7	0.11	0.11	
	150頭未満	31	6.5	45.2	25.8	12.9	-	-	-	-	-	-	-	-	9.7	83.9	0.10	0.11	
	150頭以上	19	15.8	63.2	10.5	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	79.0	0.05	0.06	
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-		
20年度調査全体	2,443	2.7	21.7	18.7	12.4	7.2	5.3	5.0	7.4	5.9	5.0	3.9	3.2	1.6	95.7	0.42	0.43		

(1-付) 借入経営耕地面積

全国的にみると、経営耕地を借入している経営（「0ha・無回答を除く合計」）の割合は67.3%で、借入経営の平均借入面積（「0を除く」）は8.0haであった。また、非借入経営を含む平均借入面積（「0を含む」）は5.8haであった。

北海道・都府県別にみると、借入経営の割合（北海道67.9%、都府県67.1%）に関しては大差ないが、借入経営の平均借入面積（「0を除く」）に関しては4倍以上の大差を持って北海道（17.5ha）が都府県（4.0ha）を上回った。

また、非借入経営を含む平均借入面積（「0を含む」）でみると、都府県では東北（4.8ha）が相対的に大きく、沖縄（0.3ha）、四国（1.0ha）、近畿（1.2ha）が総体的に小さかった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方について、飼養規模の増大に伴い平均借入面積（「0を含む」）が増加するという傾向がおおむね認められた。ただし、北海道では増加幅が規模に対して漸増的であるのに対して、都府県では増加幅が規模に対して漸減的であるといった相違点もみられた。

問7 ①付 経営耕地面積（借入地面積）＜数値回答＞

[単位：戸、%、ha]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	答を 除く 合計	有 効 回 答 平 均 ( 0 除 く )	平 均 ( 0 含 む )	
		0 ヘクタール	1 ヘクタール未満 (ゼロを除く)	1 ヘクタール未満 1 ヘクタール未満	2 ヘクタール未満 3 ヘクタール未満	3 ヘクタール未満 4 ヘクタール未満	4 ヘクタール未満 5 ヘクタール未満	5 ヘクタール未満 6 ヘクタール未満	6 ヘクタール未満 7 ヘクタール未満	7 ヘクタール未満 8 ヘクタール未満	8 ヘクタール未満 9 ヘクタール未満	9 ヘクタール未満 10 ヘクタール未満	10 ヘクタール未満 11 ヘクタール未満	11 ヘクタール未満 12 ヘクタール未満				12 ヘクタール未満 13 ヘクタール未満
全 体	2,635	25.0	12.1	16.2	10.4	11.8	9.6	3.6	1.8	0.8	0.7	0.2	0.1	7.7	67.3	5.8	8.0	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	25.5	12.1	16.2	10.4	11.8	9.6	3.6	1.8	0.8	0.7	0.2	0.1	7.7	67.3	12.7	17.5
	(都府県計)	1,866	24.8	16.6	21.3	11.8	10.8	5.0	1.1	0.2	0.1	0.2	-	-	8.1	67.1	2.9	4.0
	東 北	422	17.8	11.4	17.8	14.5	13.0	9.5	2.6	0.5	-	0.7	-	-	12.3	70.0	4.8	6.0
	関 東	570	25.1	17.0	22.3	13.2	10.0	3.2	0.7	-	-	-	-	-	8.6	66.4	2.3	3.2
	北 陸	66	34.8	12.1	13.6	10.6	18.2	3.0	-	-	-	-	-	-	7.6	57.5	2.7	4.3
	東 海	151	32.5	15.9	21.9	9.9	6.6	7.3	1.3	-	-	-	-	-	4.6	62.9	2.5	3.8
	近 畿	108	43.5	25.0	16.7	1.9	2.8	1.9	0.9	-	-	-	-	-	7.4	49.2	1.2	2.2
	中 国	140	28.6	17.9	17.9	5.7	13.6	7.1	0.7	-	-	-	-	-	8.6	62.9	2.9	4.2
	四 国	83	36.1	25.3	25.3	9.6	1.2	-	-	-	-	-	-	-	2.4	61.4	1.0	1.6
	九 州	314	15.6	17.8	28.3	14.3	14.0	3.5	0.6	0.3	0.3	-	-	-	5.1	79.1	2.9	3.5
沖 縄	12	58.3	33.3	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.6	0.3	0.7	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	40.8	22.4	16.3	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	16.3	42.8	0.6	1.2
	10 頭 未 満	185	38.4	16.8	22.2	4.9	1.6	-	-	-	-	-	-	-	16.2	45.5	0.8	1.5
	20 頭 未 満	412	26.7	23.8	20.6	11.4	6.1	1.7	0.5	-	-	-	-	-	9.2	64.1	1.8	2.5
	30 頭 未 満	464	22.0	16.8	22.8	11.6	12.7	6.3	1.3	0.4	-	0.2	-	-	5.8	72.1	3.4	4.4
	40 頭 未 満	421	22.8	10.0	18.3	14.3	16.4	10.0	1.7	1.0	0.2	-	-	-	5.5	71.9	4.2	5.6
	50 頭 未 満	336	21.4	7.4	13.1	13.4	17.0	15.8	4.5	2.1	-	0.6	-	-	4.8	73.9	6.3	8.2
	75 頭 未 満	443	28.0	5.9	9.9	7.7	14.2	15.3	7.9	2.0	1.4	0.9	-	-	6.8	65.2	7.7	11.0
	100 頭 未 満	160	20.0	3.1	8.8	9.4	10.6	17.5	5.6	8.8	5.0	-	-	-	11.3	68.8	11.2	14.5
	150 頭 未 満	86	19.8	-	5.8	5.8	8.1	18.6	18.6	7.0	2.3	7.0	2.3	-	4.7	75.5	18.1	22.8
	150 頭 以上	67	17.9	1.5	3.0	4.5	13.4	14.9	9.0	9.0	4.5	7.5	3.0	4.5	7.5	74.8	29.2	36.2
無 回 答	12	25.0	25.0	-	-	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	33.3	41.6	2.5	3.9	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	2.5	2.5
	10 頭 未 満	5	40.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	40.0	1.1	2.2
	20 頭 未 満	21	38.1	9.5	4.8	14.3	14.3	9.5	-	-	-	-	-	-	9.5	52.4	3.2	5.4
	30 頭 未 満	58	24.1	-	6.9	10.3	25.9	15.5	3.4	3.4	-	1.7	-	-	8.6	67.1	8.1	11.1
	40 頭 未 満	96	27.1	2.1	4.2	12.5	13.5	26.0	4.2	3.1	1.0	-	-	-	6.3	66.6	7.7	10.8
	50 頭 未 満	132	28.0	2.3	4.5	6.8	17.4	22.7	7.6	5.3	-	-	-	-	5.3	66.6	8.5	12.1
	75 頭 未 満	250	27.2	0.8	2.0	7.2	13.6	22.4	12.8	3.6	2.4	1.2	-	-	6.8	66.0	11.0	15.6
	100 頭 未 満	99	25.3	1.0	4.0	3.0	10.1	18.2	8.1	12.1	8.1	-	-	-	10.1	64.6	14.2	19.8
	150 頭 未 満	55	18.2	-	-	-	7.3	21.8	23.6	10.9	3.6	10.9	3.6	-	-	81.7	23.9	29.2
	無 回 答	48	10.4	-	2.1	4.2	14.6	14.6	12.5	12.5	4.2	10.4	4.2	6.3	4.2	85.6	37.2	41.7
経産牛飼養頭数(都府県)	19	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	5.0	10.0	
5 頭 未 満	47	42.6	23.4	14.9	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	14.9	42.6	0.6	1.2	
10 頭 未 満	180	38.3	17.2	21.7	5.0	1.7	-	-	-	-	-	-	-	16.1	45.6	0.8	1.5	
20 頭 未 満	391	26.1	24.6	21.5	11.3	5.6	1.3	0.5	-	-	-	-	-	9.2	64.8	1.7	2.4	
30 頭 未 満	406	21.7	19.2	25.1	11.8	10.8	4.9	1.0	-	-	-	-	-	5.4	72.8	2.8	3.6	
40 頭 未 満	325	21.5	12.3	22.5	14.8	17.2	5.2	0.9	0.3	-	-	-	-	5.2	73.2	3.3	4.2	
50 頭 未 満	204	17.2	10.8	18.6	17.6	16.7	11.3	2.5	-	-	1.0	-	-	4.4	78.5	4.9	6.0	
75 頭 未 満	193	29.0	12.4	20.2	8.3	15.0	6.2	1.6	-	-	0.5	-	-	6.7	64.2	3.4	4.9	
100 頭 未 満	61	11.5	6.6	16.4	19.7	11.5	16.4	1.6	3.3	-	-	-	-	13.1	75.5	6.1	7.0	
150 頭 未 満	31	22.6	-	16.1	16.1	9.7	12.9	9.7	-	-	-	-	-	12.9	64.5	6.2	8.4	
150 頭 以上	19	36.8	5.3	5.3	5.3	10.5	15.8	-	-	5.3	-	-	-	15.8	47.5	6.4	11.4	
無 回 答	9	22.2	33.3	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	33.3	44.4	1.6	2.4	
20年度調査 全体	2,443	25.1	12.6	18.7	11.4	12.6	8.6	3.8	1.3	0.7	0.3	0.2	0.2	4.6	70.4	5.1	6.9	

<参考> 経営耕地の借入地率

経営耕地の借入地率は、「経営耕地面積」と「借入経営耕地面積」の調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{経営耕地の借入地率} = \text{借入経営耕地面積} \div \text{経営耕地面積}$$

全体的にみると、『非借入（「0%」）』の経営耕地保有経営が22.4%、『借入地率50%未満（0を除く）』が36.4%、『借入地率50%以上』が30.9%となっており、平均借入地率（「0を含む」）は34.7%であった。

北海道・都府県別にみると、『借入地率50%以上』の割合が北海道（10.1%）に比べて都府県（39.4%）で高く、平均借入地率（「0を含む」）は都府県（40.5%）が北海道（21.4%）を2倍近く上回った。

また、平均借入地率（「0を含む」）でみると、都府県では中国（43.7%）、北陸（43.5%）、九州（43.4%）で高く、近畿（28.9%）、沖縄（29.6%）で低率であった。

経産牛飼養規模別にみると、都府県の平均借入地率（「0を含む」）は、規模の増大に伴い100頭規模まで上昇した後に低下に転ずるといった傾向を示した。

<加工値>問7 ①・問7（1）①付 経営耕地の借入地率<数値回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	有効回答平均 (0を含む)	平均 (0を除く)	
		0%	除5%未満 (ゼロを)	5%未満	10%未満	15%未満	20%未満	25%未満	30%未満	35%未満	40%未満	45%以上			無回答・非該当
全体	2,635	22.4	1.3	3.2	3.7	3.9	4.3	4.6	8.4	7.0	30.9	10.4	34.7	46.3	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	25.4	3.0	6.8	7.3	8.1	7.5	6.9	11.3	6.8	10.1	6.9	21.4	29.4
	(都府県計)	1,866	21.2	0.5	1.8	2.2	2.3	3.0	3.6	7.2	7.1	39.4	11.8	40.5	53.3
	東 北	422	16.4	0.9	2.6	3.1	0.9	3.3	4.5	7.3	6.9	40.0	14.0	42.0	51.9
	関 東	570	22.3	0.4	1.6	1.9	3.3	3.3	3.2	6.5	8.4	37.9	11.2	39.3	52.5
	北 陸	66	24.2	1.5	3.0	-	-	-	3.0	4.5	4.5	39.4	19.7	43.5	62.3
	東 海	151	29.1	-	0.7	1.3	2.6	3.3	2.0	4.6	4.0	43.7	8.6	40.7	59.8
	近 畿	108	32.4	-	-	5.6	2.8	1.9	1.9	7.4	5.6	24.1	18.5	28.9	48.0
	中 国	140	22.9	0.7	0.7	1.4	1.4	1.4	1.4	7.9	5.0	42.9	14.3	43.7	59.6
	四 国	83	30.1	-	-	2.4	1.2	1.2	1.2	6.0	7.2	42.2	8.4	37.5	55.8
	九 州	314	13.7	0.6	2.9	1.6	2.9	4.1	6.1	9.9	8.3	43.0	7.0	43.4	50.9
沖 縄	12	33.3	-	-	-	-	-	8.3	8.3	8.3	16.7	25.0	29.6	53.3	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	40.8	-	2.0	2.0	-	2.0	4.1	6.1	2.0	24.5	16.3	26.6	51.9
	10頭未満	185	35.1	0.5	2.2	1.6	3.2	1.6	3.8	5.4	5.9	21.6	18.9	26.5	46.7
	20頭未満	412	22.8	1.0	2.2	3.9	2.9	2.4	5.1	7.8	8.7	29.9	13.3	33.9	46.0
	30頭未満	464	19.6	1.1	2.2	3.0	2.6	2.8	5.4	8.6	6.5	39.7	8.6	40.0	51.0
	40頭未満	421	19.0	0.7	1.9	3.1	4.0	4.8	3.6	7.4	6.2	40.1	9.3	41.0	51.8
	50頭未満	336	19.9	2.1	3.9	2.7	4.8	5.4	3.0	9.5	7.4	35.1	6.3	37.0	47.0
	75頭未満	443	25.1	1.6	5.0	5.6	5.2	6.8	5.2	9.9	6.8	19.2	9.7	28.0	38.8
	100頭未満	160	20.0	1.9	5.0	4.4	5.6	5.0	6.3	5.6	6.9	28.1	11.3	32.6	42.1
	150頭未満	86	18.6	-	4.7	4.7	7.0	7.0	4.7	12.8	8.1	26.7	5.8	33.9	42.2
	150頭以上	67	16.4	4.5	9.0	7.5	4.5	4.5	4.5	11.9	10.4	17.9	9.0	28.1	34.3
無回答	12	25.0	-	-	-	-	16.7	-	8.3	-	-	33.3	26.5	42.4	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	62.5	62.5	
	10頭未満	5	40.0	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	31.9	63.8	
	20頭未満	21	33.3	-	-	9.5	19.0	-	4.8	9.5	-	9.5	14.3	17.2	28.2
	30頭未満	58	24.1	5.2	3.4	3.4	5.2	6.9	12.1	6.9	6.9	17.2	8.6	24.0	32.6
	40頭未満	96	27.1	2.1	6.3	8.3	10.4	9.4	3.1	13.5	8.3	5.2	6.3	19.0	26.7
	50頭未満	132	28.0	4.5	7.6	6.1	7.6	7.6	6.1	11.4	3.0	12.9	5.3	20.9	29.7
	75頭未満	250	27.2	2.4	7.2	8.4	6.8	8.4	7.6	11.6	6.8	6.8	6.8	19.8	28.0
	100頭未満	99	25.3	3.0	7.1	7.1	9.1	6.1	8.1	6.1	7.1	11.1	10.1	20.8	28.9
	150頭未満	55	18.2	-	5.5	7.3	10.9	7.3	5.5	20.0	10.9	14.5	-	28.3	34.5
	150頭以上	48	10.4	6.3	12.5	8.3	6.3	6.3	6.3	14.6	12.5	12.5	4.2	25.8	28.9
無回答	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	11.1	22.2	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	42.6	-	2.1	2.1	-	2.1	4.3	6.4	2.1	23.4	14.9	25.7	51.4
	10頭未満	180	35.0	0.6	2.2	1.7	3.3	1.7	3.3	5.6	6.1	21.7	18.9	26.3	46.3
	20頭未満	391	22.3	1.0	2.3	3.6	2.0	2.6	5.1	7.7	9.2	30.9	13.3	34.8	46.8
	30頭未満	406	19.0	0.5	2.0	3.0	2.2	2.2	4.4	8.9	6.4	42.9	8.6	42.3	53.4
	40頭未満	325	16.6	0.3	0.6	1.5	2.2	3.4	3.7	5.5	5.5	50.5	10.2	47.8	58.6
	50頭未満	204	14.7	0.5	1.5	0.5	2.9	3.9	1.0	8.3	10.3	49.5	6.9	47.6	56.6
	75頭未満	193	22.3	0.5	2.1	2.1	3.1	4.7	2.1	7.8	6.7	35.2	13.5	39.5	53.2
	100頭未満	61	11.5	-	1.6	-	-	3.3	3.3	4.9	6.6	55.7	13.1	52.6	60.6
	150頭未満	31	19.4	-	3.2	-	-	6.5	3.2	-	3.2	48.4	16.1	45.7	59.5
	150頭以上	19	31.6	-	-	5.3	-	-	-	5.3	5.3	31.6	21.1	35.1	58.5
無回答	9	22.2	-	-	-	-	11.1	-	11.1	-	22.2	33.3	31.7	47.5	
20年度調査全体	2,443	22.6	1.3	3.4	4.3	3.4	4.7	4.7	7.8	7.2	33.3	7.3	35.1	46.4	

## (2) 牧草・飼料作物年間延作付面積

全体としてみると、3ha未満の経営(33.6%)、3～20ha未満の経営(32.4%)、20ha以上の経営(31.0%)がそれぞれ3割強ずつという構成になっており、非作付経営を含む平均作付延面積(「0を含む」)は21.3haであった。

北海道・都府県別にみると、経営耕地面積と同様、北海道と都府県では20ha未満の割合(北海道10.8%、都府県88.8%)と20ha以上の割合(北海道86.5%、都府県8.1%)がほぼ逆転しており、平均作付延面積(「0を含む」)では北海道(56.8ha)は都府県(6.7ha)の約9倍であった。

また、都府県の地域別に平均作付延面積(「0を含む」)をみると、東北(11.1ha)、九州(9.4ha)の値が大きく、沖縄(1.9ha)、近畿(2.1ha)、四国(2.3ha)の値が小さかった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方について、飼養規模の増大に伴い平均作付延面積も増加するという傾向がおおむね認められた。

問7② 牧草・飼料作物年間延作付面積<数値回答>

[単位:戸、%、ha]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	答を 除く 合計	有効 回答 平均 (0 含む)	平 均 (0 除 く)	
		0 ヘクタール	1 ヘクタール (ゼロを除く)	1 未満 3 ヘクタール	3 未満 5 ヘクタール	5 未満 10 ヘクタール	10 未満 20 ヘクタール	20 未満 30 ヘクタール	30 未満 40 ヘクタール	40 未満 50 ヘクタール	50 未満 75 ヘクタール	75 未満 100 ヘクタール	100 以上	無 回答				
全 体	2,635	12.2	8.0	13.4	7.9	12.6	11.9	7.0	4.7	4.5	8.2	3.4	3.2	3.0	84.8	21.3	24.3	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	0.3	0.3	0.8	0.7	1.8	6.9	12.6	12.1	13.5	26.3	11.3	10.7	2.9	97.0	56.8	56.9
	(都府県計)	1,866	17.1	11.2	18.6	10.9	17.1	13.9	4.7	1.6	0.8	0.7	0.1	0.2	3.0	79.8	6.7	8.1
	東 北	422	6.2	9.5	14.0	11.4	17.5	19.0	9.7	4.0	1.4	1.7	-	0.7	5.0	88.9	11.1	11.9
	関 東	570	19.3	10.2	21.1	11.4	18.9	12.1	2.5	0.9	0.2	0.2	-	-	3.3	77.5	4.9	6.1
	北 陸	66	39.4	10.6	10.6	10.6	13.6	13.6	1.5	-	-	-	-	-	-	60.5	4.2	6.8
	東 海	151	25.2	11.3	25.2	12.6	12.6	7.3	4.0	-	-	-	-	-	2.0	73.0	3.8	5.1
	近 畿	108	38.0	28.7	18.5	4.6	5.6	-	1.9	0.9	0.9	-	-	-	0.9	61.1	2.1	3.5
	中 国	140	24.3	12.1	25.7	5.7	13.6	10.0	2.1	0.7	2.1	1.4	-	-	2.1	73.4	5.5	7.3
	四 国	83	21.7	24.1	25.3	12.0	8.4	6.0	-	-	-	-	-	-	2.4	75.8	2.3	3.0
	九 州	314	6.4	5.7	14.3	13.1	24.5	22.6	6.7	1.9	1.0	1.0	0.6	-	2.2	91.4	9.4	10.1
沖 縄	12	58.3	8.3	16.7	8.3	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	41.6	1.9	4.6	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	20.4	30.6	20.4	12.2	6.1	-	-	-	-	-	-	10.2	69.3	1.4	1.8	
	10 頭 未 満	185	17.3	21.6	31.9	9.2	10.8	1.6	-	0.5	-	-	-	7.0	75.6	2.2	2.7	
	20 頭 未 満	412	16.5	13.8	25.5	14.1	15.5	9.5	2.2	0.5	-	0.2	-	1.9	81.5	4.4	5.3	
	30 頭 未 満	464	14.9	9.7	15.5	11.9	17.7	14.7	7.5	4.3	0.9	0.2	0.2	2.6	82.6	8.0	9.5	
	40 頭 未 満	421	9.7	7.4	12.6	7.4	18.1	17.1	11.9	4.3	3.6	3.3	1.0	0.7	3.1	87.4	14.2	15.8
	50 頭 未 満	336	7.7	2.7	7.1	6.5	13.1	16.7	12.8	5.4	9.2	12.5	1.8	1.8	2.7	89.6	24.2	26.2
	75 頭 未 満	443	11.3	1.6	5.6	3.4	6.8	9.9	7.0	10.8	10.8	20.1	6.5	3.4	2.7	85.9	35.3	39.9
	100 頭 未 満	160	6.9	3.1	1.3	1.9	5.0	10.6	6.9	5.6	7.5	28.1	12.5	10.0	0.6	92.5	49.4	53.0
	150 頭 未 満	86	9.3	-	3.5	2.3	3.5	5.8	4.7	5.8	4.7	17.4	19.8	22.1	1.2	89.6	64.2	70.8
	150 頭 以上	67	9.0	3.0	-	-	3.0	9.0	3.0	3.0	3.0	11.9	17.9	37.3	-	91.1	92.9	102.1
無 回 答	12	8.3	-	8.3	-	8.3	25.0	-	-	16.7	-	-	-	33.3	58.3	16.9	19.4	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	5.9	5.9	
	10 頭 未 満	5	-	-	20.0	-	80.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	6.0	6.0	
	20 頭 未 満	21	4.8	4.8	14.3	9.5	9.5	42.9	9.5	-	-	-	-	4.8	90.5	10.7	11.2	
	30 頭 未 満	58	-	1.7	-	-	5.2	32.8	22.4	25.9	5.2	1.7	1.7	-	3.4	96.6	25.1	25.1
	40 頭 未 満	96	-	-	1.0	-	1.0	11.5	35.4	15.6	14.6	12.5	3.1	3.1	2.1	97.8	37.1	37.1
	50 頭 未 満	132	0.8	-	0.8	-	2.3	5.3	20.5	10.6	19.7	28.0	4.5	3.8	3.8	95.5	44.3	44.7
	75 頭 未 満	250	-	-	-	0.8	-	1.6	6.4	16.4	18.8	34.8	11.6	5.6	4.0	96.0	56.4	56.4
	100 頭 未 満	99	-	-	-	-	-	2.0	4.0	5.1	8.1	44.4	19.2	16.2	1.0	99.0	71.0	71.0
	150 頭 未 満	55	-	-	-	-	-	-	-	1.8	5.5	27.3	30.9	34.5	-	100.0	92.5	92.5
	150 頭 以上	48	-	-	-	-	-	2.1	2.1	4.2	2.1	12.5	25.0	52.1	-	100.1	123.9	123.9
無 回 答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3	66.7	44.4	44.4	
経産牛飼養頭数(都府県)	5 頭 未 満	47	21.3	31.9	21.3	10.6	4.3	-	-	-	-	-	-	10.6	68.1	1.2	1.6	
	10 頭 未 満	180	17.8	22.2	32.2	9.4	8.9	1.7	-	0.6	-	-	-	7.2	75.0	2.1	2.6	
	20 頭 未 満	391	17.1	14.3	26.1	14.3	15.9	7.7	1.8	0.5	-	0.3	-	0.3	81.2	4.1	5.0	
	30 頭 未 満	406	17.0	10.8	17.7	13.5	19.5	12.1	5.4	1.2	0.2	-	-	2.5	80.4	5.6	6.8	
	40 頭 未 満	325	12.6	9.5	16.0	9.5	23.1	18.8	4.9	0.9	0.3	0.6	0.3	-	83.9	7.3	8.4	
	50 頭 未 満	204	12.3	4.4	11.3	10.8	20.1	24.0	7.8	2.0	2.5	2.5	-	0.5	2.0	85.9	11.3	13.0
	75 頭 未 満	193	25.9	3.6	13.0	6.7	15.5	20.7	7.8	3.6	0.5	1.0	-	0.5	1.0	72.9	8.9	12.0
	100 頭 未 満	61	18.0	8.2	3.3	4.9	13.1	24.6	11.5	6.6	6.6	1.6	1.6	-	-	82.0	14.6	17.8
	150 頭 未 満	31	25.8	-	9.7	6.5	9.7	16.1	12.9	12.9	3.2	-	-	-	3.2	71.0	12.3	16.8
	150 頭 以上	19	31.6	10.5	-	-	10.5	26.3	5.3	-	5.3	10.5	-	-	-	68.4	14.7	21.6
無 回 答	9	11.1	-	11.1	-	11.1	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	55.5	7.8	9.4	

<参考1> 牧草・飼料作物年間延作付面積の対経営耕地面積比率

牧草・飼料作物年間延作付面積の対経営耕地面積比率は、「経営耕地面積」と「牧草・飼料作物年間延作付面積」の調査結果を用いて次式により推定した。

牧草・飼料作物年間延作付面積の対経営耕地面積比率

$$= \text{牧草・飼料作物年間延作付面積} \div \text{経営耕地面積}$$

全体的にみると、対経営耕地面積比率 50%未満の経営（15.6%）が2割弱、50～125%未満の経営（56.6%）が6割弱、125%以上の経営（19.8%）が約2割を占めており、平均対経営耕地面積比率（「0を含む」）は101.7%であった。

地域別にみると、平均対経営耕地面積比率（「0を含む」）は、九州（150.9%）、東北（106.3%）が高く、北陸（66.5%）、近畿（73.1%）で低率であった。

経産牛飼養規模別には、北海道、都府県の双方について、一部の例外的な規模層を除けば対経営耕地面積比率（「0を除く」）は飼養規模の増大に伴って上昇するが、その後低下に転ずるといった傾向を示した。

<加工値>問7①・問7② 牧草・飼料作物年間延作付面積の対経営耕地面積比率<数値回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	対経営耕地面積比率									有効回答平均 (0を含む)	平均 (0を除く)
		0 %	25 %未満 (ゼロを除く)	25 % ~ 50 %未満	50 % ~ 75 %未満	75 % ~ 100 %未満	100 % ~ 125 %未満	125 % ~ 150 %未満	150 % ~ 175 %未満	175 % ~ 200 %未満		
全 体	2,635	8.3	2.5	4.8	11.4	15.1	30.1	3.6	16.2	7.9	101.7	111.8
北海道	769	0.1	1.4	3.5	14.6	23.9	42.7	1.2	9.5	3.1	97.4	97.5
(都府県計)	1,866	11.7	2.9	5.4	10.1	11.5	24.9	4.6	19.0	9.9	103.6	119.0
東 北	422	5.2	2.1	5.9	12.6	18.2	29.4	1.2	13.7	11.6	106.3	113.0
関 東	570	12.1	2.6	5.1	11.4	11.2	23.9	6.8	16.8	10.0	95.1	109.8
北 陸	66	27.3	7.6	1.5	6.1	12.1	22.7	-	9.1	13.6	66.5	97.2
東 海	151	21.9	3.3	6.6	10.6	13.2	28.5	1.3	7.9	6.6	90.4	118.1
近 畿	108	22.2	7.4	13.9	9.3	5.6	11.1	1.9	12.0	16.7	73.1	99.7
中 国	140	15.0	2.9	7.9	9.3	6.4	30.7	4.3	11.4	12.1	84.4	101.8
四 国	83	15.7	3.6	3.6	12.0	16.9	25.3	3.6	10.8	8.4	81.7	98.5
九 州	314	4.5	1.9	1.9	5.4	5.1	22.0	8.9	45.9	4.5	150.9	158.3
沖 縄	12	33.3	-	-	8.3	8.3	16.7	-	8.3	25.0	94.6	170.3
経産牛飼養頭数(全国)												
5 頭 未 満	49	16.3	8.2	14.3	22.4	2.0	18.4	-	2.0	16.3	52.8	65.6
10 頭 未 満	185	11.9	5.4	12.4	17.3	11.4	19.5	1.1	7.0	14.1	75.4	87.5
20 頭 未 満	412	10.0	5.3	8.7	12.6	17.5	18.7	3.4	13.1	10.7	88.3	99.4
30 頭 未 満	464	11.4	3.0	6.0	10.6	12.3	28.4	5.4	15.9	6.9	98.5	112.2
40 頭 未 満	421	5.7	1.4	4.0	10.2	16.2	29.2	4.8	20.4	8.1	111.6	119.0
50 頭 未 満	336	5.7	1.2	1.8	10.7	16.4	35.1	3.3	20.2	5.7	111.4	118.5
75 頭 未 満	443	7.9	0.9	1.1	11.7	16.9	36.1	3.2	15.6	6.5	105.6	115.3
100 頭 未 満	160	4.4	1.3	0.6	10.0	13.8	40.6	2.5	23.8	3.1	121.2	126.9
150 頭 未 満	86	5.8	-	2.3	7.0	15.1	44.2	2.3	17.4	5.8	105.1	112.0
150 頭 以上	67	6.0	-	3.0	6.0	20.9	47.8	3.0	10.4	3.0	98.4	104.9
無 回 答	12	8.3	-	-	-	8.3	25.0	-	25.0	33.3	217.4	248.4
経産牛飼養頭数(北海道)												
5 頭 未 満	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	72.8	72.8
10 頭 未 満	5	-	-	-	-	60.0	40.0	-	-	-	92.3	92.3
20 頭 未 満	21	-	14.3	33.3	9.5	19.0	9.5	-	4.8	9.5	64.5	64.5
30 頭 未 満	58	-	1.7	12.1	25.9	17.2	34.5	-	5.2	3.4	84.7	84.7
40 頭 未 満	96	-	-	4.2	16.7	35.4	32.3	-	8.3	3.1	92.4	92.4
50 頭 未 満	132	0.8	2.3	2.3	15.9	27.3	39.4	-	8.3	3.8	95.3	96.1
75 頭 未 満	250	-	1.2	1.2	15.2	22.4	44.4	1.6	10.0	4.0	99.6	99.6
100 頭 未 満	99	-	1.0	-	14.1	20.2	49.5	2.0	12.1	1.0	103.3	103.3
150 頭 未 満	55	-	-	1.8	5.5	16.4	58.2	1.8	16.4	-	110.7	110.7
150 頭 以上	48	-	-	2.1	6.3	25.0	54.2	4.2	8.3	-	103.4	103.4
無 回 答	3	-	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3	100.0	100.0
経産牛飼養頭数(都府県)												
5 頭 未 満	47	17.0	8.5	12.8	23.4	2.1	17.0	-	2.1	17.0	51.8	65.1
10 頭 未 満	180	12.2	5.6	12.8	17.8	10.0	18.9	1.1	7.2	14.4	74.8	87.3
20 頭 未 満	391	10.5	4.9	7.4	12.8	17.4	19.2	3.6	13.6	10.7	89.6	101.5
30 頭 未 満	406	13.1	3.2	5.2	8.4	11.6	27.6	6.2	17.5	7.4	100.5	117.0
40 頭 未 満	325	7.4	1.8	4.0	8.3	10.5	28.3	6.2	24.0	9.5	117.7	128.1
50 頭 未 満	204	8.8	0.5	1.5	7.4	9.3	32.4	5.4	27.9	6.9	122.1	134.9
75 頭 未 満	193	18.1	0.5	1.0	7.3	9.8	25.4	5.2	22.8	9.8	113.9	142.6
100 頭 未 満	61	11.5	1.6	1.6	3.3	3.3	26.2	3.3	42.6	6.6	151.9	173.2
150 頭 未 満	31	16.1	-	3.2	9.7	12.9	19.4	3.2	19.4	16.1	93.4	115.6
150 頭 以上	19	21.1	-	5.3	5.3	10.5	31.6	-	15.8	10.5	84.3	110.2
無 回 答	9	11.1	-	-	-	11.1	11.1	-	33.3	33.3	256.5	307.8

<参考2> 経産牛1頭当たり牧草・飼料作物年間延作付面積

経産牛1頭当たり牧草・飼料作物年間延作付面積は、「経産牛飼養頭数」と「牧草・飼料作物年間延作付面積」の調査結果を用いて次式により推定した。

経産牛1頭当たり牧草・飼料作物年間延作付面積

$$= \text{牧草・飼料作物年間延作付面積} \div \text{経産牛飼養頭数}$$

全体的にみると、1頭当たり0.3ha未満の経営(51.4%)5割強、0.3ha以上の経営(45.4%)が5割弱となっており、平均1頭当たり牧草・飼料作物年間延作付面積(「0を含む」)は0.44haであった。

北海道・都府県別にみると、北海道では0.4ha以上の経営(88.6%)が約9割を占めるのに対して、都府県では0.4ha未満の経営(78.7%)が約8割を占めており、平均1頭当たり延作付面積(「0を含む」)では北海道(0.93ha)が都府県(0.24ha)を4倍近く上回った。

なお、都府県の地域別に平均1頭当たり延作付面積(「0を含む」)をみると、東北(0.49ha)で相対的に大きく、沖縄(0.03ha)、近畿(0.08ha)で相対的に小さい値を示した。

また、経産牛飼養規模別にみると、北海道では、「5頭未満」「5~10頭未満」の2層を除けば、平均1頭当たり面積(「0を含む」)は飼養規模の増大とともに40頭規模まで増加し、これを超えると低下に転ずるという傾向を示した。一方、都府県では、飼養規模の増大に伴い平均1頭当たり面積(「0を含む」)は一貫して低下するというこれとは異なった傾向がみられた。

<加工値>問4①・問7 ② 経産牛1頭当たり牧草・飼料作物年間延作付面積<数値回答>

[単位:戸、%、ha]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	0(ヘクタール)を除外した合計	有効回答平均(0を含む)	平均(0を除く)
		0(ヘクタール)	0.1(ヘクタール)未満	0.1~0.2(ヘクタール)未満	0.2~0.3(ヘクタール)未満	0.3~0.4(ヘクタール)未満	0.4~0.5(ヘクタール)未満	0.5~0.6(ヘクタール)未満	0.6~0.8(ヘクタール)未満	0.8~1.0(ヘクタール)未満	1.0~1.5(ヘクタール)未満	1.5~2.0(ヘクタール)未満	2.0(ヘクタール)以上	無回答・非該当			
全体	2,635	12.4	17.0	13.0	9.0	6.7	5.6	5.2	7.9	7.0	5.2	3.7	4.1	3.1	84.4	0.44	0.51
北海道(都府県計)	769	0.3	1.0	1.7	2.1	3.1	6.2	8.8	18.7	19.8	14.0	10.3	10.8	3.1	96.5	0.93	0.93
東北	1,866	17.4	23.6	17.6	11.9	8.2	5.3	3.8	3.5	1.8	1.6	1.0	1.3	3.2	79.6	0.24	0.30
関東	422	5.9	12.6	10.7	12.8	9.0	8.8	9.5	8.8	5.0	4.3	3.3	3.6	5.9	88.4	0.49	0.52
北陸	570	19.8	26.3	22.8	11.2	9.3	3.7	1.8	0.9	0.5	0.5	-	0.4	2.8	77.4	0.16	0.20
北海道	66	39.4	12.1	13.6	16.7	4.5	6.1	1.5	3.0	-	1.5	-	1.5	-	60.5	0.17	0.28
東海	151	25.2	29.1	21.2	7.9	4.0	4.0	2.6	2.0	-	2.0	-	-	2.0	72.8	0.14	0.19
近畿	108	39.8	42.6	9.3	2.8	0.9	-	-	-	0.9	1.9	0.9	-	0.9	59.3	0.08	0.14
中国	140	24.3	31.4	15.0	12.9	5.7	2.9	-	2.9	2.1	0.7	-	-	2.1	73.6	0.15	0.19
四国	83	21.7	47.0	16.9	4.8	1.2	1.2	1.2	1.2	-	-	1.2	1.2	2.4	75.9	0.12	0.15
九州	314	6.7	16.6	21.3	17.8	13.7	8.3	4.5	4.1	1.6	0.3	0.6	1.6	2.9	90.4	0.28	0.31
沖縄	12	58.3	33.3	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.6	0.03	0.07
経産牛飼養頭数(全国)																	
5頭未満	49	20.4	6.1	16.3	12.2	8.2	-	6.1	-	4.1	8.2	2.0	6.1	10.2	69.3	0.45	0.58
10頭未満	185	17.3	17.3	14.1	11.4	7.6	6.5	3.8	4.9	4.3	3.2	1.1	2.2	6.5	76.4	0.32	0.39
20頭未満	412	16.5	23.1	17.0	10.0	7.8	5.1	3.6	4.9	2.4	3.2	1.9	2.7	1.9	81.7	0.32	0.38
30頭未満	464	15.1	20.5	16.4	9.7	7.8	6.5	3.7	4.7	4.3	3.4	3.2	2.4	2.4	82.6	0.33	0.39
40頭未満	421	10.0	21.1	12.1	12.1	8.1	4.5	5.9	7.1	5.0	3.8	2.6	4.5	3.1	86.8	0.42	0.47
50頭未満	336	8.0	15.2	11.3	9.5	6.5	5.4	6.3	7.4	8.0	8.0	4.8	6.8	2.7	89.2	0.55	0.60
75頭未満	443	11.5	12.0	8.8	5.0	3.8	5.6	5.0	12.0	12.4	8.8	6.8	5.9	2.5	86.1	0.60	0.68
100頭未満	160	7.5	8.1	11.9	6.3	5.0	4.4	7.5	17.5	16.3	6.9	4.4	3.8	0.6	92.1	0.59	0.63
150頭未満	86	9.3	10.5	8.1	5.8	2.3	5.8	9.3	18.6	16.3	3.5	8.1	1.2	1.2	89.5	0.55	0.61
150頭以上	67	10.4	11.9	11.9	7.5	11.9	14.9	11.9	9.0	3.0	3.0	-	4.5	-	89.5	0.40	0.45
無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
経産牛飼養頭数(北海道)																	
5頭未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	2.29	2.29
10頭未満	5	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	60.0	-	-	-	100.0	0.83	0.83
20頭未満	21	4.8	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	14.3	23.8	4.8	4.8	4.8	90.7	0.71	0.75
30頭未満	58	-	1.7	-	5.2	-	1.7	6.9	13.8	20.7	15.5	17.2	13.8	3.4	96.5	1.01	1.01
40頭未満	96	-	1.0	1.0	-	3.1	5.2	6.3	19.8	19.8	13.5	11.5	16.7	2.1	97.9	1.07	1.07
50頭未満	132	0.8	0.8	2.3	1.5	3.0	3.0	10.6	12.9	17.4	17.4	10.6	15.9	3.8	95.4	1.00	1.01
75頭未満	250	-	0.8	0.4	0.8	1.6	6.8	6.8	20.0	21.6	15.6	11.6	10.0	4.0	96.0	0.95	0.95
100頭未満	99	-	-	1.0	3.0	4.0	5.1	10.1	26.3	25.3	11.1	7.1	6.1	1.0	99.1	0.85	0.85
150頭未満	55	-	-	-	1.8	-	9.1	14.5	29.1	25.5	5.5	12.7	1.8	-	100.0	0.80	0.80
150頭以上	48	-	2.1	10.4	6.3	16.7	20.8	16.7	12.5	4.2	4.2	-	6.3	-	100.2	0.54	0.54
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
経産牛飼養頭数(都府県)																	
5頭未満	47	21.3	6.4	17.0	12.8	8.5	-	6.4	-	4.3	8.5	2.1	2.1	10.6	68.1	0.36	0.48
10頭未満	180	17.8	17.8	14.4	11.1	7.8	6.7	3.9	4.4	4.4	1.7	1.1	2.2	6.7	75.5	0.30	0.37
20頭未満	391	17.1	23.8	17.4	10.2	7.9	5.1	3.6	4.9	1.8	2.0	1.8	2.6	1.8	81.1	0.29	0.36
30頭未満	406	17.2	23.2	18.7	10.3	8.9	7.1	3.2	3.4	2.0	1.7	1.2	0.7	2.2	80.4	0.24	0.29
40頭未満	325	12.9	27.1	15.4	15.7	9.5	4.3	5.8	3.4	0.6	0.9	-	0.9	3.4	83.6	0.22	0.26
50頭未満	204	12.7	24.5	17.2	14.7	8.8	6.9	3.4	3.9	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	85.4	0.26	0.30
75頭未満	193	26.4	26.4	19.7	10.4	6.7	4.1	2.6	1.6	0.5	-	0.5	0.5	0.5	73.0	0.16	0.21
100頭未満	61	19.7	21.3	29.5	11.5	6.6	3.3	3.3	3.3	1.6	-	-	-	-	80.4	0.17	0.21
150頭未満	31	25.8	29.0	22.6	12.9	6.5	-	-	-	-	-	-	-	3.2	71.0	0.10	0.14
150頭以上	19	36.8	36.8	15.8	10.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63.1	0.05	0.08
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

### (3) 放牧利用面積

全体としてみると、放牧を実施する経営（「0ha・無回答を除く合計」）は22.0%、放牧実施経営の平均放牧利用面積（「0を除く」）は10.7haであった。また、非放牧実施経営も含めた平均放牧利用面積（「0を含む」）は2.4haであった。

地域別には、放牧実施経営の割合、実施経営の平均利用面積（「0を除く」）ともに、北海道が都府県を大きく上回っており、北海道では放牧実施経営の割合が53.3%、平均利用面積（「0を除く」）が14.4haであったのに対し、都府県では放牧実施経営の割合が9.3%、平均利用面積（「0を除く」）が1.9haであった。

経産牛飼養規模別にみると、北海道では、一部の例外的な規模層を除けば、放牧実施経営の割合は75頭未満の層が高く、平均放牧利用面積は規模の増大に伴い増加するという傾向がみられた。

問7 ③ 放牧利用地面積<数値回答>

[単位：戸、%、ha]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	0 ヘクタール・無 回答を除く 合計	有 効 回 答 平 均 ( 0 含 む)	平 均 ( 0 除 く)	
		0 ヘクタール	1 ヘクタール (ゼロを除く)	1 ヘクタール 未満	2 ヘクタール 未満	3 ヘクタール 未満	4 ヘクタール 未満	5 ヘクタール 未満	6 ヘクタール 未満	7 ヘクタール 未満	8 ヘクタール 未満	9 ヘクタール 未満	10 ヘクタール 未満	11 ヘクタール 未満				12 ヘクタール 未満
全 体	2,635	74.8	4.6	3.6	1.4	3.6	3.8	3.0	1.2	0.4	0.4	-	0.0	3.1	22.0	2.4	10.7	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	46.4	1.8	6.8	3.9	11.7	12.4	10.1	3.8	1.3	1.4	-	0.1	0.3	53.3	7.7	14.4
	(都府県計)	1,866	86.4	5.7	2.4	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	-	-	-	-	4.3	9.3	0.2	1.9
	東 北	422	81.8	5.0	2.6	0.7	0.2	0.7	0.2	0.2	-	-	-	-	8.5	9.6	0.3	3.2
	関 東	570	83.0	8.9	2.1	0.7	0.4	0.2	-	-	-	-	-	-	4.7	12.3	0.1	1.0
	北 陸	66	93.9	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	4.5	0.0	0.8
	東 海	151	90.1	4.6	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	7.9	0.1	0.8
	近 畿	108	94.4	0.9	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	2.8	0.0	0.9
	中 国	140	87.9	4.3	2.1	-	-	0.7	0.7	-	-	-	-	-	4.3	7.8	0.3	3.4
	四 国	83	89.2	4.8	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.8	0.1	1.0
	九 州	314	91.1	4.1	1.9	-	1.0	-	-	0.3	-	-	-	-	1.6	7.3	0.2	2.6
沖 縄	12	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	83.7	8.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.2	8.2	0.0	0.1
	10 頭 未 満	185	81.1	7.0	2.7	1.1	-	-	-	0.5	-	-	-	-	7.6	11.3	0.3	2.3
	20 頭 未 満	412	85.2	4.6	2.4	-	1.5	0.7	0.2	-	-	-	-	-	5.3	9.4	0.3	3.2
	30 頭 未 満	464	83.2	5.0	3.4	0.9	2.4	1.3	1.1	0.2	-	-	-	-	2.6	14.3	0.8	5.2
	40 頭 未 満	421	75.8	5.9	4.5	1.4	3.6	4.0	2.4	0.5	-	-	-	-	1.9	22.3	1.6	7.0
	50 頭 未 満	336	69.9	4.5	6.0	0.9	5.7	4.2	4.5	1.5	-	0.6	-	-	2.4	27.9	2.8	10.0
	75 頭 未 満	443	61.4	2.5	3.6	3.8	5.9	9.5	7.4	3.2	1.1	0.7	-	-	0.9	37.7	5.3	14.0
	100 頭 未 満	160	67.5	2.5	3.1	1.3	6.9	6.3	5.0	1.3	1.9	1.9	-	-	2.5	30.2	4.9	16.1
	150 頭 未 満	86	68.6	3.5	4.7	-	2.3	5.8	4.7	3.5	1.2	2.3	-	-	3.5	28.0	5.2	18.0
	150 頭 以 上	67	64.2	3.0	1.5	4.5	6.0	4.5	6.0	4.5	1.5	1.5	-	1.5	1.5	34.5	8.4	24.1
無 回 答	12	50.0	8.3	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	1.5	4.5	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	0.1	0.1
	10 頭 未 満	5	40.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	1.3	2.2
	20 頭 未 満	21	42.9	4.8	14.3	-	19.0	14.3	4.8	-	-	-	-	-	-	57.2	4.7	8.1
	30 頭 未 満	58	58.6	1.7	6.9	5.2	13.8	6.9	6.9	-	-	-	-	-	-	41.4	3.8	9.1
	40 頭 未 満	96	37.5	3.1	12.5	4.2	15.6	15.6	9.4	2.1	-	-	-	-	-	62.5	6.1	9.8
	50 頭 未 満	132	46.2	2.3	9.1	1.5	14.4	9.8	11.4	3.8	-	1.5	-	-	-	53.8	6.9	12.7
	75 頭 未 満	250	38.8	0.8	5.2	6.4	10.0	16.8	13.2	5.6	2.0	1.2	-	-	-	61.2	9.3	15.2
	100 頭 未 満	99	55.6	1.0	3.0	2.0	11.1	10.1	8.1	2.0	3.0	3.0	-	-	1.0	43.3	7.8	17.8
	150 頭 未 満	55	65.5	1.8	1.8	-	3.6	9.1	7.3	5.5	1.8	3.6	-	-	-	34.5	7.8	22.5
	150 頭 以 上	48	54.2	2.1	2.1	6.3	8.3	6.3	8.3	6.3	2.1	2.1	-	2.1	-	46.0	11.5	25.2
無 回 答	3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	6.5	6.5	
経産牛飼養頭数(都府県)	5 頭 未 満	47	85.1	6.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	6.4	0.0	0.1
	10 頭 未 満	180	82.2	7.2	1.1	1.1	-	-	-	0.6	-	-	-	-	7.8	10.0	0.3	2.4
	20 頭 未 満	391	87.5	4.6	1.8	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	5.6	6.9	0.1	1.0
	30 頭 未 満	406	86.7	5.4	3.0	0.2	0.7	0.5	0.2	0.2	-	-	-	-	3.0	10.2	0.3	2.9
	40 頭 未 満	325	87.1	6.8	2.2	0.6	-	0.6	0.3	-	-	-	-	-	2.5	10.5	0.2	2.1
	50 頭 未 満	204	85.3	5.9	3.9	0.5	-	0.5	-	-	-	-	-	-	3.9	10.8	0.1	1.3
	75 頭 未 満	193	90.7	4.7	1.6	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	2.1	7.3	0.1	1.2
	100 頭 未 満	61	86.9	4.9	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	8.2	0.1	0.9
	150 頭 未 満	31	74.2	6.5	9.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.7	16.2	0.2	1.1
	150 頭 以 上	19	89.5	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	5.3	0.0	0.8
無 回 答	9	66.7	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	11.1	0.1	0.5	
20年度調査 全体	2,443	75.0	4.9	3.2	1.7	3.2	4.6	2.9	0.6	0.3	0.4	0.0	0.1	3.2	21.9	2.3	10.2	

<参考> 経産牛1頭当たり放牧利用面積

経産牛1頭当たり放牧利用面積は、「経産牛飼養頭数」と「放牧利用面積」の調査結果を用いて次式により推定した。

$$\text{経産牛1頭当たり放牧利用面積} = \text{放牧利用面積} \div \text{経産牛飼養頭数}$$

全体的にみると、放牧実施経営の経産牛1頭当たり平均放牧利用面積（「0を除く」）は0.23ha、非放牧実施経営も含めた1頭当たり平均放牧利用面積（「0を含む」）は0.05haであった。

また、地域別にみると、放牧実施経営の平均放牧利用面積（「0を除く」）は、北海道では0.27ha、都府県では0.11haとなっており、北海道は都府県の2.5倍の広さであった。

<加工値>問4①・問7 ③ 経産牛1頭当たり放牧利用地面積<数値回答>

[単位：戸、%、ha]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	0ヘクタール・無回答を除く合計	有効回答平均 (0含む)	平均 (0除く)	
		0ヘクタール	0ヘクタール未満 (ゼロを除外)	0.1ヘクタール未満	0.1ヘクタール以上0.2ヘクタール未満	0.2ヘクタール以上0.3ヘクタール未満	0.3ヘクタール以上0.4ヘクタール未満	0.4ヘクタール以上0.5ヘクタール未満	0.5ヘクタール以上0.6ヘクタール未満	0.6ヘクタール以上0.8ヘクタール未満	0.8ヘクタール以上1.0ヘクタール未満	1.0ヘクタール以上1.2ヘクタール未満	1.2ヘクタール以上1.5ヘクタール未満	1.5ヘクタール以上				無回答・非該当
全体	2,635	75.4	9.0	3.7	2.6	1.7	1.2	1.1	1.2	0.3	0.2	0.0	0.1	3.5	21.1	0.05	0.23	
ブロンク	北海道 (都府県計)	769 1,866	46.8 87.2	14.8 6.6	11.1 0.6	8.3 0.2	5.5 0.1	3.9 0.1	3.4 0.2	3.9 0.1	0.8 0.1	0.8 -	0.3 0.1	0.5 4.7	52.8 8.2	0.14	0.27	
	東北	422	81.8	5.5	1.4	0.2	-	-	0.7	0.5	0.2	-	-	0.2	9.5	8.7	0.02	0.25
	関東	570	84.9	9.1	0.7	-	0.4	0.2	-	-	-	-	-	-	4.7	10.4	0.01	0.05
	北陸	66	93.9	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	4.5	0.00	0.01
	東海	151	91.4	6.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	6.6	0.00	0.02
	近畿	108	94.4	1.9	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	2.8	0.00	0.06
	中国	140	88.6	5.7	-	0.7	-	-	-	-	0.7	-	-	-	4.3	7.1	0.01	0.14
	四国	83	89.2	9.6	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.8	0.01	0.06
	九州	314	91.4	5.4	-	0.6	-	-	-	-	-	-	0.3	-	2.2	6.3	0.01	0.12
	沖縄	12	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	83.7	8.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.2	8.2	0.00	0.04
	10頭未満	185	81.1	5.9	2.2	1.1	0.5	-	0.5	0.5	-	-	0.5	7.6	11.2	0.04	0.32	
	20頭未満	412	85.2	5.8	1.2	0.2	0.2	-	0.7	0.5	-	0.5	0.2	5.3	9.3	0.02	0.23	
	30頭未満	464	84.3	7.1	1.3	1.1	1.1	0.6	0.4	0.6	0.9	-	0.2	2.4	13.3	0.03	0.23	
	40頭未満	421	77.0	9.3	3.6	1.7	2.1	1.4	1.4	1.0	0.5	0.2	-	1.9	21.2	0.05	0.21	
	50頭未満	336	71.4	9.8	5.4	3.3	0.9	1.2	2.7	2.4	-	0.3	-	0.3	26.3	0.07	0.25	
	75頭未満	443	62.3	11.1	6.8	7.2	4.1	3.2	1.8	2.0	0.2	0.5	-	-	36.9	0.09	0.25	
	100頭未満	160	68.8	11.3	6.9	4.4	1.9	1.9	-	1.9	0.6	-	-	-	28.9	0.06	0.20	
	150頭未満	86	70.9	11.6	5.8	2.3	3.5	1.2	-	1.2	-	-	-	-	35.5	25.6	0.05	0.18
	150頭以上 無回答	67 12	65.7 100.0	23.9 -	4.5 -	1.5 -	1.5 -	-	-	1.5 -	-	-	-	-	1.5 100.0	32.9 -	0.04 -	0.11 -
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	0.03	0.05	
	10頭未満	5	40.0	-	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	60.0	0.17	0.29	
	20頭未満	21	42.9	9.5	9.5	-	4.8	-	14.3	4.8	-	9.5	-	4.8	57.2	0.32	0.57	
	30頭未満	58	58.6	8.6	5.2	6.9	6.9	3.4	-	5.2	5.2	-	-	-	41.4	0.15	0.37	
	40頭未満	96	37.5	15.6	13.5	6.3	8.3	6.3	6.3	4.2	1.0	1.0	-	-	62.5	0.18	0.28	
	50頭未満	132	46.2	12.9	13.6	7.6	2.3	3.0	6.8	6.1	-	0.8	-	0.8	53.9	0.16	0.29	
	75頭未満	250	39.2	15.2	12.0	12.8	7.2	5.6	3.2	3.6	0.4	0.8	-	-	60.8	0.16	0.26	
	100頭未満	99	55.6	15.2	11.1	7.1	3.0	3.0	-	3.0	1.0	-	-	-	43.4	0.09	0.21	
	150頭未満	55	67.3	10.9	9.1	3.6	5.5	1.8	-	1.8	-	-	-	-	32.7	0.07	0.22	
	150頭以上 無回答	48 3	56.3 -	31.3 -	6.3 -	2.1 -	2.1 -	-	-	2.1 -	-	-	-	-	43.9 100.0	0.05 -	0.11 -	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	85.1	6.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	6.4	0.00	0.03
	10頭未満	180	82.2	6.1	2.2	-	-	-	0.6	0.6	-	-	0.6	7.8	10.1	0.04	0.33	
	20頭未満	391	87.5	5.6	0.8	0.3	-	-	-	0.3	-	-	-	5.6	7.0	0.01	0.08	
	30頭未満	406	87.9	6.9	0.7	0.2	0.2	0.2	0.5	-	0.2	-	0.2	2.7	9.1	0.01	0.15	
	40頭未満	325	88.6	7.4	0.6	0.3	0.3	-	-	-	0.3	-	-	2.5	8.9	0.01	0.07	
	50頭未満	204	87.7	7.8	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	0.00	0.04	
	75頭未満	193	92.2	5.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	5.7	0.00	0.02
	100頭未満	61	90.2	4.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	4.9	0.00	0.02
	150頭未満	31	77.4	12.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.7	12.9	0.00	0.01
	150頭以上 無回答	19 9	89.5 -	5.3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3 100.0	5.3 -	0.00 -	0.01 -
20年度調査 全体	2,443	75.8	8.9	3.5	3.7	2.0	1.0	0.7	0.5	0.5	0.0	0.1	-	3.3	20.9	0.04	0.20	

## 9 粗飼料の調達状況等

### (1) 粗飼料自給割合（平成20年度）

全体としてみると、『全量購入（「なし」）』の経営（13.2%）が約1割を占め、自給割合『1～4割』の経営（28.6%）、『5～9割』の経営（29.4%）、『全量自給（「全量」）』の経営（27.9%）がそれぞれ約3割ずつという状況であった。

地域別には、北海道・都府県間の差異が大きく、北海道では『全量自給（「全量」）』が69.6%を占めたのに対して、都府県では自給割合『5割以下』が65.1%を占めた。また、都府県では、東北で自給割合『8割以上』（44.5%）、沖縄と近畿で自給割合『4割以下』（沖縄100.0%、近畿84.2%）が特に高率であった。

経産牛飼養規模別には、北海道では、150頭未満の全ての規模層で、飼養規模にかかわらず自給割合『8割以上』の経営が80%以上を占めた（但し、「150頭以上」層ではその割合は66.7%に止まった）。一方、都府県では、『全量購入（「なし」）』の経営が占める割合は150頭以上層で特に高く、自給割合『1～4割』の経営が占める割合は飼養規模増大に伴い増加、自給割合『8～9割』及び『全量自給（「全量」）』の経営が占める割合は飼養規模増大とともに減少するという傾向を示した。

問8 (1) ① 平成20年度粗飼料自給割合<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	合計・無回答を除く		
		なし	1割以下	3割以下	5割	6割以下	8割以下	全量	無回答			
全体	2,635	13.2	15.5	13.1	6.9	9.4	13.1	27.9	0.9	85.9		
北海道 (都府県計)	北海道	769	2.5	1.8	3.1	1.6	5.5	15.2	69.6	0.8	96.8	
	(都府県計)	1,866	17.6	21.1	17.2	9.2	11.1	12.2	10.7	1.0	81.5	
	プロンク	東北	422	7.6	10.4	14.7	8.3	13.7	19.4	25.1	0.7	91.6
		関東	570	19.6	24.2	19.3	9.8	10.9	8.4	6.7	1.1	79.3
		北陸	66	36.4	15.2	22.7	9.1	6.1	1.5	7.6	1.5	62.2
		東海	151	26.5	27.2	17.9	6.0	4.6	11.9	5.3	0.7	72.9
		近畿	108	39.8	33.3	11.1	6.5	1.9	3.7	2.8	0.9	59.2
		中国	140	27.9	27.9	18.6	8.6	6.4	5.0	4.3	1.4	70.8
		四国	83	16.9	36.1	16.9	3.6	15.7	7.2	1.2	2.4	80.7
九州		314	5.4	17.2	16.6	13.7	16.6	19.7	10.2	0.6	94.0	
沖縄	12	58.3	16.7	25.0	-	-	-	-	-	41.7		
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	16.3	14.3	10.2	10.2	8.2	18.4	22.4	-	83.7	
	10頭未満	185	16.8	12.4	10.8	11.9	13.5	11.4	22.7	0.5	82.7	
	20頭未満	412	16.0	20.4	12.4	7.0	10.9	14.6	17.2	1.5	82.5	
	30頭未満	464	16.4	18.5	17.2	8.2	9.5	13.4	16.6	0.2	83.4	
	40頭未満	421	11.9	16.2	17.8	8.1	10.7	10.9	23.3	1.2	87.0	
	50頭未満	336	11.0	12.8	13.4	4.8	8.6	16.1	32.4	0.9	88.1	
	75頭未満	443	11.3	13.3	7.4	5.0	6.8	10.4	44.9	0.9	87.8	
	100頭未満	160	8.1	11.3	11.9	5.6	6.9	12.5	43.1	0.6	91.3	
	150頭未満	86	8.1	14.0	10.5	3.5	7.0	7.0	48.8	1.2	90.8	
	150頭以上	67	13.4	11.9	7.5	6.0	13.4	28.4	19.4	-	86.6	
	無回答	12	-	-	25.0	8.3	8.3	16.7	25.0	16.7	83.3	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	100.0	
	10頭未満	5	20.0	-	-	-	-	-	80.0	-	80.0	
	20頭未満	21	4.8	4.8	-	-	9.5	4.8	76.2	-	95.3	
	30頭未満	58	3.4	1.7	5.2	-	6.9	10.3	72.4	-	96.5	
	40頭未満	96	-	1.0	7.3	2.1	4.2	12.5	72.9	-	100.0	
	50頭未満	132	7.6	1.5	1.5	0.8	4.5	15.2	68.2	0.8	91.7	
	75頭未満	250	1.6	2.0	2.0	1.2	3.6	13.6	74.8	1.2	97.2	
	100頭未満	99	1.0	1.0	4.0	2.0	4.0	18.2	68.7	1.0	97.9	
	150頭未満	55	-	1.8	1.8	-	7.3	10.9	76.4	1.8	98.2	
	150頭以上	48	-	4.2	4.2	8.3	16.7	39.6	27.1	-	100.1	
無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-	100.0		
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	17.0	14.9	10.6	10.6	8.5	17.0	21.3	-	82.9	
	10頭未満	180	16.7	12.8	11.1	12.2	13.9	11.7	21.1	0.6	82.8	
	20頭未満	391	16.6	21.2	13.0	7.4	11.0	15.1	14.1	1.5	81.8	
	30頭未満	406	18.2	20.9	19.0	9.4	9.9	13.8	8.6	0.2	81.6	
	40頭未満	325	15.4	20.6	20.9	9.8	12.6	10.5	8.6	1.5	83.0	
	50頭未満	204	13.2	20.1	21.1	7.4	11.3	16.7	9.3	1.0	85.9	
	75頭未満	193	23.8	28.0	14.5	9.8	10.9	6.2	6.2	0.5	75.6	
	100頭未満	61	19.7	27.9	24.6	11.5	11.5	3.3	1.6	-	80.4	
	150頭未満	31	22.6	35.5	25.8	9.7	6.5	-	-	-	77.5	
	150頭以上	19	47.4	31.6	15.8	-	5.3	-	-	-	52.7	
無回答	9	-	-	33.3	11.1	-	22.2	11.1	22.2	77.7		
20年度調査全体	2,443	12.1	17.4	14.1	6.6	10.8	13.9	24.1	1.1	86.9		

## (2) 今後の粗飼料自給意向

全体としてみると、拡大意向率（『増やしたい』）が 24.9%、現状維持意向率（『現状程度を維持する』）が 68.8%、縮小意向率（『減らしたい』）が 4.9%で、拡大意向率が縮小意向率を 20.0 ポイント上回った。

地域別には、拡大意向率は、北海道（33.3%）、九州（30.6%）で高く、沖縄（8.3%）、近畿（11.1%）、四国（13.3%）で低率であった。

経産牛飼養規模別にみると、北海道、都府県の双方において、拡大意向率は飼養規模増大とともに上昇し、現状維持意向率は飼養規模増大とともに低下するという傾向をおおむね示した。また、都府県では飼養規模増大に伴い縮小意向率が低下するという傾向がみられたが、北海道では縮小意向率は飼養規模にかかわらず低率であった。

問 8 (2) 今後の粗飼料自給意向<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	「増やしたい」 「減らしたい」	
		増やしたい	現状程度を維持する	減らしたい	無回答		
全 体	2,635	24.9	68.8	4.9	1.3	20.0	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	33.3	63.7	2.2	0.8	31.1
	(都府県計)	1,866	21.5	71.0	6.1	1.5	15.4
	東 北	422	25.6	70.4	3.3	0.7	22.3
	関 東	570	18.6	71.4	8.8	1.2	9.8
	北 陸	66	21.2	72.7	4.5	1.5	16.7
	東 海	151	17.9	70.2	8.6	3.3	9.3
	近 畿	108	11.1	75.9	8.3	4.6	2.8
	中 国	140	18.6	75.0	3.6	2.9	15.0
	四 国	83	13.3	77.1	8.4	1.2	4.9
九 州	314	30.6	65.0	3.8	0.6	26.8	
沖 縄	12	8.3	91.7	-	-	8.3	
経産牛飼養頭数(全国)	5 頭 未 満	49	10.2	75.5	12.2	2.0	▲2.0
	10 頭 未 満	185	7.0	83.2	7.6	2.2	▲0.6
	20 頭 未 満	412	11.7	77.2	9.0	2.2	2.7
	30 頭 未 満	464	18.1	75.2	5.4	1.3	12.7
	40 頭 未 満	421	26.6	69.4	3.8	0.2	22.8
	50 頭 未 満	336	27.4	67.3	4.2	1.2	23.2
	75 頭 未 満	443	32.1	63.4	3.2	1.4	28.9
	100 頭 未 満	160	46.3	51.9	1.3	0.6	45.0
	150 頭 未 満	86	51.2	46.5	1.2	1.2	50.0
	150 頭 以上	67	59.7	40.3	-	-	59.7
無 回 答	12	25.0	58.3	8.3	8.3	16.7	
経産牛飼養頭数(北海道)	5 頭 未 満	2	-	100.0	-	-	-
	10 頭 未 満	5	-	100.0	-	-	-
	20 頭 未 満	21	14.3	81.0	4.8	-	9.5
	30 頭 未 満	58	13.8	79.3	3.4	3.4	10.4
	40 頭 未 満	96	22.9	74.0	2.1	1.0	20.8
	50 頭 未 満	132	23.5	70.5	6.1	-	17.4
	75 頭 未 満	250	32.8	64.8	1.6	0.8	31.2
	100 頭 未 満	99	44.4	54.5	-	1.0	44.4
	150 頭 未 満	55	60.0	40.0	-	-	60.0
	150 頭 以上	48	66.7	33.3	-	-	66.7
無 回 答	3	33.3	66.7	-	-	33.3	
経産牛飼養頭数(都府県)	5 頭 未 満	47	10.6	74.5	12.8	2.1	▲2.2
	10 頭 未 満	180	7.2	82.8	7.8	2.2	▲0.6
	20 頭 未 満	391	11.5	77.0	9.2	2.3	2.3
	30 頭 未 満	406	18.7	74.6	5.7	1.0	13.0
	40 頭 未 満	325	27.7	68.0	4.3	-	23.4
	50 頭 未 満	204	29.9	65.2	2.9	2.0	27.0
	75 頭 未 満	193	31.1	61.7	5.2	2.1	25.9
	100 頭 未 満	61	49.2	47.5	3.3	-	45.9
	150 頭 未 満	31	35.5	58.1	3.2	3.2	32.3
	150 頭 以上	19	42.1	57.9	-	-	42.1
無 回 答	9	22.2	55.6	11.1	11.1	11.1	
20年度調査 全体	2,443	30.0	63.4	3.4	3.2	26.6	

### (3) 粗飼料生産向上のための取組

粗飼料生産に関して拡大意向を示した経営を対象として、そのための対応策を調べると以下のような結果が得られた。

全体的にみると、「耕地を借入」(60.4%)が最も多く、以下「草地更新」(46.4%)、「土壌改良」(34.7%)、「耕地を購入」(23.9%)、「粗飼料作付割合の増加」(21.6%)という順であった。

地域別には、関東、九州、北陸で「耕地を借入」(関東 80.2%、九州 78.1%、北陸 71.4%)、北海道、東北で「草地更新」(北海道 73.8%、東北 60.2%)、近畿で「粗飼料作付割合の増加」(75.0%)が特に多くあげられた。また、北海道では「土壌改良」(47.3%)、「耕地を購入」(42.6%)、中国では「草種変更」(42.3%)をあげる割合が、他地域に比べて著しく多いという特徴もみられた。

経産牛飼養規模別には、北海道では「草地更新」が全ての規模層、「耕地を購入」が50頭以上層で高く、「耕地を借入」は規模増大とともに増加するという傾向がみられた。一方、都府県では「耕地を借入」が20頭以上層、「草地更新」が30~50頭未満層、「粗飼料作付割合の増加」が10頭未満層で高く、「耕地を購入」は規模増大とともに増加するという傾向がみられた。

問8(3) 粗飼料生産向上のための取組<複数回答：粗飼料生産増加意向農家限定>

		[単位：戸、%]									
		酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			粗飼料作付面積の増加	耕地を借入を拡大	耕地作付面積を借入を拡大	草地更新・単収を増加	土壌改良・単収を増加	施肥量を増加	草種変更・単収を増加	その他	無回答
全	体	657	21.6	23.9	60.4	46.4	34.7	12.9	16.6	5.3	0.3
ブ ロ ッ ク	北 海 道	256	17.6	42.6	44.5	73.8	47.3	15.6	13.3	3.5	0.4
	(都府県計)	401	24.2	12.0	70.6	28.9	26.7	11.2	18.7	6.5	0.2
	北 海 道	108	21.3	15.7	61.1	60.2	36.1	19.4	14.8	4.6	-
	東 北 道	106	24.5	11.3	80.2	11.3	19.8	4.7	18.9	6.6	-
	北 陸 道	14	7.1	7.1	71.4	35.7	7.1	14.3	7.1	7.1	-
	東 海 道	27	18.5	-	59.3	33.3	29.6	18.5	22.2	11.1	3.7
	近 畿 道	12	75.0	-	50.0	8.3	16.7	-	25.0	-	-
	中 国 道	26	19.2	-	65.4	30.8	42.3	7.7	42.3	19.2	-
	四 国 道	11	27.3	18.2	63.6	-	18.2	9.1	18.2	36.4	-
	九 州 道	96	26.0	16.7	78.1	16.7	24.0	9.4	16.7	1.0	-
沖 縄 県	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
経 産 牛 飼 養 頭 数 (全 国)	5 頭 未 満	5	40.0	-	-	40.0	20.0	-	-	20.0	-
	10 頭 未 満	13	46.2	15.4	38.5	46.2	15.4	38.5	23.1	-	-
	20 頭 未 満	48	29.2	6.3	56.3	35.4	29.2	20.8	18.8	6.3	-
	30 頭 未 満	84	21.4	9.5	73.8	39.3	20.2	14.3	22.6	8.3	-
	40 頭 未 満	112	27.7	10.7	63.4	40.2	34.8	10.7	14.3	6.3	0.9
	50 頭 未 満	92	15.2	15.2	62.0	51.1	46.7	12.0	14.1	1.1	1.1
	75 頭 未 満	142	19.7	30.3	54.9	45.8	32.4	10.6	12.7	4.9	-
	100 頭 未 満	74	18.9	37.8	59.5	51.4	31.1	9.5	20.3	8.1	-
	150 頭 未 満	44	18.2	40.9	50.0	61.4	43.2	11.4	22.7	4.5	-
	150 頭 以上	40	17.5	70.0	72.5	60.0	55.0	20.0	12.5	2.5	-
無 回 答	3	-	33.3	66.7	33.3	66.7	-	-	-	-	
経 産 牛 飼 養 頭 数 (北 海 道)	5 頭 未 満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10 頭 未 満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20 頭 未 満	3	33.3	33.3	33.3	100.0	66.7	33.3	66.7	-	-
	30 頭 未 満	8	37.5	25.0	25.0	62.5	25.0	25.0	-	12.5	-
	40 頭 未 満	22	27.3	9.1	36.4	72.7	40.9	18.2	13.6	4.5	4.5
	50 頭 未 満	31	22.6	22.6	35.5	87.1	67.7	16.1	9.7	-	-
	75 頭 未 満	82	12.2	41.5	43.9	69.5	39.0	12.2	11.0	3.7	-
	100 頭 未 満	44	18.2	50.0	40.9	75.0	38.6	11.4	13.6	2.3	-
	150 頭 未 満	33	15.2	48.5	45.5	72.7	48.5	15.2	24.2	6.1	-
	150 頭 以上	32	15.6	75.0	71.9	71.9	65.6	25.0	9.4	3.1	-
無 回 答	1	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	
経 産 牛 飼 養 頭 数 (都 府 県)	5 頭 未 満	5	40.0	-	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-
	10 頭 未 満	13	46.2	15.4	38.5	46.2	15.4	38.5	23.1	-	-
	20 頭 未 満	45	28.9	4.4	57.8	31.1	26.7	20.0	15.6	6.7	-
	30 頭 未 満	76	19.7	7.9	78.9	36.8	19.7	13.2	25.0	7.9	-
	40 頭 未 満	90	27.8	11.1	70.0	32.2	33.3	8.9	14.4	6.7	-
	50 頭 未 満	61	11.5	11.5	75.4	32.8	36.1	9.8	16.4	1.6	1.6
	75 頭 未 満	60	30.0	15.0	70.0	13.3	23.3	8.3	15.0	6.7	-
	100 頭 未 満	30	20.0	20.0	86.7	16.7	20.0	6.7	30.0	16.7	-
	150 頭 未 満	11	27.3	18.2	63.6	27.3	27.3	-	18.2	-	-
	150 頭 以上	8	25.0	50.0	75.0	12.5	12.5	-	25.0	-	-
無 回 答	2	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	

# 10 酪農経営の安定・改善への取組

## (1) 飼料価格高騰への取組

### ア 最近の飼料価格高騰への取組

全体としてみると、飼料価格高騰に対して何等かの取組を行った経営（「取組をした計」）は68.8%で、取組の内容としては「自給粗飼料の給与量を増やした」（33.8%）、「安い購入飼料に変更した」（32.6%）という経営が特に多かった。その他、「濃厚飼料の購入量を減らした」（24.7%）という経営も比較的多くみられた。

地域別にみると、飼料価格高騰への取組を行った経営の割合は北海道（75.0%）、中国（75.0%）、九州（74.8%）で高く、近畿（51.9%）、東海（57.6%）、沖縄（58.3%）で低率であった。一方、取組内容に関しては、北海道で「濃厚飼料の購入削減」（41.1%）、中国で「安い購入飼料に変更」（47.1%）、九州で「自給粗飼料の給与増加」（44.9%）を行った経営が特に多くみられた。また、沖縄では、他の地域に比べて「粗飼料の購入削減」（33.3%）が多くみられた。

経産牛飼養規模別にみると、北海道では10頭未満の規模層を除けば、150頭以上層を筆頭として飼養規模30頭以上の層で取組経営の割合が高く、内容別には「濃厚飼料の購入削減」は20～75頭層、「自給粗飼料の給与増加」は30～100頭層と150頭以上層、「安い購入飼料に変更」は小規模層より大規模層で多くみられた。一方、都府県では、飼養規模の増大に伴って取組経営の割合が増加しており、「濃厚飼料の購入削減」「粗飼料の購入削減」は規模増大とともに減少、「安い購入飼料に変更」は規模増大とともに増加、「自給粗飼料の給与増加」は40～150頭層で多いという傾向がみられた。

問9 (1) 最近の飼料価格高騰に対する取組<複数回答>

	酪農家数	[単位：戸、%]								取組をした計 （「10」～「特になし」） （無回答）	
		1 濃厚飼料の 購入量を 減らした	2 粗飼料の 購入量を 減らした	3 安い購入 飼料に変 更した	4 食品残さ を飼料と して利用 した	5 自給粗飼 料の給与 量を増や した	6 その他	7 特になし	8 無回答		
全 体	2,635	24.7	13.3	32.6	8.0	33.8	4.1	30.1	1.1	68.8	
ブ ロ ッ ク	北 海 道	769	41.1	3.4	33.8	5.3	38.9	4.2	23.3	1.7	75.0
	(都府県計)	1,866	17.9	17.4	32.0	9.1	31.7	4.1	32.9	0.8	66.3
	東 北	422	29.4	17.3	32.5	7.1	32.9	4.3	29.6	0.7	69.7
	関 東	570	14.0	17.7	29.3	8.4	30.5	4.6	38.1	0.4	61.5
	北 海 道	66	12.1	13.6	40.9	15.2	21.2	9.1	27.3	1.5	71.2
	東 海	151	11.3	15.9	23.8	8.6	27.2	6.0	41.1	1.3	57.6
	近 畿	108	9.3	7.4	23.1	13.0	13.9	3.7	48.1	-	51.9
	中 国	140	26.4	20.7	47.1	13.6	27.9	2.9	24.3	0.7	75.0
	四 国	83	10.8	16.9	27.7	14.5	30.1	7.2	28.9	3.6	67.5
	九 州	314	15.6	20.1	36.3	7.6	44.9	1.3	24.2	1.0	74.8
沖 縄	12	-	33.3	25.0	-	25.0	-	41.7	-	58.3	
経産牛飼養頭数（全国）	5 頭 未 満	49	16.3	22.4	24.5	4.1	20.4	4.1	44.9	-	55.1
	10 頭 未 満	185	24.3	18.9	17.8	4.3	29.7	1.1	43.2	-	56.8
	20 頭 未 満	412	20.4	17.0	26.2	8.3	30.3	3.9	35.4	1.0	63.6
	30 頭 未 満	464	21.6	16.4	30.4	6.7	33.4	3.0	32.5	0.9	66.6
	40 頭 未 満	421	20.4	13.8	32.3	8.3	32.5	4.8	31.4	0.5	68.1
	50 頭 未 満	336	28.9	11.0	36.9	6.5	38.7	3.9	25.6	0.6	73.8
	75 頭 未 満	443	33.9	9.3	36.3	7.4	35.7	5.6	23.5	2.0	74.5
	100 頭 未 満	160	23.1	6.9	38.8	7.5	40.0	6.3	24.4	2.5	73.1
	150 頭 未 満	86	25.6	4.7	46.5	17.4	32.6	4.7	22.1	2.3	75.6
	150 頭 以上	67	26.9	7.5	52.2	28.4	35.8	3.0	16.4	-	83.6
	無 回 答	12	25.0	25.0	50.0	-	33.3	8.3	16.7	8.3	75.0
経産牛飼養頭数（北海道）	5 頭 未 満	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0
	10 頭 未 満	5	60.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	100.0
	20 頭 未 満	21	33.3	4.8	19.0	4.8	28.6	-	42.9	-	57.1
	30 頭 未 満	58	41.4	6.9	22.4	3.4	34.5	-	24.1	3.4	72.5
	40 頭 未 満	96	40.6	3.1	27.1	4.2	40.6	4.2	24.0	-	76.0
	50 頭 未 満	132	44.7	3.0	36.4	2.3	40.9	3.0	25.0	0.8	74.2
	75 頭 未 満	250	46.0	2.8	32.8	3.6	39.2	6.4	22.0	2.0	76.0
	100 頭 未 満	99	35.4	1.0	36.4	4.0	40.4	2.0	25.3	3.0	71.7
	150 頭 未 満	55	30.9	5.5	45.5	12.7	30.9	5.5	20.0	3.6	76.4
	150 頭 以上	48	35.4	6.3	50.0	22.9	47.9	2.1	14.6	-	85.4
	無 回 答	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7
経産牛飼養頭数（都府県）	5 頭 未 満	47	17.0	23.4	23.4	4.3	21.3	4.3	44.7	-	55.3
	10 頭 未 満	180	23.3	19.4	18.3	4.4	30.0	0.6	44.4	-	55.6
	20 頭 未 満	391	19.7	17.6	26.6	8.4	30.4	4.1	35.0	1.0	64.0
	30 頭 未 満	406	18.7	17.7	31.5	7.1	33.3	3.4	33.7	0.5	65.8
	40 頭 未 満	325	14.5	16.9	33.8	9.5	30.2	4.9	33.5	0.6	65.9
	50 頭 未 満	204	18.6	16.2	37.3	9.3	37.3	4.4	26.0	0.5	73.5
	75 頭 未 満	193	18.1	17.6	40.9	12.4	31.1	4.7	25.4	2.1	72.5
	100 頭 未 満	61	3.3	16.4	42.6	13.1	39.3	13.1	23.0	1.6	75.4
	150 頭 未 満	31	16.1	3.2	48.4	25.8	35.5	3.2	25.8	-	74.2
	150 頭 以上	19	5.3	10.5	57.9	42.1	5.3	5.3	21.1	-	78.9
	無 回 答	9	33.3	33.3	55.6	-	33.3	-	11.1	11.1	77.8

## イ 再び飼料価格が高騰した場合の取組

全体としてみると、再び飼料価格が高騰した場合の取組を考えている経営（「取組を考えている計」）は74.8%で、取組の内容としては「自給粗飼料の給与量を増やす」（40.9%）が最も多く、次いで「安い購入飼料に変更する」（36.8%）、「濃厚飼料の購入量を減らす」（22.3%）が多くみられた。なお、先の飼料価格高騰への取組内容と比較すると、「自給飼料への給与増加」（33.8%→40.9%）、「安い購入飼料に変更」（32.6%→36.8%）の割合は微増、「濃厚飼料の購入削減」（24.7%→22.3%）は微減している。

地域別にみると、取組を考えている経営の割合は九州（83.1%）、北海道（80.1%）で高く、東海（63.6%）、近畿（63.8%）で低率であった。一方、取組内容に関しては、「安い購入飼料に変更」を考える経営が、特に中国（47.9%）に多くみられた。その他、他の地域に比べると、北海道で「濃厚飼料の購入削減」（35.4%）、沖縄で「粗飼料の購入削減」（25.0%）が多いという特徴もみられた。

経産牛飼養規模別にみると、北海道では10頭未満層を除けば、特に飼養規模150頭以上の層で取組を考えている経営の割合が高く、内容別には「濃厚飼料の購入削減」は30～150頭層、「自給粗飼料の給与増加」は特に150頭以上層、「安い購入飼料に変更」は大規模層になるほど多くみられた。一方、都府県では、飼養規模の増大とともに取組を考えている経営の割合が増加しており、内容別には「自給粗飼料の給与増加」は20～100頭層（特に「75～100頭未満」）で多く、「安い購入飼料に変更」は飼養規模の増大とともに増加するという傾向がみられた。また、全体的な数はさほど多くないが、北海道、都府県の双方で、「食品残さの利用」を考える経営が飼養規模の増大とともに増加するという傾向も認められた。

問9（2） 再び飼料価格が高騰した場合の取組<複数回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	取組内容								取組をした計 （「無回答」を除く）
		1 濃厚飼料の購入量を減らす	2 粗飼料の購入量を減らす	3 安い購入飼料に変更する	4 食品残さを飼料として利用する	5 自給粗飼料の給与量を増やす	6 その他	7 特になし	8 無回答	
全	2,635	22.3	10.9	36.8	8.7	40.9	5.7	23.2	2.0	74.8
北海道	769	35.4	2.5	41.0	8.2	48.6	5.3	17.8	2.1	80.1
（都府県計）	1,866	16.9	14.4	35.1	8.9	37.8	5.9	25.5	2.0	72.5
東	422	26.5	11.4	32.9	8.1	41.9	5.5	21.3	3.3	75.4
北	570	12.8	15.6	33.5	8.9	36.3	7.4	30.0	1.1	68.9
東	66	13.6	13.6	39.4	4.5	37.9	6.1	27.3	1.5	71.2
北	151	11.9	9.3	31.1	6.6	29.1	6.0	36.4	-	63.6
東	108	4.6	9.3	31.5	10.2	21.3	6.5	34.3	1.9	63.8
近	140	19.3	18.6	47.9	13.6	30.0	6.4	22.1	2.1	75.8
畿	83	10.8	12.0	27.7	9.6	27.7	6.0	26.5	6.0	67.5
中	314	19.7	18.8	39.5	9.6	50.6	3.5	15.0	1.9	83.1
四	12	8.3	25.0	33.3	-	41.7	-	33.3	-	66.7
九	49	18.4	14.3	26.5	4.1	28.6	6.1	32.7	2.0	65.3
州	185	19.5	12.4	23.8	5.9	31.9	2.7	32.4	2.7	64.9
沖	412	20.1	12.1	29.9	6.3	36.9	5.3	29.6	2.9	67.5
縄	464	19.4	15.9	33.0	7.1	40.3	5.4	24.4	1.1	74.5
（全国）	421	19.2	10.5	39.4	9.7	39.2	6.4	25.2	1.2	73.6
5頭未満	336	25.9	11.0	39.6	6.0	45.2	4.8	20.5	1.5	78.0
10頭未満	443	26.9	7.7	43.1	9.5	44.7	6.3	17.4	2.3	80.3
20頭未満	160	26.9	6.9	44.4	8.1	49.4	10.6	12.5	3.1	84.4
30頭未満	86	26.7	3.5	38.4	23.3	40.7	8.1	22.1	1.2	76.7
40頭未満	67	23.9	6.0	58.2	31.3	53.7	1.5	11.9	-	88.1
50頭未満	12	8.3	-	33.3	-	16.7	-	16.7	33.3	50.0
75頭未満	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	100.0
100頭未満	5	80.0	-	40.0	-	-	-	-	-	100.0
150頭未満	21	28.6	4.8	23.8	9.5	57.1	-	28.6	4.8	66.6
150頭以上	58	32.8	3.4	31.0	6.9	46.6	5.2	17.2	1.7	81.1
無回答	96	38.5	2.1	36.5	5.2	49.0	1.0	20.8	-	79.2
（北海道）	132	35.6	2.3	39.4	4.5	46.2	6.1	22.0	2.3	75.7
5頭未満	250	34.8	2.0	42.4	6.4	50.0	6.4	18.0	2.0	80.0
10頭未満	99	38.4	3.0	48.5	4.0	46.5	9.1	11.1	4.0	84.9
20頭未満	55	36.4	1.8	36.4	23.6	45.5	7.3	18.2	1.8	80.0
30頭未満	48	27.1	4.2	58.3	27.1	62.5	-	10.4	-	89.6
40頭未満	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.4
50頭未満	47	17.0	14.9	25.5	4.3	29.8	6.4	34.0	2.1	63.9
75頭未満	180	17.8	12.8	23.3	6.1	32.8	2.8	33.3	2.8	63.9
100頭未満	391	19.7	12.5	30.2	6.1	35.8	5.6	29.7	2.8	67.5
150頭未満	406	17.5	17.7	33.3	7.1	39.4	5.4	25.4	1.0	73.6
150頭以上	325	13.5	12.9	40.3	11.1	36.3	8.0	26.5	1.5	72.0
（都府県）	204	19.6	16.7	39.7	6.9	44.6	3.9	19.6	1.0	79.4
5頭未満	193	16.6	15.0	44.0	13.5	37.8	6.2	16.6	2.6	80.8
10頭未満	61	8.2	13.1	37.7	14.8	54.1	13.1	14.8	1.6	83.6
20頭未満	31	9.7	6.5	41.9	22.6	32.3	9.7	29.0	-	71.0
30頭未満	19	15.8	10.5	57.9	42.1	31.6	5.3	15.8	-	84.2
40頭未満	9	11.1	-	44.4	-	11.1	-	11.1	33.3	55.6

## (2) 作業委託の状況 (平成 20 年度)

全体的にみると、昨年度に作業委託を行った経営（「委託した計」）は 84.2%であり、委託内容としては「削蹄」（70.8%）と「人工授精」（62.0%）が圧倒的に多くあげられた。なお、その他委託作業としては、「税務申告（税理士）」（19.3%）、「飼料生産（コントラクター）」（15.4%）、「ふん尿処理」（11.8%）、「乳牛の哺育・育成」（10.5%）等が散見された。

地域別にみると、作業委託を行った経営の割合は、特に沖縄（100.0%）、北海道（92.0%）で高く、四国（61.5%）で低率であった。また、作業内容に関しては、沖縄で「削蹄」（83.3%）、「税務申告（税理士）」（66.7%）、北海道で「人工授精」（71.4%）を委託した経営が特に多く見受けられた。その他、他の地域に比べると、北海道では「飼料生産（コントラクター）」（35.5%）、「ふん尿処理」（22.5%）、北陸では「ふん尿処理」（25.8%）、「乳牛の哺育・育成」（21.2%）、沖縄では「乳牛の哺育・育成」（33.3%）、「ふん尿処理」（25.0%）を委託に出す経営が多いという特徴もみられた。

経産牛飼養規模別には、多くの委託作業について、飼養規模の増大とともに委託経営の割合が増加するという傾向がおおむね認められた。ただし、北海道では「飼料生産（コントラクター）」「乳牛の哺育・育成」「人工授精」の委託割合、都府県では「飼料生産（コントラクター）」「経営管理（民間コンサルタント）」の委託割合については、飼養規模が 150 頭を超えると低下に転ずるといった動きを示した。

問10 外部に委託した作業<複数回答>

〔単位：戸、%〕

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	取組をした計 （「100」-「特になし」-「無回答」）	
		ラ ク タ ー （ コ ン ト ）	飼 料 生 産 （ コ ン ト ）	給 （ T M R セ ン タ ー ）	飼 料 の 調 製 造 ・ 供 成	乳 牛 の 哺 育 ・ 育 成	人 工 授 精	ふ ん 尿 処 理	削 蹄	税 務 申 告 （ 税 理 士 ）	経 営 管 理 （ 民 間 コ ン サ ル タ ン ト ）	そ の 他		特 に な し
全 体	2,635	15.4	4.6	10.5	62.0	11.8	70.8	19.3	2.2	2.3	12.4	3.4	84.2	
プ ロ ン ク	北 海 道	769	35.5	5.3	13.9	74.1	22.5	75.6	25.4	1.3	1.4	6.2	1.8	92.0
	（都府県計）	1,866	7.1	4.3	9.1	57.1	7.4	68.8	16.8	2.6	2.6	15.0	4.1	80.9
	東 北	422	7.8	4.0	7.8	62.3	8.3	69.2	8.8	1.4	2.4	13.7	4.0	82.3
	関 東	570	5.3	4.0	9.3	64.2	4.4	68.4	13.3	3.0	2.3	16.8	3.7	79.5
	北 海 道	66	9.1	3.0	21.2	40.9	25.8	68.2	15.2	3.0	3.0	13.6	6.1	80.3
	東 海	151	2.6	8.6	11.9	62.9	7.9	76.2	29.1	2.0	2.0	10.6	4.0	85.4
	近 畿	108	0.9	3.7	12.0	60.2	10.2	79.6	22.2	0.9	2.8	8.3	4.6	87.1
	中 国	140	7.9	5.7	12.1	32.1	10.0	70.0	14.3	2.9	10.0	15.7	3.6	80.7
	四 国	83	2.4	1.2	7.2	25.3	9.6	41.0	19.3	7.2	1.2	30.1	8.4	61.5
	九 州	314	14.6	4.1	3.5	57.3	4.1	68.2	24.8	2.9	1.0	14.0	3.5	82.5
沖 縄	12	-	-	33.3	25.0	25.0	83.3	66.7	8.3	-	-	-	100.0	
経 産 牛 飼 養 頭 数 （ 全 国 ）	5 頭 未 満	49	12.2	-	2.0	59.2	4.1	44.9	2.0	-	2.0	32.7	2.0	65.3
	10 頭 未 満	185	4.3	1.1	2.2	67.0	2.2	63.8	4.3	0.5	-	18.9	6.5	74.6
	20 頭 未 満	412	6.8	2.7	5.1	56.8	8.5	60.0	7.3	0.5	2.4	19.2	5.3	75.5
	30 頭 未 満	464	6.5	4.3	9.1	60.8	6.3	69.2	11.9	1.3	2.6	14.4	4.5	81.1
	40 頭 未 満	421	14.5	5.7	9.3	61.3	8.6	71.5	17.3	1.4	2.6	11.2	3.3	85.5
	50 頭 未 満	336	17.3	5.7	11.6	63.1	12.5	76.5	22.0	3.3	2.7	8.0	2.1	89.9
	75 頭 未 満	443	23.3	5.6	14.7	66.8	20.5	75.2	27.8	2.7	2.7	8.1	1.4	90.5
	100 頭 未 満	160	31.9	6.9	14.4	60.0	20.6	78.1	38.1	4.4	0.6	6.9	1.9	91.2
	150 頭 未 満	86	39.5	4.7	24.4	72.1	20.9	86.0	43.0	10.5	4.7	3.5	2.3	94.2
	150 頭 以上	67	35.8	6.0	29.9	53.7	28.4	89.6	62.7	7.5	-	6.0	-	94.0
無 回 答	12	25.0	16.7	8.3	50.0	16.7	58.3	33.3	-	-	16.7	16.7	66.6	
経 産 牛 飼 養 頭 数 （ 北 海 道 ）	5 頭 未 満	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0
	10 頭 未 満	5	-	-	-	40.0	-	40.0	-	-	-	60.0	-	40.0
	20 頭 未 満	21	14.3	-	4.8	71.4	23.8	52.4	4.8	-	-	9.5	4.8	85.7
	30 頭 未 満	58	15.5	3.4	10.3	69.0	10.3	58.6	12.1	1.7	1.7	12.1	3.4	84.5
	40 頭 未 満	96	35.4	3.1	5.2	74.0	13.5	64.6	12.5	-	-	9.4	3.1	87.5
	50 頭 未 満	132	34.1	6.8	9.1	72.7	16.7	75.0	21.2	-	1.5	3.8	2.3	93.9
	75 頭 未 満	250	33.2	5.6	14.8	75.2	27.6	78.0	25.2	0.8	2.0	4.8	0.8	94.4
	100 頭 未 満	99	46.5	8.1	14.1	75.8	26.3	79.8	33.3	1.0	-	5.1	2.0	92.9
	150 頭 未 満	55	52.7	1.8	34.5	87.3	27.3	92.7	40.0	5.5	5.5	1.8	1.8	96.4
	150 頭 以上	48	47.9	8.3	27.1	68.8	33.3	93.8	56.3	6.3	-	4.2	-	95.8
無 回 答	3	33.3	-	-	66.7	33.3	66.7	66.7	-	-	33.3	-	66.7	
経 産 牛 飼 養 頭 数 （ 都 府 県 ）	5 頭 未 満	47	12.8	-	2.1	61.7	4.3	44.7	2.1	-	2.1	31.9	2.1	66.0
	10 頭 未 満	180	4.4	1.1	2.2	67.8	2.2	64.4	4.4	0.6	-	17.8	6.7	75.5
	20 頭 未 満	391	6.4	2.8	5.1	56.0	7.7	60.4	7.4	0.5	2.6	19.7	5.4	74.9
	30 頭 未 満	406	5.2	4.4	8.9	59.6	5.7	70.7	11.8	1.2	2.7	14.8	4.7	80.5
	40 頭 未 満	325	8.3	6.5	10.5	57.5	7.1	73.5	18.8	1.8	3.4	11.7	3.4	84.9
	50 頭 未 満	204	6.4	4.9	13.2	56.9	9.8	77.5	22.5	5.4	3.4	10.8	2.0	87.2
	75 頭 未 満	193	10.4	5.7	14.5	56.0	11.4	71.5	31.1	5.2	3.6	12.4	2.1	85.5
	100 頭 未 満	61	8.2	4.9	14.8	34.4	11.5	75.4	45.9	9.8	1.6	9.8	1.6	88.6
	150 頭 未 満	31	16.1	9.7	6.5	45.2	9.7	74.2	48.4	19.4	3.2	6.5	3.2	90.3
	150 頭 以上	19	5.3	-	36.8	15.8	15.8	78.9	78.9	10.5	-	10.5	-	89.5
無 回 答	9	22.2	22.2	11.1	44.4	11.1	55.6	22.2	-	-	11.1	22.2	66.7	

### (3) 作業委託以外の経営安定・改善策

全体としてみると、作業委託以外に何等かの取組を行っている経営（「実践している計」）は90.6%で、取組内容としては「乳牛の繁殖管理の徹底」（64.9%）、「乳牛の疾病・事故予防対策の徹底」（61.3%）をあげる経営が特に多かった。その他、「乳牛の供用年数の延長」（39.5%）、「機械・施設の更新時期の延期」（28.4%）、「自給飼料の品質の改善」（27.2%）、「乳牛改良による泌乳能力の向上」（25.3%）等をあげる経営も比較的多くみられた。

地域別にみると、「繁殖管理の徹底」をあげる経営は中国（71.4%）、「疾病・事故予防対策の徹底」をあげる経営は四国（67.5%）で特に多かった。その他、他の地域との比較でみると、北海道では「自給飼料の品質改善」（38.6%）、「機械・施設の更新延期」（35.6%）、中国では「乳牛の供用延長」（47.1%）、「安い購入飼料の利用」（34.3%）「乳牛改良」（33.6%）、沖縄では「乳牛の供用延長」（58.3%）、「副産物の高付加価値化」（41.7%）、「雇用労働の確保」（25.0%）に取り組む経営が多くみられた。

経産牛飼養規模別には、「乳牛の供用延長」「機械・施設の更新延期」「中古機械・施設の利用」等の取組は飼養規模増大に伴い一定規模まで増加した後に減少、「疾病・事故予防対策の徹底」は飼養規模増大に伴い一定規模まで増加した後に停滞、「雇用労働力の確保」「安い購入飼料の利用」「食品残さの利用」等の取組は一定規模以上になると急速に増加するという傾向が、北海道、都府県の双方について認められた。また、北海道における「繁殖管理の徹底」、都府県における「乳牛改良」「自給飼料の給与増加」「自給飼料の品質改善」等は一定規模まで増加した後に減少するという傾向を示し、北海道における「乳牛改良」、都府県における「繁殖管理の徹底」は飼養規模とともに一貫して増加する傾向を示した。

問11 外部委託以外で実践している経営安定・改善策<複数回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	取組をした計																	取組をした計 （「100」に特になし）	
		1 乳牛の疾病・事故 の徹底	2 乳牛の繁殖管理の 徹底	3 乳牛の供用年数の 延長	4 乳牛の泌乳能力の 向上による泌乳 能力の向上	5 副産物の高付加 価値化	6 機械・施設の更新 時期の延期	7 中古の機械・施設 の購入・利用・施設 の更新	8 機械利用の共同 化	9 雇用労働力の確保	10 安い購入飼料の利 用	11 食品残さの飼料と しての利用	12 自給飼料の給与 量の増加	13 自給飼料の品質の 改善	14 ふん尿処理の共同 化	15 その他	16 特になし	17 無回答		
全体	2,635	61.3	64.9	39.5	25.3	12.9	28.4	23.3	13.7	9.6	23.9	7.4	23.8	27.2	4.7	0.8	7.5	1.9	90.6	
北海道 (都府県計)	769	62.0	68.0	36.7	23.5	8.5	35.6	30.2	16.1	14.0	24.2	4.9	24.4	38.6	4.3	0.8	5.9	1.4	92.7	
	1,866	60.9	63.6	40.6	26.0	14.7	25.4	20.4	12.7	7.7	23.7	8.4	23.6	22.5	4.9	0.8	8.1	2.1	89.8	
	422	53.8	58.3	37.4	20.4	12.1	28.7	23.9	17.5	6.4	22.0	9.0	27.3	27.5	5.2	0.9	8.5	3.3	88.2	
	570	65.1	64.2	41.6	28.2	14.2	26.1	19.5	11.4	5.8	21.6	7.0	22.1	22.6	5.4	1.1	9.3	1.6	89.1	
	66	63.6	56.1	42.4	22.7	13.6	19.7	21.2	13.6	10.6	21.2	10.6	18.2	13.6	7.6	-	12.1	-	87.9	
	151	57.6	62.3	43.0	18.5	17.2	23.2	15.2	10.6	6.6	17.9	6.0	20.5	19.9	4.0	-	10.6	2.6	86.8	
	108	52.8	57.4	38.9	22.2	13.0	21.3	18.5	2.8	8.3	25.0	13.0	9.3	8.3	9.3	-	13.9	1.9	84.2	
	140	63.6	71.4	47.1	33.6	16.4	32.9	16.4	10.7	9.3	34.3	10.0	23.6	16.4	4.3	0.7	2.1	2.9	95.0	
	83	67.5	68.7	20.5	32.5	15.7	9.6	16.9	6.0	8.4	19.3	10.8	21.7	19.3	3.6	1.2	3.6	2.4	94.0	
	314	64.3	68.8	43.9	29.9	16.9	24.2	23.2	15.9	11.1	29.3	8.3	29.6	27.7	2.5	0.6	5.4	1.0	93.6	
12	50.0	66.7	58.3	25.0	41.7	25.0	16.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3	83.4	
経産牛飼養頭数 (全国)	5頭未満	49	40.8	34.7	22.4	14.3	10.2	16.3	12.2	4.1	8.2	24.5	8.2	20.4	6.1	2.0	22.4	6.1	71.5	
	10頭未満	185	38.4	35.7	32.4	7.6	9.7	21.1	15.7	7.6	3.2	14.1	5.9	17.3	14.6	-	21.1	4.3	74.6	
	20頭未満	412	54.1	52.4	35.0	17.0	10.4	23.8	20.4	8.7	2.7	20.6	6.6	21.4	19.2	3.9	-	11.4	2.7	85.9
	30頭未満	464	60.8	65.1	40.3	24.4	13.1	26.3	20.5	13.8	5.2	22.4	5.0	21.1	22.0	5.6	1.5	6.0	1.9	92.1
	40頭未満	421	64.4	67.0	42.5	28.0	16.2	32.8	25.9	14.3	6.4	24.0	7.6	22.6	30.4	4.3	1.2	6.9	1.0	92.1
	50頭未満	336	65.2	73.8	43.8	28.9	14.0	28.3	26.8	19.0	7.7	22.6	5.7	28.9	33.0	5.4	0.3	4.8	1.8	93.4
	75頭未満	443	65.5	72.2	43.1	29.1	10.8	35.9	31.2	15.3	10.4	25.6	6.3	26.2	31.4	4.5	0.5	3.8	0.5	95.7
	100頭未満	160	75.6	81.9	40.6	38.1	14.4	28.8	16.9	15.6	21.9	27.5	7.5	30.6	36.3	4.4	1.3	2.5	1.3	96.2
	150頭未満	86	74.4	79.1	36.0	34.9	15.1	33.7	25.6	19.8	33.7	37.2	18.6	24.4	36.0	5.8	2.3	3.5	2.3	94.2
	150頭以上	67	74.6	79.1	37.3	37.3	20.9	20.9	14.9	16.4	64.2	50.7	34.3	31.3	43.3	11.9	-	3.0	-	97.0
無回答	12	25.0	50.0	-	16.7	-	-	-	-	8.3	16.7	-	8.3	16.7	-	-	8.3	25.0	66.7	
経産牛飼養頭数 (北海道)	5頭未満	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	50.0
	10頭未満	5	40.0	60.0	20.0	-	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	100.0
	20頭未満	21	57.1	47.6	28.6	4.8	9.5	28.6	28.6	9.5	-	19.0	4.8	38.1	47.6	4.8	-	33.3	4.8	61.9
	30頭未満	58	48.3	43.1	29.3	15.5	13.8	34.5	37.9	13.8	8.6	20.7	1.7	12.1	31.0	3.4	-	8.6	1.7	89.7
	40頭未満	96	55.2	63.5	39.6	16.7	9.4	38.5	37.5	21.9	7.3	20.8	2.1	12.5	38.5	4.2	2.1	6.3	1.0	92.7
	50頭未満	132	56.8	68.2	34.1	22.0	7.6	35.6	32.6	13.6	9.8	22.0	3.0	28.8	31.8	3.8	-	7.6	2.3	90.1
	75頭未満	250	61.2	68.4	41.2	24.8	6.8	39.6	34.4	15.2	8.4	22.0	2.4	26.8	38.0	2.0	0.8	4.0	0.8	95.2
	100頭未満	99	76.8	81.8	37.4	30.3	5.1	32.3	13.1	15.2	13.1	22.2	3.0	26.3	43.4	7.1	1.0	2.0	1.0	97.0
	150頭未満	55	74.5	81.8	32.7	29.1	9.1	34.5	29.1	23.6	29.1	36.4	14.5	21.8	45.5	7.3	1.8	3.6	1.8	94.6
	150頭以上	48	75.0	75.0	33.3	37.5	14.6	22.9	16.7	18.8	66.7	47.9	27.1	35.4	52.1	10.4	-	2.1	-	97.9
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.4	
経産牛飼養頭数 (都府県)	5頭未満	47	40.4	34.0	21.3	14.9	8.5	14.9	10.6	4.3	8.5	23.4	8.5	21.3	19.1	6.4	2.1	21.3	6.4	72.3
	10頭未満	180	38.3	35.0	32.8	7.8	9.4	20.6	16.1	7.8	2.8	14.4	6.1	17.2	15.0	1.7	-	21.7	4.4	73.9
	20頭未満	391	54.0	52.7	35.3	17.6	10.5	23.5	19.9	8.7	2.8	20.7	6.6	20.5	17.6	3.8	-	10.2	2.6	87.2
	30頭未満	406	62.6	68.2	41.9	25.6	13.1	25.1	18.0	13.8	4.7	22.7	5.4	22.4	20.7	5.9	1.7	5.7	2.0	92.3
	40頭未満	325	67.1	68.0	43.4	31.4	18.2	31.1	22.5	12.0	6.2	24.9	9.2	25.5	28.0	4.3	0.9	7.1	0.9	92.0
	50頭未満	204	70.6	77.5	50.0	33.3	18.1	23.5	23.0	22.5	6.4	23.0	7.4	28.9	33.8	6.4	0.5	2.9	1.5	95.6
	75頭未満	193	71.0	77.2	45.6	34.7	16.1	31.1	26.9	15.5	13.0	30.1	11.4	25.4	22.8	7.8	-	3.6	-	96.4
	100頭未満	61	73.8	82.0	45.9	50.8	29.5	23.0	23.0	16.4	36.1	36.1	14.8	37.7	24.6	-	1.6	3.3	1.6	95.1
	150頭未満	31	74.2	74.2	41.9	45.2	25.8	32.3	19.4	12.9	41.9	38.7	25.8	29.0	19.4	3.2	3.2	3.2	3.2	93.6
	150頭以上	19	73.7	89.5	47.4	36.8	36.8	15.8	10.5	10.5	57.9	57.9	52.6	21.1	21.1	15.8	-	5.3	-	94.7
無回答	9	33.3	66.7	-	22.2	-	-	-	-	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-	-	-	22.2	77.8	

# 1.1 酪農経営の将来見通し

## (1) 5年後の酪農部門の方向性

全体としてみると、5年後の酪農経営の方向性としては、『規模拡大』が12.9%、『現状維持』が54.4%、『規模縮小』が6.3%を占めており、酪農経営の継続意向率（『規模拡大』+『現状維持』+『規模縮小』）は73.6%であった。また、酪農中止意向率（『他部門へ転換』+『農業経営を中止』）は9.4%、予想不能（『わからない』）は16.4%であった。

地域別には、北海道は都府県に比べて、『規模拡大』（北海道18.9%、都府県10.5%）、『現状維持』（北海道59.2%、都府県52.5%）の割合が高く、『規模縮小』（北海道4.0%、都府県7.2%）、『酪農中止』（北海道7.1%、都府県10.5%）、『予想不能』（北海道10.5%、都府県18.8%）の割合が低いという特徴がみられた。また、都府県では、沖縄で『規模拡大』（25.0%）、近畿、北陸で『酪農中止』（近畿15.7%、北陸15.1%）、中国で『予想不能』（24.3%）の割合が他地域に比べて高い値を示した。

経産牛飼養規模別には、一部の規模層を除けば、『規模拡大』の割合は飼養規模の増大に伴って上昇、『現状維持』の割合は飼養規模の増大に伴って一定規模（北海道「50～75頭未満」、都府県「40～50頭未満」）まで上昇した後に減少に反転、『酪農中止』『予想不能』の割合は飼養規模の増大に伴って低下するという傾向を示した。

問12(1) 5年後の酪農部門<単一回答>

[単位: 戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	継続意向率 (1+2+3)	酪農中止意向率 (4+5)	
		を規模拡大して酪農を継続	現状規模で酪農を継続	を規模縮小して酪農を継続	酪農部門へ転換	酪農部門を止め他業に転換	農業経営を中止している	わからない			無回答
全体	2,635	12.9	54.4	6.3	4.7	4.7	16.4	0.5	73.6	9.4	
ブ ロ ッ ク	北海道	769	18.9	59.2	4.0	2.0	5.1	10.5	0.4	82.1	7.1
	(都府県計)	1,866	10.5	52.5	7.2	5.9	4.6	18.8	0.5	70.2	10.5
	東北	422	10.2	53.1	6.2	4.7	2.8	22.3	0.7	69.5	7.5
	関東	570	8.8	52.6	7.2	6.0	6.0	18.6	0.9	68.6	12.0
	北陸	66	6.1	51.5	9.1	12.1	3.0	18.2	-	66.7	15.1
	北海道	151	3.3	55.0	6.0	6.6	6.6	22.5	-	64.3	13.2
	近畿	108	9.3	50.0	8.3	4.6	11.1	16.7	-	67.6	15.7
	中国	140	11.4	46.4	5.7	9.3	2.1	24.3	0.7	63.5	11.4
	九州	83	15.7	56.6	10.8	3.6	3.6	9.6	-	83.1	7.2
沖縄	314	16.6	52.9	8.6	5.1	2.9	13.7	0.3	78.1	8.0	
	12	25.0	50.0	-	8.3	-	16.7	-	75.0	8.3	
経産牛飼養頭数(全国)	5頭未満	49	2.0	36.7	2.0	22.4	14.3	22.4	-	40.7	36.7
	10頭未満	185	7.6	33.5	4.9	13.5	11.9	27.6	1.1	46.0	25.4
	20頭未満	412	5.6	42.7	6.1	11.4	5.8	27.7	0.7	54.4	17.2
	30頭未満	464	7.5	52.8	8.2	4.1	6.3	20.9	0.2	68.5	10.4
	40頭未満	421	9.7	58.7	9.0	3.3	3.3	15.4	0.5	77.4	6.6
	50頭未満	336	12.8	63.7	7.7	0.9	4.5	10.1	0.3	84.2	5.4
	75頭未満	443	18.5	64.3	5.0	0.9	2.3	8.6	0.5	87.8	3.2
	100頭未満	160	27.5	61.3	2.5	0.6	0.6	6.9	0.6	91.3	1.2
	150頭未満	86	27.9	59.3	3.5	-	1.2	8.1	-	90.7	1.2
	150頭以上	67	50.7	46.3	-	-	-	3.0	-	97.0	-
無回答	12	-	58.3	-	8.3	8.3	16.7	8.3	58.3	16.6	
経産牛飼養頭数(北海道)	5頭未満	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
	10頭未満	5	-	40.0	-	-	20.0	40.0	-	40.0	20.0
	20頭未満	21	4.8	42.9	-	14.3	9.5	28.6	-	47.7	23.8
	30頭未満	58	3.4	41.4	8.6	6.9	12.1	27.6	-	53.4	19.0
	40頭未満	96	6.3	61.5	4.2	3.1	7.3	17.7	-	72.0	10.4
	50頭未満	132	12.9	59.1	7.6	-	9.8	9.8	0.8	79.6	9.8
	75頭未満	250	20.0	65.2	3.6	0.8	2.8	7.2	0.4	88.8	3.6
	100頭未満	99	29.3	61.6	2.0	-	1.0	5.1	1.0	92.9	1.0
	150頭未満	55	29.1	63.6	1.8	-	1.8	3.6	-	94.5	1.8
	150頭以上	48	50.0	45.8	-	-	-	4.2	-	95.8	-
無回答	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7	33.3	
経産牛飼養頭数(都府県)	5頭未満	47	2.1	38.3	2.1	19.1	14.9	23.4	-	42.5	34.0
	10頭未満	180	7.8	33.3	5.0	13.9	11.7	27.2	1.1	46.1	25.6
	20頭未満	391	5.6	42.7	6.4	11.3	5.6	27.6	0.8	54.7	16.9
	30頭未満	406	8.1	54.4	8.1	3.7	5.4	20.0	0.2	70.6	9.1
	40頭未満	325	10.8	57.8	10.5	3.4	2.2	14.8	0.6	79.1	5.6
	50頭未満	204	12.7	66.7	7.8	1.5	1.0	10.3	-	87.2	2.5
	75頭未満	193	16.6	63.2	6.7	1.0	1.6	10.4	0.5	86.5	2.6
	100頭未満	61	24.6	60.7	3.3	1.6	-	9.8	-	88.6	1.6
	150頭未満	31	25.8	51.6	6.5	-	-	16.1	-	83.9	-
	150頭以上	19	52.6	47.4	-	-	-	-	-	100.0	-
無回答	9	-	55.6	-	-	11.1	22.2	11.1	55.6	11.1	
20年度調査全体	2,443	17.5	59.4	7.6	3.8	3.5	7.4	0.8	84.5	7.3	

## (2) 酪農経営継続上の期待事項

酪農継続の見通しをもつ経営を対象として、酪農経営を継続する上で、今後期待する事項を調べると以下のような結果が得られた。

一部の例外的なケースを除けば、地域や経産牛の飼養規模を問わず、『乳価の安定』（全体で89.1%）への期待が断然高く、次いで『生乳需給の安定』（全体で67.4%）、『生産資材の安定供給』（全体で46.0%）に高い期待が寄せられた。

地域別には、『乳価の安定』への期待は四国（95.7%）、北陸（95.5%）、『生産資材の安定供給』への期待は北海道（53.2%）で特に高い値を示した。また、他の地域に比べると、北海道では『作業労働支援の充実』（25.2%）、沖縄では『酪農経営情報の提供』（33.3%）、『生産技術指導の充実』（22.2%）への期待が高いという特徴もみられた。

質問12(2) 酪農経営継続上の期待<3項目以内回答：酪農継続意向農家限定>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		生乳需給の安定	乳価の安定	給生産資材の安定供給	経営管理指導（経営コンサル等）の充実	実生産技術指導の充実	アルバイト等へのサポートの充実	作業労働支援への期待	酪農経営に関する情報の提供	後継者の育成支援	農地（売買・賃借）の斡旋	その他	無回答
全体	1,941	67.4	89.1	46.0	3.5	7.5	19.6	7.2	8.2	6.6	2.1	3.6	
ブ ロ ッ ク	北海道	631	69.7	88.3	53.2	3.0	6.0	25.2	4.3	7.1	7.8	1.7	4.8
	（都府県計）	1,310	66.3	89.5	42.5	3.7	8.2	16.9	8.6	8.7	6.0	2.2	3.0
	東 北	293	64.2	87.4	42.3	2.4	7.5	17.4	8.5	9.2	7.2	3.1	3.4
	関 東	391	67.5	87.2	42.7	3.6	7.4	16.9	8.2	8.4	6.9	3.1	3.3
	北 陸	44	65.9	95.5	40.9	2.3	9.1	15.9	9.1	13.6	4.5	2.3	-
	東 海	97	66.0	85.6	47.4	5.2	6.2	11.3	9.3	4.1	3.1	1.0	7.2
	近 畿	73	54.8	93.2	32.9	6.8	6.8	16.4	8.2	6.8	4.1	1.4	4.1
	中 国	89	69.7	91.0	51.7	5.6	9.0	16.9	6.7	6.7	3.4	1.1	3.4
	四 国	69	63.8	95.7	46.4	4.3	14.5	21.7	10.1	5.8	1.4	-	1.4
	九 州	245	70.2	93.1	39.6	3.3	9.0	18.0	8.6	11.8	7.8	1.6	0.8
沖 縄	9	66.7	88.9	33.3	11.1	22.2	-	33.3	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数（全国）	5 頭 未 満	20	55.0	85.0	45.0	10.0	-	15.0	-	5.0	-	-	10.0
	10 頭 未 満	85	57.6	90.6	45.9	1.2	7.1	5.9	9.4	5.9	3.5	2.4	3.5
	20 頭 未 満	224	63.4	88.8	39.3	1.3	9.4	12.5	11.2	5.8	5.4	0.9	4.5
	30 頭 未 満	318	67.0	90.3	45.0	3.5	7.9	17.0	7.9	9.1	6.0	1.6	3.5
	40 頭 未 満	326	68.1	89.3	45.4	5.5	8.3	22.1	8.0	9.2	5.5	2.5	3.1
	50 頭 未 満	283	63.3	86.2	44.2	2.8	8.1	25.1	6.7	9.2	7.1	3.9	3.5
	75 頭 未 満	389	72.0	89.7	50.6	3.3	5.4	21.9	5.4	7.7	4.9	1.3	4.1
	100 頭 未 満	146	71.2	89.0	44.5	4.1	7.5	25.3	6.2	9.6	10.3	2.1	2.1
	150 頭 未 満	78	62.8	88.5	52.6	3.8	7.7	19.2	6.4	9.0	15.4	3.8	3.8
	150 頭 以上	65	83.1	93.8	53.8	4.6	9.2	13.8	3.1	6.2	15.4	1.5	1.5
無 回 答	7	85.7	85.7	42.9	-	-	14.3	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数（北海道）	5 頭 未 満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10 頭 未 満	2	50.0	50.0	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	20 頭 未 満	10	70.0	90.0	70.0	-	-	-	10.0	-	10.0	-	10.0
	30 頭 未 満	31	74.2	93.5	51.6	-	12.9	12.9	-	3.2	3.2	-	6.5
	40 頭 未 満	69	75.4	89.9	60.9	2.9	5.8	29.0	5.8	2.9	1.4	1.4	2.9
	50 頭 未 満	105	58.1	85.7	55.2	2.9	6.7	27.6	1.9	5.7	7.6	4.8	4.8
	75 頭 未 満	222	70.7	88.3	52.3	3.2	5.0	26.6	4.5	8.1	5.4	-	6.3
	100 頭 未 満	92	70.7	85.9	46.7	3.3	5.4	31.5	6.5	9.8	7.6	3.3	2.2
	150 頭 未 満	52	63.5	88.5	50.0	3.8	7.7	19.2	5.8	11.5	19.2	3.8	5.8
	150 頭 以上	46	84.8	93.5	54.3	4.3	6.5	17.4	-	6.5	19.6	-	2.2
無 回 答	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
経産牛飼養頭数（都府県）	5 頭 未 満	20	55.0	85.0	45.0	10.0	-	15.0	-	5.0	-	-	10.0
	10 頭 未 満	83	57.8	91.6	44.6	1.2	7.2	6.0	8.4	6.0	3.6	2.4	3.6
	20 頭 未 満	214	63.1	88.8	37.9	1.4	9.8	13.1	11.2	6.1	5.1	0.9	4.2
	30 頭 未 満	287	66.2	89.9	44.3	3.8	7.3	17.4	8.7	9.8	6.3	1.7	3.1
	40 頭 未 満	257	66.1	89.1	41.2	6.2	8.9	20.2	8.6	10.9	6.6	2.7	3.1
	50 頭 未 満	178	66.3	86.5	37.6	2.8	9.0	23.6	9.6	11.2	6.7	3.4	2.8
	75 頭 未 満	167	73.7	91.6	48.5	3.6	6.0	15.6	6.6	7.2	4.2	3.0	1.2
	100 頭 未 満	54	72.2	94.4	40.7	5.6	11.1	14.8	5.6	9.3	14.8	-	1.9
	150 頭 未 満	26	61.5	88.5	57.7	3.8	7.7	19.2	7.7	3.8	7.7	3.8	-
	150 頭 以上	19	78.9	94.7	52.6	5.3	15.8	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	-
無 回 答	5	80.0	80.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	

## 【経営離脱等酪農家調査】

### 1 生乳出荷停止の状況

#### (1) 生乳出荷停止の原因

生乳出荷停止の原因を全国的にみると、『酪農経営の中止』による出荷停止が 92.7%を占め、それ以外の原因による出荷停止（7.3%）はわずかであった。  
このような状況は、北海道・都府県別にみてもほぼ同じであった。

問1 (1) 生乳出荷停止の原因<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	無回答	以外「酪農経営の中止」計
		アウトサイダー化	他地域への移転	他農協への出荷先の変更	酪農経営の中止	共同経営への参画	その他		
全 国	848	2.6	-	0.6	92.7	0.2	3.9	-	7.3
北 海 道	125	-	-	1.6	90.4	1.6	6.4	-	9.6
都 府 県 計	723	3.0	-	0.4	93.1	-	3.5	-	6.9
20年度調査全体	1,075	0.9	0.1	0.2	96.3	0.1	2.1	0.3	3.4

#### (2) 出荷停止農家の経営主年齢

生乳出荷停止時における経営主年齢の全国分布をみると、『60～69歳』（36.6%）を中心として50～79歳の経営が83.1%を占めている。

ただし、北海道・都府県間にはおおむね10歳のずれがみられ、都府県では50～79歳での出荷停止（85.2%）が特に多いのに対して、北海道では40～69歳での出荷停止（90.4%）が特に多くみられた。

問1 (2) 生乳出荷停止農家の経営主年齢<単一回答>

[単位：戸、%]

	生乳出荷停止酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
全 国	848	-	0.6	2.7	10.8	25.7	36.6	20.8	2.7	0.1
北 海 道	125	-	0.8	4.8	23.2	23.2	44.0	3.2	-	0.8
都 府 県 計	723	-	0.6	2.4	8.7	26.1	35.3	23.8	3.2	-

### (3) 経営中止酪農家の経営内容

「酪農経営を中止」した経営に限定して、その経営レベルを地域における平均的な経営レベルと比較すると、全国的には『普通よりも劣っていた』と判断される経営（「悪い」「やや悪い」計）が31.4%、『普通』と判断される経営（「普通」）が45.2%、『普通よりも優れていた』と判断される経営（「やや良い」「良い」計）が16.0%という状況であった。

これを北海道・都府県間で比較すると、北海道では都府県に比べると『普通』（北海道29.6%、都府県47.9%）が少なく、『普通よりも優れていた』（北海道24.0%、都府県14.6%）と『普通よりも劣っていた』（北海道36.8%、都府県30.5%）の両極に分散する傾向がみられた。

問1 (3) 【酪農経営中止農家限定】 酪農経営中止農家の経営内容<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	無回答	い	い
		悪い	やや悪い	普通	やや良い	良い		「悪い」計	「やや良い」「良い」計
全 国	848	14.4	17.0	45.2	7.3	8.7	7.4	31.4	16.0
北 海 道	125	19.2	17.6	29.6	4.8	19.2	9.6	36.8	24.0
都 府 県 計	723	13.6	16.9	47.9	7.7	6.9	7.1	30.5	14.6
20年度調査全体	1,040	14.0	19.0	49.4	8.7	6.6	2.2	33.0	15.3

### (4) 酪農経営の中止理由

「酪農経営を中止」した経営に限定して、その中止理由を調べると、全体としては『後継者不在・高齢化』（48.0%）が断然多くあげられた。また、『病気・ケガ・災害等』（29.0%）、『経営に余裕のあるうちに中止』（19.8%）、『他品目への転換の方が魅力的』（18.3%）等の理由も比較的多くみられた。

これを北海道・都府県別にみると、北海道は都府県に比べて『後継者不在・高齢化』の割合（北海道35.4%、都府県50.1%）が低く、『負債問題で経営が不可能化』の割合（北海道20.4%、都府県8.9%）が高いという特徴がみられた。

問1 (4) 【酪農経営中止農家限定】 酪農経営中止の理由<複数回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
		主後継者不在・経営	等 病 気、ケガ、災害	が 環 境 困 難 問 題 へ の 対 応	方 他 が 品 目 力 的 へ の 転 換 の	不 負 可 債 能 問 題 化 で 経 営 が	に 乳 牛 の 疾 病 続 困 ・ 難 事 故	内 経 営 中 に 余 裕 が ある	わ か ら な い	そ の 他	
全 国	786	48.0	29.0	5.3	18.3	10.6	4.5	19.8	1.3	6.1	0.4
北 海 道	113	35.4	29.2	3.5	15.9	20.4	2.7	23.0	0.9	8.0	0.9
都 府 県 計	673	50.1	29.0	5.6	18.7	8.9	4.8	19.3	1.3	5.8	0.3
20年度調査全体	1,040	48.7	24.3	10.5	16.9	11.7	5.8	19.9	2.3	5.0	0.6

## <参考1> 酪農経営中止理由の推移

酪農経営の中止理由に関して、本年度調査の結果と過去2年度間の調査結果を比較してみると以下のような特徴がみられた。

全国的にみると、『病気・ケガ・災害等』（20.2%→24.3%→29.0）が2期間にわたりほぼ同テンポで増加してきていること、『環境問題への対応が困難』（9.5%→10.5%→5.3%）が昨年度から本年度にかけて減少したことが注目される。

北海道・都府県別にみると、都府県については全国とほぼ同様の傾向がみられる。一方、北海道については、一昨年度から昨年度にかけて増加した『後継者不在・高齢化』（37.5%→46.4%→35.4%）が本年度は減少に転じていること、『他品目への転換の方が魅力的』（11.2%→11.3%→15.9%）が本年度は若干ながら増加していることが注目される。また、北海道では『負債問題で経営が不可能化』（32.2%→19.6%→20.4%）が依然として多いが、平成19年度当時と比べれば10ポイント以上少なく、昨年度とほぼ同じ水準に止まっている。

<比較表> 酪農経営中止理由の推移

[単位：戸、%]

	(年度)	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
			主後継者不在・経営主高齢化	等病気、ケガ、災害	が環境問題への対応	方他品目への転換の	不負債問題で経営が	に乳牛の疾病・事故	内に営に余裕がある	わからぬ	その他	
全 国	21年度	786	48.0	29.0	5.3	18.3	10.6	4.5	19.8	1.3	6.1	0.4
	20年度	1,040	48.7	24.3	10.5	16.9	11.7	5.8	19.9	2.3	5.0	0.6
	19年度	793	47.2	20.2	9.5	17.9	14.8			3.7	8.1	1.6
北 海 道	21年度	113	35.4	29.2	3.5	15.9	20.4	2.7	23.0	0.9	8.0	0.9
	20年度	97	46.4	32.0	7.2	11.3	19.6	6.2	17.5	-	6.2	1.0
	19年度	152	37.5	25.0	6.6	11.2	32.2			3.9	1.3	1.3
都 府 県 計	21年度	673	50.1	29.0	5.6	18.7	8.9	4.8	19.3	1.3	5.8	0.3
	20年度	943	48.9	23.5	10.8	17.5	10.9	5.7	20.1	2.5	4.9	0.5
	19年度	641	49.5	19.0	10.1	19.5	10.6			3.6	9.7	1.7

## <参考2> 経営主年齢別にみた酪農経営中止理由

酪農経営の中止理由を、出荷停止時の経営主年齢別にみると以下のような特徴がみられた。

全国的にみると、離脱時の経営主年齢が高い層ほど『後継者不在・経営主高齢化』の割合が高く、低い層ほど『他品目への転換』と『負債問題』の割合が高くなるという傾向がみられた。また、『病気・ケガ・災害等』の割合は「39歳以下」と「70歳以上」の両層、『環境問題』及び『乳牛の疾病・事故』の割合は「39歳以下」層、『経営に余裕のあるうちに中止』の割合は「40～69歳」で特に高い値を示した。

このような傾向は北海道、都府県別にみてもおおむね同様にみられたが、北海道では『他品目への転換』の割合が「40～49歳」層、『病気・ケガ・災害等』の割合が「70歳以上」層で特に高い等の若干異なった傾向も多少見受けられた。

	生乳出荷停止酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
		主後継者不在・経営主高齢化	等病、ケガ、災害	が環境問題への対応	方が品力への転換の	不可債問題で経営が	に乳牛の疾病・事故	内営に中止余裕がある	わからない	その他	
<b>【全国】</b>											
全体	786	48.0	29.0	5.3	18.3	10.6	4.5	19.8	1.3	6.1	0.4
39歳以下	25	8.0	32.0	16.0	40.0	28.0	24.0	12.0	4.0	12.0	0.0
40～49歳	86	8.1	25.6	3.5	31.4	24.4	5.8	20.9	2.3	7.0	-
50～59歳	194	22.7	26.3	5.2	27.8	16.0	4.6	21.6	2.1	9.3	-
60～69歳	289	58.8	28.7	6.9	14.9	7.6	3.1	26.3	1.0	5.5	0.7
70歳以上	191	80.1	33.5	2.6	5.2	1.0	3.1	8.4	-	2.6	0.5
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
<b>【北海道】</b>											
全体	113	35.4	29.2	3.5	15.9	20.4	2.7	23.0	0.9	8.0	0.9
39歳以下	7	14.3	28.6	14.3	14.3	57.1	28.6	14.3	-	14.3	-
40～49歳	29	3.4	24.1	-	24.1	24.1	-	27.6	3.4	10.3	-
50～59歳	21	33.3	38.1	9.5	4.8	33.3	-	23.8	-	-	-
60～69歳	51	54.9	27.5	2.0	17.6	9.8	2.0	21.6	-	9.8	2.0
70歳以上	4	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
<b>【都府県】</b>											
全体	673	50.1	29.0	5.6	18.7	8.9	4.8	19.3	1.3	5.8	0.3
39歳以下	18	5.6	33.3	16.7	50.0	16.7	22.2	11.1	5.6	11.1	-
40～49歳	57	10.5	26.3	5.3	35.1	24.6	8.8	17.5	1.8	5.3	-
50～59歳	173	21.4	24.9	4.6	30.6	13.9	5.2	21.4	2.3	10.4	-
60～69歳	238	59.7	29.0	8.0	14.3	7.1	3.4	27.3	1.3	4.6	0.4
70歳以上	187	80.7	33.2	2.7	5.3	1.1	3.2	8.6	-	2.7	0.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

<参考3> 経営内容別にみた酪農経営中止理由

酪農経営の中止理由を、出荷停止時の経営内容別にみると以下のような特徴がみられた。全国的にみると、経営内容が「普通より劣る（悪い+やや悪い）」層では、他層に比べて『負債問題で経営が不可能化』の割合（全体 10.6%、当該層 30.1%）が高率であった。一方、経営内容が「普通より優れている（やや良い+良い）」層では、他層に比べると『後継者不在・経営主高齢化』（全体 48.0%、当該層 58.1%）、『病気・ケガ・災害等』（全体 29.0%、当該層 40.4%）、『経営に余裕のあるうちに中止』（全体 19.8%、当該層 33.1%）の割合がそれぞれ高い値を示した。

このような傾向は北海道・都府県別にみてもおおむね同様にみられるが、経営内容が「普通より優れている（やや良い+良い）」層に関して、北海道では『病気・ケガ・災害等』（50.0%）が『後継者不在・経営主高齢化』（46.7%）を上回っているのに対して、都府県では逆に『後継者不在・経営主高齢化』（61.3%）が『病気・ケガ・災害等』（37.7%）を上回っていることが注目される。

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
		主後継者不在・経営 高年齢化	等病 気、ケガ、災害	が環境問題への対応 困難	方他品目への転換の 魅力的	不負債問題で経営が 不可	に乳牛の継続病・事故 よりの	内営に中止余裕がある	わから ない	そ の 他	
【全国】											
全 体	786	48.0	29.0	5.3	18.3	10.6	4.5	19.8	1.3	6.1	0.4
普通より劣る	266	33.5	24.1	6.4	17.3	30.1	9.4	8.6	2.3	7.1	0.4
普通	383	54.6	28.5	5.2	19.6	0.5	2.1	23.0	0.8	5.2	0.3
普通より優れる	136	58.1	40.4	3.7	16.9	0.7	1.5	33.1	0.7	6.6	-
【北海道】											
全 体	113	35.4	29.2	3.5	15.9	20.4	2.7	23.0	0.9	8.0	0.9
普通より劣る	46	13.0	23.9	6.5	10.9	45.7	4.3	15.2	2.2	10.9	2.2
普通	37	54.1	18.9	2.7	24.3	2.7	2.7	27.0	-	5.4	-
普通より優れる	30	46.7	50.0	-	13.3	3.3	-	30.0	-	6.7	-
【都府県】											
全 体	673	50.1	29.0	5.6	18.7	8.9	4.8	19.3	1.3	5.8	0.3
普通より劣る	220	37.7	24.1	6.4	18.6	26.8	10.5	7.3	2.3	6.4	-
普通	346	54.6	29.5	5.5	19.1	0.3	2.0	22.5	0.9	5.2	0.3
普通より優れる	106	61.3	37.7	4.7	17.9	-	1.9	34.0	0.9	6.6	-

(注) 「普通より劣る」=『悪い』+『やや悪い』、「普通より優れる」=『やや良い』+『良い』

#### <参考4> 経産牛飼養規模別にみた酪農経営中止理由

酪農経営の中止理由を、出荷停止時の経産牛飼養規模別にみると以下のような特徴がみられた。

『負債問題』を中止理由とする割合が飼養規模の大きい層ほど高いという傾向は、北海道と都府県に共通して認められたが、多くの中止理由について北海道と都府県では異なった傾向がみられた。『後継者不在・経営主高齢化』の割合は、都府県では飼養規模の小さい層ほど高率であったが、北海道では「21～50頭」層で特に高率であった。また、『他品目への転換』の割合は都府県では「21～30頭」層が高率であるのに対して、北海道では「20頭以下」層が高率であり、『環境問題』の割合は都府県では飼養規模の大きい層ほど高いのに対して、北海道では飼養規模の小さい層ほど高い値を示している。

なお、『経営に余裕のあるうちに中止』の割合に関しては、都府県では「31～50頭」層で特に高く、「51頭以上」層になると激減するという傾向がみられた。ただし、北海道に関しては、飼養規模と『経営に余裕のあるうちに中止』の割合との間に明瞭な傾向は認められなかった。

	生乳出荷停止酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
		主後継者不在・経営高齢化	等病気、ケガ、災害	が環境問題への対応困難	他が魅力的な転換の	負債問題で経営が不可能化	に乳牛の疾病・事故による継続困難	内に経営に余裕がある	わからない	その他	
<b>【全国】</b>											
全体	786	48.0	29.0	5.3	18.3	10.6	4.5	19.8	1.3	6.1	0.4
10頭以下	270	63.0	20.4	4.8	19.6	4.8	6.3	17.4	1.9	4.4	0.4
11～20頭	235	43.4	33.2	4.7	18.7	8.1	4.7	20.4	1.3	7.2	0.4
21～30頭	135	43.7	31.1	6.7	20.0	16.3	2.2	23.0	-	5.2	-
31～50頭	103	33.0	36.9	6.8	15.5	15.5	1.9	20.4	1.0	7.8	1.0
51頭以上	37	29.7	27.0	5.4	8.1	35.1	5.4	18.9	2.7	10.8	-
無回答	6	16.7	83.3	-	16.7	-	-	33.3	-	-	-
<b>【北海道】</b>											
全体	113	35.4	29.2	3.5	15.9	20.4	2.7	23.0	0.9	8.0	0.9
10頭以下	8	25.0	-	12.5	37.5	-	-	25.0	-	12.5	-
11～20頭	11	27.3	27.3	9.1	45.5	9.1	9.1	18.2	-	-	-
21～30頭	28	42.9	25.0	3.6	14.3	17.9	-	28.6	-	7.1	-
31～50頭	45	37.8	33.3	2.2	11.1	24.4	2.2	17.8	-	8.9	2.2
51頭以上	18	33.3	33.3	-	-	33.3	5.6	27.8	5.6	11.1	-
無回答	3	-	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-
<b>【都府県】</b>											
全体	673	50.1	29.0	5.6	18.7	8.9	4.8	19.3	1.3	5.8	0.3
10頭以下	262	64.1	21.0	4.6	19.1	5.0	6.5	17.2	1.9	4.2	0.4
11～20頭	224	44.2	33.5	4.5	17.4	8.0	4.5	20.5	1.3	7.6	0.4
21～30頭	107	43.9	32.7	7.5	21.5	15.9	2.8	21.5	-	4.7	-
31～50頭	58	29.3	39.7	10.3	19.0	8.6	1.7	22.4	1.7	6.9	-
51頭以上	19	26.3	21.1	10.5	15.8	36.8	5.3	10.5	-	10.5	-
無回答	3	33.3	100.0	-	-	-	-	33.3	-	-	-

(5) 負債の原因

「負債問題で酪農経営を中止」した経営について、負債の主な原因を調べると、全国的には『経営者能力の不足』が78.3%と圧倒的に多く、『機械や設備の過剰投資』(4.8%)や『農業経営以外の原因』(8.4%)等の原因はわずかであった。

北海道・都府県別にみても、これとほぼ同様の結果であったが、『施設や機械の過剰投資』(北海道 8.7%、都府県 3.3%)は北海道、『農業経営以外の原因』(北海道 4.3%、都府県 10.0%)は都府県がわずかながら上回った。

問1 (5) 【負債問題による酪農経営中止農家限定】 負債の主な理由<単一回答>

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	無回答
		る経営者能力の不足による	不振に資する施設や機械の過剰投資	の酪農以外の農業経営	農業経営以外の原因	わからない	その他	
全 国	83	78.3	4.8	-	8.4	-	6.0	2.4
北 海 道	23	87.0	8.7	-	4.3	-	-	-
都 府 県 計	60	75.0	3.3	-	10.0	-	8.3	3.3
20年度調査全体	122	63.9	15.6	1.6	7.4	2.5	4.1	4.9

## 2 生乳出荷停止時の経営規模

### (1) 年間出荷乳量

全国的にみると、生乳出荷停止経営の67.9%が『150トン未満』、20.4%が『150～300トン未満』、9.4%が『300トン以上』であった。

北海道・都府県別にみると、都府県では出荷停止経営の74.8%が『150トン未満』であったのに対して、北海道では『150トン以上』の経営が出荷停止酪経営の68.8%に及んでおり、『300トン以上』に限ってみると都府県の5.3%に対して北海道は32.8%であった。

問2 生乳出荷停止時点の年間生乳出荷量<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	無回答
		25t未満	25t未満	50t未満	75t未満	100t未満	150t未満	200t未満	300t未満	400t未満	500t未満	600t未満	700t未満	800t未満	900t未満	1000t以上	
全 国	848	14.2	15.1	12.7	10.0	15.9	9.1	11.3	5.3	2.4	0.8	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	2.2
北 海 道	125	2.4	1.6	5.6	6.4	12.8	8.0	28.0	21.6	7.2	2.4	0.8	0.8	-	-	-	2.4
都 府 県 計	723	16.2	17.4	14.0	10.7	16.5	9.3	8.4	2.5	1.5	0.6	0.1	-	0.1	0.1	0.4	2.2
20年度調査全体	1,077	14.9	15.2	11.7	11.5	16.4	9.7	10.3	5.9	1.5	0.9	0.6	0.4	-	0.2	0.6	0.2

### <参考> 年間出荷乳量階層別にみた生乳出荷停止経営の累積構成比

生乳出荷停止時の年間出荷量階層別に小規模経営からの累積構成比を求め、これを北海道・都府県間で比較すると以下のような特徴がみられる。

年間出荷乳量200トン未満までは、全階層で都府県の比率が北海道の比率を上回っているために、規模が高まる毎に両地域間の累積構成比の差は拡大し、『200トン未満』における出荷停止経営の割合は北海道(36.8%)が都府県(84.1%)を47.3ポイント下回った。

そして、年間出荷乳量が『200トン』を超えると、北海道の比率が都府県の比率をおおむね上回るようになり、規模が高まる毎に両地域間の累積構成比の差は縮小して行くという傾向がみられた。因みに、『400トン未満』に含まれる出荷停止経営の割合でみると、北海道86.4%、都府県95.0%と、その差は8.6ポイントに縮小している。

このことから、北海道は都府県に比べて、生乳出荷規模の大きい経営の出荷停止割合が非常に多いといえる。

<累積表> 生乳出荷停止時点における年間生乳出荷量の累積構成比

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	無回答
		25t未満	25t未満	50t未満	75t未満	100t未満	150t未満	200t未満	300t未満	400t未満	500t未満	600t未満	700t未満	800t未満	900t未満	1000t以上	
全 国	848	14.2	29.3	42.0	52.0	67.9	77.0	88.4	93.7	96.1	96.9	97.1	97.2	97.3	97.4	97.8	100.0
北 海 道	125	2.4	4.0	9.6	16.0	28.8	36.8	64.8	86.4	93.6	96.0	96.8	97.6	97.6	97.6	97.6	100.0
都 府 県 計	723	16.2	33.6	47.6	58.3	74.8	84.1	92.5	95.0	96.5	97.1	97.2	97.2	97.3	97.4	97.8	100.0
20年度調査全体	1,077	14.9	30.1	41.8	53.3	69.7	79.4	89.7	95.6	97.1	98.0	98.6	99.0	99.0	99.2	99.8	100.0

## (2) 乳用牛（経産牛）飼養頭数

生乳出荷停止時の経産牛飼養頭数を全国的にみると、63.3%が『20頭以下』、30.5%が『21～50頭』、5.2%が『51頭以上』であった。

北海道・都府県別には、都府県では出荷停止経営の71.7%が『20頭以下』であったが、北海道では『21頭以上』の経営が出荷停止酪農家の82.4%を占めており、『51頭以上』に限ってみると都府県の3.0%に対して北海道は17.6%であった。

問3(1) 生乳出荷停止時点の経産牛飼養頭数<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
		10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51～75頭	76～100頭	101～150頭	151頭以上	
全 国	848	33.5	29.8	17.2	13.3	3.7	0.9	0.4	0.2	0.9
北 海 道	125	6.4	8.8	25.6	39.2	16.0	1.6	-	-	2.4
都 府 県 計	723	38.2	33.5	15.8	8.9	1.5	0.8	0.4	0.3	0.7
20年度調査全体	1,077	33.7	31.0	17.7	12.4	2.9	1.0	0.6	0.4	0.2

## (3) 生乳出荷停止時の牛舎規模

全国的にみると、生乳出荷停止時の牛舎規模は69.3%が『30頭以下』、23.3%が『31～50頭』、6.7%が『51頭以上』であった。

これを北海道・都府県別にみると、都府県では出荷停止経営の75.9%が『30頭以下』の規模であったが、北海道では『31頭以上』の規模の経営が67.2%を占めており、『51頭以上』規模に限ってみると都府県の4.2%に対して北海道は21.6%であった。

問3(2) 生乳出荷停止時点の牛舎規模<単一回答>

[単位：戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
		10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51～75頭	76～100頭	101～150頭	151頭以上	
全 国	848	17.5	24.8	27.0	23.3	4.5	0.9	0.9	0.4	0.7
北 海 道	125	4.0	8.0	19.2	45.6	16.8	2.4	2.4	-	1.6
都 府 県 計	723	19.8	27.7	28.4	19.5	2.4	0.7	0.7	0.4	0.6
20年度調査全体	1,077	13.6	27.1	27.2	22.6	6.1	1.5	0.6	0.6	0.6

## <参考> 経産牛飼養頭数規模別にみた牛舎規模

生乳出荷停止時の経産牛飼養規模別に経産牛舎の規模分布をみると以下のような特徴がみられた。

北海道と都府県を問わず、いずれの飼養規模層でも飼養規模と牛舎規模がほぼ同規模であった経営が最も高い割合を占めたが、飼養規模よりも畜舎規模の方が大きかった経営も比較的多くみられた。特に飼養規模『30頭以下』の層では、牛舎規模の方が飼養規模よりも1階層上位であった経営が、北海道では38%～46%、都府県では31%～38%を占めており、生乳出荷の停止時には牛舎の収容能力に満たない頭数しか飼養していなかった経営が著しく多くみられた。

なお、都府県については、飼養規模『20頭以下』の層で、牛舎規模が飼養規模よりも2階層上位であった経営も14%～15%を占めた。

<クロス集計表> 経産牛飼養規模別にみた牛舎規模

[単位：戸、%]

	農 家 生 乳 出 荷 停 止 酪 数	1	2	3	4	5	6	7	8	無 回 答
		10 頭 以 下	11 ～ 20 頭	21 ～ 30 頭	31 ～ 50 頭	51 ～ 75 頭	76 ～ 100 頭	101 ～ 150 頭	151 頭 以 上	
<b>【全国】</b>										
全 体	848	17.5	24.8	27.0	23.3	4.5	0.9	0.9	0.4	0.7
10 頭 以 下	284	47.9	31.7	14.1	6.0	0.4	-	-	-	-
11 ～ 20 頭	253	2.8	45.8	37.9	13.0	0.4	-	-	-	-
21 ～ 30 頭	146	1.4	-	62.3	32.9	3.4	-	-	-	-
31 ～ 50 頭	113	1.8	0.9	0.9	85.0	8.8	1.8	-	-	0.9
51 頭 以 上	44	2.3	4.5	-	6.8	45.5	13.6	18.2	6.8	2.3
無 回 答	8	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	50.0
<b>【北海道】</b>										
全 体	125	4.0	8.0	19.2	45.6	16.8	2.4	2.4	-	1.6
10 頭 以 下	8	62.5	37.5	-	-	-	-	-	-	-
11 ～ 20 頭	11	-	54.5	45.5	-	-	-	-	-	-
21 ～ 30 頭	32	-	-	56.3	40.6	3.1	-	-	-	-
31 ～ 50 頭	49	-	-	-	83.7	14.3	-	-	-	2.0
51 頭 以 上	22	-	-	-	13.6	54.5	13.6	13.6	-	4.5
無 回 答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
<b>【都府県】</b>										
全 体	723	19.8	27.7	28.4	19.5	2.4	0.7	0.7	0.4	0.6
10 頭 以 下	276	47.5	31.5	14.5	6.2	0.4	-	-	-	-
11 ～ 20 頭	242	2.9	45.5	37.6	13.6	0.4	-	-	-	-
21 ～ 30 頭	114	1.8	-	64.0	30.7	3.5	-	-	-	-
31 ～ 50 頭	64	3.1	1.6	1.6	85.9	4.7	3.1	-	-	-
51 頭 以 上	22	4.5	9.1	-	-	36.4	13.6	22.7	13.6	-
無 回 答	5	-	-	-	20.0	-	-	-	-	80.0

### 3 経営資産の処分方法

#### (1) 乳用牛の処分方法

生乳出荷停止経営の乳用牛の処分方法としては、『他の酪農家に販売』(76.5%)と『廃用牛として出荷』(61.9%)が圧倒的に多くあげられた。

但し、北海道では『廃用牛として出荷』するケース(北海道 48.0%、都府県 64.3%)が都府県より少なく、都府県を 16.3 ポイント下回った。

問4 生乳出荷停止酪農家の乳牛の取り扱い<複数回答>

[単位:戸、%]

	酪農家数	1	2	3	4	5	無回答
		他の酪農家に販売	他の酪農家に貸与	廃用牛として出荷	その他	わからない	
全 国	848	76.5	1.1	61.9	5.8	3.7	0.7
北 海 道	125	83.2	-	48.0	12.8	2.4	0.8
都 府 県 計	723	75.4	1.2	64.3	4.6	3.9	0.7
20年度調査全体	1,077	77.8	0.9	68.2	8.2	1.2	1.1

#### (2) 機械の処分方法

生乳出荷停止経営における機械の処分方法を全国的にみると、『そのまま放置されている』(49.2%)が最も多く、次いで『他の農家に販売』(36.7%)が多くあげられた。

但し、機械の処分方法については北海道・都府県間の違いが大きく、北海道では都府県に比べて『他の農家に販売』(北海道 51.2%、都府県 34.2%)が著しく多く、『そのまま放置されている』(北海道 29.6%、都府県 52.6%)が著しく少なかった。また、北海道では『その他(の取り扱い)』(北海道 25.6%、都府県 6.2%)が多くあげられており、北海道における廃業後の機械の多様な扱われ方が窺われた。

問5 生乳出荷停止酪農家の機械の取り扱い<複数回答>

[単位:戸、%]

	生乳出荷停止酪農家数	1	2	3	4	5	6	無回答
		他の農家に販売	他の農家に貸与	廃棄処分した	てそののまま放置される	その他	わからない	
全 国	848	36.7	3.9	17.1	49.2	9.1	13.2	0.7
北 海 道	125	51.2	3.2	14.4	29.6	25.6	4.0	0.8
都 府 県 計	723	34.2	4.0	17.6	52.6	6.2	14.8	0.7

### Ⅲ 酪農経営の動向に関する分析



## 1 経営動向をみる際の留意点

以下の分析で用いたデータは、酪農経営の継続農家に関する最近の経営推移を把握するために「平成19年度・21年度の両年度に調査票が回収された酪農家」を対象として、平成19・21両年度の回答状況を接続し、再集計したものである。

したがって、ここに掲載されている平成21年度の集計値には、本年度調査で回収されても19年度調査では回収されなかった酪農家の回答は含まれていないので、前述の「Ⅱ 調査結果」に掲載された集計値（19年度調査で回収されなくても本年度調査で回収された経営は集計対象となっている）とは合致しないので留意して頂きたい。

## 2 分析結果

### （1）酪農経営の担い手

#### ア 経営主年齢の変化

全国的にみると、平成19年度から21年度にかけて、酪農経営継続農家における平均経営主年齢は、54.2歳から55.7歳へと1.5歳上昇した。

また、経営主年齢の分布の推移をみると、平成19年度の経営主年齢が『50代』以下の階層では大部分の経営が「同じ年齢階層」か「1つ上の年齢階層」に移行しているのに対して、平成19年度の経営主年齢が『60代』の階層では『30代』（5.9%）、『70代以上』の階層では『40代』（7.4%）、『50代』（7.4%）への若返りが若干みられる。

なお、北海道・都府県別にみると、北海道では都府県に比べて、『60代』から『70代以上』へと高齢化する比率（北海道4.8%、都府県13.9%）が低く、『30代』・『40代』へと若返る比率（北海道16.7%、都府県7.8%）が高いことが注目される。

<1-1> 経営主年齢（平成19年度×平成21年度）

[全国]

[単位：戸、%、歳]

		21年度							別19年度階層（歳）
		酪農家数	代10・20	30代	40代	50代	60代	70代以上	
19年度	全体	1,942	0.4	5.9	19.9	39.5	25.7	8.5	54.2
	10・20代	13	23.1	53.8	15.4	-	7.7	-	26.8
	30代	132	-	55.3	37.9	1.5	3.0	2.3	35.9
	40代	437	-	0.7	71.2	26.5	0.2	1.4	45.2
	50代	865	0.5	1.0	0.5	73.8	23.5	0.8	55.0
	60代	374	-	5.9	2.9	0.5	77.8	12.8	63.6
	70代以上	121	-	0.8	7.4	7.4	-	84.3	74.0
21年度階層別平均（歳）		55.7	27.3	35.3	45.3	55.2	63.2	74.1	

〔北海道〕

〔単位：戸、%、歳〕

		21年度							別19年度階層平均（歳）
		酪農家数	代10・20	30代	40代	50代	60代	70代以上	
19年度	全体	479	0.6	9.8	27.3	46.3	14.8	1.0	50.1
	10・20代	6	50.0	33.3	16.7	-	-	-	27.2
	30代	55	-	58.2	40.0	1.8	-	-	35.8
	40代	142	-	0.7	75.4	23.9	-	-	44.9
	50代	231	-	2.2	0.4	80.5	16.9	-	54.7
	60代	42	-	16.7	-	2.4	76.2	4.8	62.4
	70代以上	3	-	-	-	-	-	100.0	75.3
21年度階層別平均（歳）		51.5	28.3	35.1	45.2	55.2	62.1	74.4	

〔都府県〕

〔単位：戸、%、歳〕

		21年度							別19年度階層平均（歳）
		酪農家数	代10・20	30代	40代	50代	60代	70代以上	
19年度	全体	1,463	0.3	4.6	17.5	37.3	29.3	11.0	55.5
	10・20代	7	-	71.4	14.3	-	14.3	-	26.5
	30代	77	-	53.2	36.4	1.3	5.2	3.9	35.9
	40代	295	-	0.7	69.2	27.8	0.3	2.0	45.3
	50代	634	0.6	0.6	0.5	71.3	25.9	1.1	55.1
	60代	332	-	4.5	3.3	0.3	78.0	13.9	63.7
	70代以上	118	-	0.8	7.6	7.6	-	83.9	73.9
21年度階層別平均（歳）		57.0	26.5	35.4	45.4	55.2	63.3	74.1	

## イ 酪農後継者確保状況の変化

全国的にみると、平成19年度時点では酪農後継者が『既定（決まっている）』であった経営のうち、13.1%が『未定（決まっていない）』（8.5%）または『不在（後継者はいない）』（4.6%）へと変化した。また、平成19年度時点では酪農後継者が『未定』であった経営のうち、10.9%が『既定』へ、25.4%が『不在』へと移行した。

北海道・都府県別にみると、北海道では都府県に比べて、①『既定』から『未定』『不在』へと移行する比率（北海道4.4%、都府県16.5%）が低いこと、②『未定』から『既定』へと移行する比率（北海道14.2%、都府県10.0%）がやや高く、『不在』へと移行する比率（北海道17.2%、都府県27.9%）が低いことが等が注目される。

<1-2> 後継者の有無（平成19年度×平成21年度）

〔全国〕

〔単位：戸、%〕

		21年度			
		酪農家数	ま後継者がいる決	ま後継者がいない決	い後継者はいない
19年度	全体	1,563	32.3	33.7	34.0
	後継者が決まっている	496	86.9	8.5	4.6
	後継者は決まっていない	586	10.9	63.7	25.4
	後継者はいない	481	2.1	23.3	74.6

[北海道] [単位：戸、%]

		21年度			
		酪農家数	ま後つ継て者がいる決	ま後つ継て者がいない決	い後継者がいない
19年度	全体	341	44.3	31.1	24.6
	後継者が決まっている	137	95.6	2.2	2.2
	後継者は決まっていない	134	14.2	68.7	17.2
	後継者がいない	70	1.4	15.7	82.9

[都府県] [単位：戸、%]

		21年度			
		酪農家数	ま後つ継て者がいる決	ま後つ継て者がいない決	い後継者がいない
19年度	全体	1,222	29.0	34.5	36.6
	後継者が決まっている	359	83.6	10.9	5.6
	後継者は決まっていない	452	10.0	62.2	27.9
	後継者がいない	411	2.2	24.6	73.2

## (2) 生乳生産

### ア 経産牛飼養頭数の変化

全国的にみると、平成19年度から21年度にかけて、酪農経営継続農家における1戸当たり平均経産牛飼養頭数は、41.5頭から、41.8頭へとごくわずかに増加するに止まった。

また、北海道・都府県別にみると、北海道では大部分の階層で平成19年度から21年度にかけて増頭した経営が減頭した経営を大きく上回っており、1戸当たり平均経産牛飼養頭数は64.1頭から66.7頭へと2.6頭増加した。一方、都府県においては、逆に大部分の階層で平成19年度から21年度にかけて減頭した経営が増頭した経営を大きく上回っており、1戸当たり平均経産牛飼養頭数は34.2頭から33.7頭へと0.5頭減少した。

<2-1> 経産牛飼養頭数（平成19年度×平成21年度）  
[全国]

[単位：戸、%、頭]

		21年度											平19年度階層別平均(頭)
		酪農家数	5頭未満	10頭未満	20頭未満	30頭未満	40頭未満	50頭未満	75頭未満	100頭未満	150頭未満	150頭以上	
19年度	全体	1,967	1.7	7.1	15.7	18.6	17.0	13.3	15.9	5.6	3.2	1.9	41.5
	5頭未満	23	60.9	34.8	4.3	-	-	-	-	-	-	-	4.1
	10頭未満	119	15.1	72.3	12.6	-	-	-	-	-	-	-	7.2
	20頭未満	296	-	15.5	75.3	8.8	0.3	-	-	-	-	-	14.8
	30頭未満	364	-	-	18.1	70.6	10.7	0.3	0.3	-	-	-	24.5
	40頭未満	378	0.3	-	0.8	21.2	62.7	13.8	1.3	-	-	-	34.0
	50頭未満	278	0.4	-	-	0.7	19.8	60.1	18.0	-	1.1	-	43.7
	75頭未満	315	-	-	0.3	-	0.6	13.0	77.5	8.3	0.3	-	59.3
	100頭未満	98	-	-	-	-	-	-	13.3	76.5	10.2	-	84.9
	150頭未満	62	-	-	-	-	-	-	-	16.1	71.0	12.9	117.6
	150頭以上	34	-	-	-	-	-	-	-	-	11.8	88.2	239.2
21年度階層別平均(頭)		41.8	2.9	7.0	14.5	24.3	33.8	43.6	58.7	85.3	118.9	255.2	

[北海道]

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	21年度										平均9年度階層別(頭)	
		5頭未満	10頭未満	20頭未満	30頭未満	40頭未満	50頭未満	75頭未満	100頭未満	150頭未満	150頭以上		
19年度	全体	482	0.2	0.6	2.1	5.6	12.9	18.0	33.4	13.5	8.5	5.2	64.1
	5頭未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	15.0
	10頭未満	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	7.5
	20頭未満	12	-	8.3	66.7	16.7	8.3	-	-	-	-	-	15.3
	30頭未満	23	-	-	4.3	73.9	21.7	-	-	-	-	-	25.9
	40頭未満	72	-	-	-	9.7	63.9	20.8	5.6	-	-	-	34.4
	50頭未満	100	1.0	-	-	1.0	10.0	59.0	26.0	-	3.0	-	43.7
	75頭未満	157	-	-	-	-	-	8.3	80.9	10.8	-	-	59.9
	100頭未満	56	-	-	-	-	-	-	7.1	76.8	16.1	-	85.3
	150頭未満	40	-	-	-	-	-	-	-	12.5	70.0	17.5	118.2
	150頭以上	19	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	94.7	227.3
	21年度階層別平均(頭)	66.7	-	7.7	15.8	25.0	34.5	43.9	59.3	85.1	117.3	219.9	

[都府県]

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	21年度										平均9年度階層別(頭)	
		5頭未満	10頭未満	20頭未満	30頭未満	40頭未満	50頭未満	75頭未満	100頭未満	150頭未満	150頭以上		
19年度	全体	1,485	2.2	9.2	20.1	22.8	18.3	11.7	10.2	3.1	1.4	0.9	34.2
	5頭未満	22	63.6	36.4	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6
	10頭未満	117	15.4	71.8	12.8	-	-	-	-	-	-	-	7.2
	20頭未満	284	-	15.8	75.7	8.5	-	-	-	-	-	-	14.8
	30頭未満	341	-	-	19.1	70.4	10.0	0.3	0.3	-	-	-	24.4
	40頭未満	306	0.3	-	1.0	23.9	62.4	12.1	0.3	-	-	-	33.9
	50頭未満	178	-	-	-	0.6	25.3	60.7	13.5	-	-	-	43.7
	75頭未満	158	-	-	0.6	-	1.3	17.7	74.1	5.7	0.6	-	58.7
	100頭未満	42	-	-	-	-	-	-	21.4	76.2	2.4	-	84.3
	150頭未満	22	-	-	-	-	-	-	-	22.7	72.7	4.5	116.5
	150頭以上	15	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	80.0	254.2
	21年度階層別平均(頭)	33.7	3.0	7.0	14.4	24.2	33.6	43.5	58.2	85.7	122.2	318.1	

### イ 経産牛の廃用時平均産次数の変化

平成19年度から21年度にかけての平均産次数の分布の推移をみると、全国的には、平成19年度の平均産次数が『4産未満』の階層では産次数の高まった経営、『4産以上』の階層では産次数の低下した経営の比率が高く、全戸平均は4.0産から3.7産へと0.3産低下した。

こうした状況は、北海道、都府県ともにほぼ同様である。

<2-2> 廃用時平均産次数(平成19年度×平成21年度)

[全国]

[単位：戸、%、産]

	酪農家数	21年度							平均9年度階層別(産)	
		2産未満	2~3産未満	3~4産未満	4~5産未満	5~6産未満	6~7産未満	7産以上		
19年度	全体	1,744	4.7	11.8	36.8	26.5	13.2	4.7	2.3	4.0
	2産未満	17	11.8	29.4	29.4	5.9	17.6	5.9	-	1.8
	2~3産未満	218	3.7	35.3	44.5	11.0	2.8	2.8	-	2.5
	3~4産未満	628	4.3	13.9	49.4	24.8	6.4	1.3	-	3.3
	4~5産未満	498	4.8	6.0	31.5	38.4	15.5	2.8	1.0	4.2
	5~6産未満	230	6.1	1.7	17.4	28.7	31.7	10.4	3.9	5.1
	6~7産未満	97	3.1	2.1	22.7	18.6	21.6	21.6	10.3	6.1
	7産以上	56	7.1	-	19.6	10.7	19.6	14.3	28.6	7.6
	21年度階層別平均(産)	3.7	0.1	2.5	3.3	4.2	5.1	6.1	7.6	

〔北海道〕

〔単位：戸、%、産〕

		21年度								平1 均9 年度 階層 別 (産)
		酪 農 家 数	2 産 未 満	2 〜 3 産 未 満	3 〜 4 産 未 満	4 〜 5 産 未 満	5 〜 6 産 未 満	6 〜 7 産 未 満	7 産 以 上	
1 9 年 度	全体	418	4.8	7.9	31.8	30.1	15.8	6.0	3.6	4.3
	2産未満	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	4.5
	2〜3産未満	39	2.6	41.0	35.9	17.9	2.6	-	-	2.5
	3〜4産未満	131	7.6	6.9	45.0	30.5	9.2	0.8	-	3.4
	4〜5産未満	113	1.8	4.4	31.9	39.8	18.6	3.5	-	4.2
	5〜6産未満	75	6.7	2.7	16.0	34.7	26.7	10.7	2.7	5.1
	6〜7産未満	39	2.6	2.6	17.9	17.9	17.9	20.5	20.5	6.1
	7産以上	19	-	-	26.3	5.3	26.3	15.8	26.3	7.6
21年度階層別平均(産)		4.0	0.1	2.5	3.4	4.2	5.2	6.1	7.6	

〔都府県〕

〔単位：戸、%、産〕

		21年度								平1 均9 年度 階層 別 (産)
		酪 農 家 数	2 産 未 満	2 〜 3 産 未 満	3 〜 4 産 未 満	4 〜 5 産 未 満	5 〜 6 産 未 満	6 〜 7 産 未 満	7 産 以 上	
1 9 年 度	全体	1,326	4.7	13.0	38.4	25.3	12.4	4.3	1.9	3.9
	2産未満	15	6.7	33.3	33.3	6.7	20.0	-	-	1.4
	2〜3産未満	179	3.9	34.1	46.4	9.5	2.8	3.4	-	2.5
	3〜4産未満	497	3.4	15.7	50.5	23.3	5.6	1.4	-	3.3
	4〜5産未満	385	5.7	6.5	31.4	37.9	14.5	2.6	1.3	4.2
	5〜6産未満	155	5.8	1.3	18.1	25.8	34.2	10.3	4.5	5.1
	6〜7産未満	58	3.4	1.7	25.9	19.0	24.1	22.4	3.4	6.1
	7産以上	37	10.8	-	16.2	13.5	16.2	13.5	29.7	7.7
21年度階層別平均(産)		3.7	0.2	2.5	3.3	4.2	5.1	6.1	7.6	

## ウ 年間出荷乳量の変化

平成19年度から21年度にかけての年間出荷乳量の分布の推移を全国的にみると、19年度の出荷規模が『50トン～300トン未満』及び『700トン以上』の階層では減量経営の比率が高いものの、『50トン未満』及び『300トン～700トン未満』の階層では増量経営が減量経営を上回っており、酪農経営継続農家における1戸当たり平均年間出荷乳量は328.6トンから331.9トンへと3.3トン増加した。

北海道・都府県別には、両地域が対照的な変化傾向を示した。北海道においては、平成19年度から21年度にかけて減量した経営が増量した経営を上回ったのは、19年度の出荷規模が『100トン～150トン未満』及び『700トン以上』の階層のみであり、1戸当たり平均年間出荷乳量は483.0トンから516.7トンへと33.7トン増加した。一方、都府県においては、19年度の出荷規模が『50トン未満』『400トン～550トン未満』『600～700トン未満』の階層では増量経営の比率が高いものの、『50トン～400トン未満』『550トン～600トン未満』『700トン以上』の階層では減量経営が増量経営を上回っており、1戸当たり平均年間出荷乳量は277.9トンから271.4トンへと6.5トン減少した。

< 2-3 > 年間出荷乳量（平成19年度×平成21年度）

〔全国〕

〔単位：戸、%、トン〕

	酪農家数	21年度														均19年度階層別平均（トン）
		50トン未満	100トン未満	150トン未満	200トン未満	250トン未満	300トン未満	350トン未満	400トン未満	450トン未満	500トン未満	550トン未満	600トン未満	700トン未満	700トン以上	
全体	1,902	5.9	9.4	11.8	9.6	12.4	9.7	9.3	6.6	5.5	3.0	3.4	2.5	2.6	8.4	328.6
50トン未満	85	82.4	12.9	3.5	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.2
100トン未満	184	19.6	65.8	13.0	1.1	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	75.0
150トン未満	197	1.0	20.3	67.5	8.1	2.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	122.3
200トン未満	213	0.9	2.8	23.5	49.8	21.1	1.4	-	-	-	-	-	-	-	0.5	173.9
250トン未満	247	0.4	-	4.5	21.5	51.4	18.6	2.4	-	0.8	-	-	-	-	0.4	224.4
300トン未満	202	-	-	1.0	1.0	25.2	46.0	18.8	5.0	2.5	-	0.5	-	-	-	273.3
350トン未満	189	0.5	-	-	1.1	2.1	18.0	52.9	17.5	6.3	0.5	0.5	0.5	-	-	322.0
400トン未満	139	-	-	0.7	-	1.4	2.9	19.4	45.3	20.9	5.8	1.4	1.4	0.7	-	373.7
450トン未満	92	-	-	-	-	-	3.3	1.1	16.3	53.3	15.2	7.6	3.3	-	-	421.2
500トン未満	58	-	-	-	1.7	1.7	1.7	3.4	1.7	10.3	41.4	24.1	6.9	5.2	1.7	471.1
550トン未満	59	-	1.7	-	-	1.7	-	1.7	3.4	-	11.9	47.5	25.4	3.4	3.4	519.2
600トン未満	39	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	5.1	25.6	33.3	30.8	2.6	570.2
700トン未満	56	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	3.6	-	14.3	42.9	37.5	647.7
700トン以上	142	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	0.7	4.9	93.0	1193.8
21年度階層別平均（トン）	331.9	31.3	73.4	122.0	173.4	222.6	271.9	321.5	369.4	417.1	472.1	521.4	570.7	645.7	1194.7	

〔北海道〕

〔単位：戸、%、トン〕

	酪農家数	21年度														均19年度階層別平均（トン）
		50トン未満	100トン未満	150トン未満	200トン未満	250トン未満	300トン未満	350トン未満	400トン未満	450トン未満	500トン未満	550トン未満	600トン未満	700トン未満	700トン以上	
全体	472	0.2	1.7	3.6	2.8	10.0	10.0	10.6	9.1	9.5	6.1	6.1	4.7	5.5	20.1	483.0
50トン未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.0
100トン未満	5	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.0
150トン未満	15	-	20.0	73.3	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121.7
200トン未満	23	-	-	13.0	47.8	34.8	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	178.7
250トン未満	50	-	-	6.0	4.0	60.0	24.0	4.0	-	-	-	-	-	-	2.0	226.2
300トン未満	50	-	-	-	-	14.0	56.0	20.0	8.0	2.0	-	-	-	-	-	273.3
350トン未満	55	-	-	-	-	1.8	9.1	56.4	18.2	12.7	-	1.8	-	-	-	324.2
400トン未満	49	-	-	-	-	2.0	12.2	42.9	28.6	8.2	4.1	-	-	2.0	-	372.7
450トン未満	39	-	-	-	-	2.6	-	20.5	53.8	12.8	7.7	2.6	-	-	-	419.4
500トン未満	26	-	-	-	-	-	-	3.8	-	7.7	53.8	23.1	7.7	3.8	-	469.2
550トン未満	27	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	37.0	29.6	7.4	3.7	-	521.4
600トン未満	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	38.1	28.6	4.8	-	570.0
700トン未満	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	46.7	43.3	-	645.1
700トン以上	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	-	2.5	96.3	1071.3
21年度階層別平均（トン）	516.7	33.0	81.6	127.3	184.7	222.6	272.5	324.3	370.0	417.9	473.4	524.4	568.8	646.1	1116.4	

〔都府県〕

〔単位：戸、%、トン〕

	酪農家数	21年度														均19年度階層別平均（トン）
		50トン未満	100トン未満	150トン未満	200トン未満	250トン未満	300トン未満	350トン未満	400トン未満	450トン未満	500トン未満	550トン未満	600トン未満	700トン未満	700トン以上	
全体	1,430	7.8	12.0	14.5	11.9	13.2	9.7	8.8	5.7	4.1	2.0	2.5	1.7	1.6	4.5	277.9
50トン未満	84	82.1	13.1	3.6	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.2
100トン未満	179	20.1	64.8	13.4	1.1	-	-	-	-	0.6	-	-	-	-	-	75.1
150トン未満	182	1.1	20.3	67.0	8.8	2.2	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	122.4
200トン未満	190	1.1	3.2	24.7	50.0	19.5	1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	173.3
250トン未満	197	0.5	-	4.1	25.9	49.2	17.3	2.0	-	1.0	-	-	-	-	-	223.9
300トン未満	152	-	-	1.3	1.3	28.9	42.8	18.4	3.9	2.6	-	0.7	-	-	-	273.3
350トン未満	134	0.7	-	-	1.5	2.2	21.6	51.5	17.2	3.7	0.7	-	0.7	-	-	321.1
400トン未満	90	-	-	1.1	-	2.2	3.3	23.3	46.7	16.7	4.4	-	2.2	-	-	374.2
450トン未満	53	-	-	-	-	-	3.8	1.9	13.2	52.8	17.0	7.5	3.8	-	-	422.5
500トン未満	32	-	-	-	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	12.5	31.3	25.0	6.3	6.3	3.1	472.7
550トン未満	32	-	3.1	-	-	3.1	-	3.1	6.3	-	3.1	56.3	21.9	-	3.1	517.3
600トン未満	18	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	11.1	22.2	27.8	33.3	-	570.5
700トン未満	26	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	7.7	-	19.2	38.5	30.8	650.5
700トン以上	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	1.6	8.2	88.5	1358.5
21年度階層別平均（トン）	271.4	31.3	73.0	121.6	172.5	222.6	271.7	320.4	369.1	416.4	470.7	518.9	572.4	645.2	1310.4	

### (3) 粗飼料の自給動向

#### ア 粗飼料の自給割合の変化

平成19年度から21年度にかけての粗飼料自給割合の分布の推移を全国段階で見ると、19年度の自給割合が『全量』であった階層を除くすべての階層で、自給割合が増加した経営が減少した経営を上回っており、粗飼料の自給割合向上への動きが窺われる。また、19年度の自給割合が『3～7割』の階層では、2階層上の階層にまで自給割合を高めた経営（『3～4割』15.0%、『5割』15.5%、『6～7割』12.8%）が比較的多くみられる。

ただし、都府県のみに限ってみれば、自給割合向上への動きはさほどでなく、平成19年度の自給割合が『5割以下』の階層では自給割合の増加した経営が減少した経営を上回っているものの、『6割以上』の階層では自給割合の減少した経営が増加した経営を上回っている。

< 3-1 > 粗飼料の自給割合（平成19年度×平成21年度）

[全国] [単位：戸、%]

		21年度							
		酪農家数	なし	1 ～ 2 割	3 ～ 4 割	5 割	6 ～ 7 割	8 ～ 9 割	全量
19年度	全体	1,902	14.4	16.5	14.6	7.4	9.8	12.8	24.5
	なし	315	64.1	23.8	4.1	0.6	0.6	1.9	4.8
	1～2割	325	8.3	55.4	23.1	4.9	3.1	2.8	2.5
	3～4割	266	4.5	10.9	41.4	20.3	15.0	5.6	2.3
	5割	148	2.7	5.4	22.3	20.3	27.0	15.5	6.8
	6～7割	180	1.7	3.9	12.2	13.3	33.3	22.8	12.8
	8～9割	218	2.8	4.6	5.0	4.1	11.0	39.0	33.5
	全量	450	4.4	1.1	3.1	1.1	2.2	14.4	73.6

[北海道] [単位：戸、%]

		21年度							
		酪農家数	なし	1 ～ 2 割	3 ～ 4 割	5 割	6 ～ 7 割	8 ～ 9 割	全量
19年度	全体	463	2.2	1.5	3.7	1.1	4.3	13.8	73.4
	なし	8	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	50.0
	1～2割	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	3～4割	3	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3
	5割	4	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0
	6～7割	28	7.1	3.6	3.6	3.6	21.4	14.3	46.4
	8～9割	70	1.4	2.9	5.7	1.4	8.6	22.9	57.1
	全量	348	1.7	0.6	2.9	0.9	1.7	11.8	80.5

[都府県] [単位：戸、%]

		21年度							
		酪農家数	なし	1 ～ 2 割	3 ～ 4 割	5 割	6 ～ 7 割	8 ～ 9 割	全量
19年度	全体	1,439	18.3	21.3	18.1	9.4	11.5	12.5	8.8
	なし	307	65.5	24.1	3.9	0.7	0.7	1.6	3.6
	1～2割	323	8.4	55.4	23.2	5.0	3.1	2.8	2.2
	3～4割	263	4.6	11.0	41.4	20.5	14.8	5.7	1.9
	5割	144	2.8	5.6	22.9	20.8	27.1	14.6	6.3
	6～7割	152	0.7	3.9	13.8	15.1	35.5	24.3	6.6
	8～9割	148	3.4	5.4	4.7	5.4	12.2	46.6	22.3
	全量	102	13.7	2.9	3.9	2.0	3.9	23.5	50.0

## イ 粗飼料自給意向の変化

全国的にみると、平成19年度時点で『増加意向（増やしたい）』を示した経営の46.1%が『現状維持意向（現状程度を維持する）』に移行してはいるものの、『現状維持意向』経営の15.7%が『増加意向』へ、『減少意向（減らしたい）』経営の74.1%が『現状維持意向』へと移っており、全体的に粗飼料の増産・維持に向けての意向が窺える。

このような傾向は、北海道、都府県を問わず見受けられるが、北海道は都府県に比べて『現状維持意向』から『増加意向』へと移行した割合（北海道26.6%、都府県11.2%）が高く、自給割合向上への意欲は都府県よりも北海道の方が強いといえる。

< 3-2 > 粗飼料自給の意向（平成19年度×平成21年度）

〔全国〕 [単位：戸、%]

		21年度			
		酪農家数	増やしたい	現状維持する程度を	減らしたい
19年度	全体	1,845	25.4	69.1	5.5
	増やしたい	505	53.5	46.1	0.4
	現状程度を維持する	1,255	15.7	78.0	6.3
	減らしたい	85	1.2	74.1	24.7

〔北海道〕 [単位：戸、%]

		21年度			
		酪農家数	増やしたい	現状維持する程度を	減らしたい
19年度	全体	471	32.3	65.2	2.5
	増やしたい	95	56.8	43.2	-
	現状程度を維持する	369	26.6	70.7	2.7
	減らしたい	7	-	71.4	28.6

〔都府県〕 [単位：戸、%]

		21年度			
		酪農家数	増やしたい	現状維持する程度を	減らしたい
19年度	全体	1,374	23.0	70.5	6.6
	増やしたい	410	52.7	46.8	0.5
	現状程度を維持する	886	11.2	81.0	7.8
	減らしたい	78	1.3	74.4	24.4

## （4）経営展開の方向性の変化

全国的にみると、平成19年度における『規模拡大意向（規模拡大して酪農を継続）』層及び『規模縮小意向（規模縮小して酪農を継続）』層から『現状維持意向（現状規模で酪農を継続）』層へと移行する経営（規模拡大→現状維持41.5%、規模縮小→現状維持39.0%）が多くみられた。また、19年度における『他部門への転換意向（酪農部門を止めて他部門へ転換）』層と『農

業中止意向（農業経営を中止）層には『展開方向未定（わからない）』に移行した経営（転換意向→展開方向未定 20.7%、農業経営中止→展開方向未定 29.0%）が少なくなく、経営展開の方向付けに苦慮している経営の多いことが窺える。

北海道・都府県別にみると、北海道において『規模縮小意向』層から『現状維持意向』層への移行率（北海道 50.0%、都府県 37.7%）が特に高い値を示した。

< 4 > 5年後の酪農経営（平成19年度×平成21年度）

〔全国〕

〔単位：戸、%〕

		21年度						
		酪農家数	続けて規模農拡大を大継し	酪現農状況を規模で	続けて規模農縮を小継し	へ止酪農転換他部門を	中農止業経営を	わからない
19年度	全体	1,947	12.9	55.1	6.6	5.1	4.8	15.6
	規模拡大して酪農を継続	306	50.0	41.5	1.3	-	-	7.2
	現状規模で酪農を継続	1,009	7.4	70.1	5.5	3.3	2.3	11.5
	規模縮小して酪農を継続	164	0.6	39.0	28.0	9.1	9.8	13.4
	酪農部門を止め他部門へ転換	58	1.7	15.5	3.4	43.1	15.5	20.7
	農業経営を中止	62	1.6	19.4	4.8	9.7	35.5	29.0
	わからない	348	5.7	44.0	5.5	5.7	6.6	32.5

〔北海道〕

〔単位：戸、%〕

		21年度						
		酪農家数	続けて規模農拡大を大継し	酪現農状況を規模で	続けて規模農縮を小継し	へ止酪農転換他部門を	中農止業経営を	わからない
19年度	全体	480	19.0	59.6	4.0	1.9	5.0	10.6
	規模拡大して酪農を継続	122	50.0	43.4	0.8	-	-	5.7
	現状規模で酪農を継続	261	10.3	72.8	3.8	2.3	1.9	8.8
	規模縮小して酪農を継続	18	-	50.0	22.2	-	22.2	5.6
	酪農部門を止め他部門へ転換	4	-	-	-	-	50.0	50.0
	農業経営を中止	13	-	15.4	7.7	7.7	53.8	15.4
	わからない	62	4.8	51.6	4.8	3.2	9.7	25.8

〔都府県〕

〔単位：戸、%〕

		21年度						
		酪農家数	続けて規模農拡大を大継し	酪現農状況を規模で	続けて規模農縮を小継し	へ止酪農転換他部門を	中農止業経営を	わからない
19年度	全体	1,467	10.9	53.6	7.5	6.1	4.7	17.2
	規模拡大して酪農を継続	184	50.0	40.2	1.6	-	-	8.2
	現状規模で酪農を継続	748	6.4	69.1	6.0	3.6	2.4	12.4
	規模縮小して酪農を継続	146	0.7	37.7	28.8	10.3	8.2	14.4
	酪農部門を止め他部門へ転換	54	1.9	16.7	3.7	46.3	13.0	18.5
	農業経営を中止	49	2.0	20.4	4.1	10.2	30.6	32.7
	わからない	286	5.9	42.3	5.6	6.3	5.9	33.9



## IV 酪農離脱農家の経営内容に関する分析



## 1 酪農離脱農家の経営内容をみる際の留意点

以下で用いる分析データは、酪農経営離脱農家の離脱以前における経営的特徴を探るために、「平成 21 年度経営離脱等酪農家調査」及び「平成 19 年度酪農全国基礎調査」の両調査で調査票が回収された農家を対象として、平成 21 年度における酪農離脱時の状況に関する回答と 19 年度における酪農経営の実態に関する回答を接続し、再集計することにより得たものである。

したがって、ここに掲載されている集計値には、本年度の経営離脱等酪農家調査で回収されても 19 年度の酪農全国基礎調査では回収されなかった農家の回答は含まれていないので、前述の「Ⅱ 調査結果」に掲載された集計値（平成 19 年度酪農全国基礎調査では回収されなくても 21 年度経営離脱等酪農家調査で回収された経営が集計に含まれている）とは合致しないので留意して頂きたい。

また、以下では前章（「Ⅲ 酪農経営の動向に関する分析」）のように過去から現在にかけてどう推移したかをみるのではなく、最近酪農を中止した経営はかつてどのような酪農経営を行っていたかを平成 19 年度まで遡って探ることを課題としている。このため、酪農中止時（平成 21 年度）の状況別に、かつて（平成 19 年度）の酪農経営の状況をみるという見方になるので留意して頂きたい。

## 2 分析結果

### （1）酪農経営離脱前の経営主交代の状況

該当戸数の少ない離脱時経営主年齢（21 年度）が『29 歳以下』の階層を除いて全国的な傾向をみると、離脱時（21 年度）の経営主年齢が『30～39 歳』の階層では、19 年度当時の経営主年齢が「60～69 歳」であった経営が 50.0%、『70～79 歳』であった経営が 14.3%を占め、離脱時（21 年度）の経営主年齢が『40～49 歳』の階層では 19 年度当時の経営主年齢が「70～79 歳」であった経営が 7.7%を占めており、経営主交代を行ってから非常に短期間のうちに離脱に至る経営も多少みられる。

北海道・都府県別には、都府県のみ限定してみても、上記の全国的傾向とほぼ同様の傾向が見受けられる。

< 1 > 21年度経営主年齢×19年度経営主年齢（酪農経営中止農家限定）

[全国]

[単位：戸、%]

		19年度									
		酪農家数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答
21年度	全 体	575	-	0.3	2.4	10.1	30.8	32.9	19.3	2.6	1.6
	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	30～39歳	14	-	7.1	28.6	-	-	50.0	14.3	-	-
	40～49歳	52	-	-	7.7	75.0	5.8	1.9	7.7	-	1.9
	50～59歳	146	-	-	-	9.6	82.2	4.8	2.7	-	0.7
	60～69歳	208	-	-	2.4	0.5	23.6	69.7	1.9	-	1.9
	70～79歳	135	-	-	0.7	3.0	3.7	20.0	67.4	3.0	2.2
	80歳以上	17	-	-	-	-	-	-	35.3	64.7	-
無 回 答	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	

〔北海道〕

〔単位：戸、％〕

		19年度									
		酪農 家数	20 歳未 満	20 歳 9 歳	30 歳 9 歳	40 歳 9 歳	50 歳 9 歳	60 歳 9 歳	70 歳 9 歳	80 歳 以 上	無 回 答
21 年 度	全 体	50	-	2.0	2.0	18.0	28.0	40.0	8.0	-	2.0
	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	40～49歳	11	-	-	-	72.7	9.1	9.1	-	-	9.1
	50～59歳	9	-	-	-	11.1	88.9	-	-	-	-
	60～69歳	24	-	-	-	-	20.8	75.0	4.2	-	-
	70～79歳	3	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 回 答	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	

〔都府県〕

〔単位：戸、％〕

		19年度									
		酪農 家数	20 歳未 満	20 歳 9 歳	30 歳 9 歳	40 歳 9 歳	50 歳 9 歳	60 歳 9 歳	70 歳 9 歳	80 歳 以 上	無 回 答
21 年 度	全 体	525	-	0.2	2.5	9.3	31.0	32.2	20.4	2.9	1.5
	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	30～39歳	12	-	-	25.0	-	-	58.3	16.7	-	-
	40～49歳	41	-	-	9.8	75.6	4.9	-	9.8	-	-
	50～59歳	137	-	-	-	9.5	81.8	5.1	2.9	-	0.7
	60～69歳	184	-	-	2.7	0.5	23.9	69.0	1.6	-	2.2
	70～79歳	132	-	-	0.8	3.0	3.8	20.5	66.7	3.0	2.3
	80歳以上	17	-	-	-	-	-	-	35.3	64.7	-
無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## （２）酪農経営離脱前の生乳生産活動の変化

### ア 経産牛飼養頭数の変化

酪農離脱時（21年度）における経産牛飼養規模別に、平成19年度当時の全国的な飼養規模分布をみると、次のような特徴がみられる。

- ① 大部分の階層で19年度にも離脱時（21年度）と同じ飼養規模であった経営が半数以上を占めており、2年前とほぼ同じ規模のまま廃業に至った経営が相当に多くみられる。
- ② ただし、離脱時（21年度）の飼養規模が『30頭以下』の階層には、19年度当時の飼養規模が離脱時よりも1階層上位であった経営も15%～20%みられ、この2年間である程度の規模縮小を図りつつ廃業した経営も少なからずみられる。
- ③ 一方、離脱時（21年度）の経産牛飼養規模が『51～75頭』の階層では19年度当時の飼養規模が「31～50頭」であった経営が38.5%を占めており、離脱時（21年度）に『101～150頭』規模であった3戸の経営のうち、2戸は19年度の飼養頭数が「51～75頭」となっているなど、若干ながら規模拡大を行ってから短期間のうちに廃業に至った経営も見受けられる。

なお、北海道・都府県別には、都府県のみ限定してみても、上記とほぼ同様の傾向が見受

けられる。

< 2 > 21年度経産牛飼養頭数×19年度経産牛飼養頭数（酪農経営中止農家限定）

[全国] [単位：戸、%、頭]

	19年度										
	酪農家数	10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51～75頭	76～100頭	101～150頭	151頭以上	無回答	有効回答平均（含む）
全体	575	30.4	34.1	18.4	12.5	2.8	0.2	0.5	0.2	0.9	19.8
21年度											
10頭以下	205	74.1	19.0	3.9	2.4	-	-	-	-	0.5	9.2
11～20頭	187	11.8	72.2	15.0	1.1	-	-	-	-	-	16.4
21～30頭	94	-	19.1	58.5	20.2	-	-	-	-	2.1	26.4
31～50頭	64	-	4.7	23.4	60.9	7.8	-	-	-	3.1	37.4
51～75頭	13	-	-	-	38.5	61.5	-	-	-	-	50.5
76～100頭	4	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-	81.3
101～150頭	3	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-	101.3
151頭以上	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	150.0
無回答	4	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-

[北海道] [単位：戸、%、頭]

	19年度										
	酪農家数	10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51～75頭	76～100頭	101～150頭	151頭以上	無回答	有効回答平均（含む）
全体	50	2.0	16.0	18.0	52.0	8.0	2.0	-	-	2.0	34.7
21年度											
10頭以下	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	16.0
11～20頭	7	-	71.4	28.6	-	-	-	-	-	-	19.4
21～30頭	15	-	13.3	46.7	40.0	-	-	-	-	-	29.6
31～50頭	18	-	-	-	94.4	-	-	-	-	5.6	40.0
51～75頭	5	-	-	-	40.0	60.0	-	-	-	-	49.6
76～100頭	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	86.0
101～150頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
151頭以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-

[都府県] [単位：戸、%、頭]

	19年度										
	酪農家数	10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51～75頭	76～100頭	101～150頭	151頭以上	無回答	有効回答平均（含む）
全体	525	33.1	35.8	18.5	8.8	2.3	-	0.6	0.2	0.8	18.4
21年度											
10頭以下	202	74.8	18.8	4.0	2.0	-	-	-	-	0.5	9.1
11～20頭	180	12.2	72.2	14.4	1.1	-	-	-	-	-	16.3
21～30頭	79	-	20.3	60.8	16.5	-	-	-	-	2.5	25.8
31～50頭	46	-	6.5	32.6	47.8	10.9	-	-	-	2.2	36.5
51～75頭	8	-	-	-	37.5	62.5	-	-	-	-	51.1
76～100頭	3	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	79.7
101～150頭	3	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-	101.3
151頭以上	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	150.0
無回答	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-

## イ 年間生乳出荷量の変化

酪農離脱時（21年度）における生乳出荷規模別に、平成19年度当時の出荷規模の全国分布をみると、経産牛飼養規模に関してみた場合と同様に、次のような特徴が見受けられる。

- ① 大部分の階層において、19年度当時も離脱時（21年度）と同じ出荷規模であった経営が40%台後半以上の割合を占めており、2年前とほぼ同じ出荷規模のまま廃業に至った経営が相当に多くみられる。

② ただし、離脱時（21年度）の年間出荷乳量が『300t未満』の階層には、19年度当時の出荷規模が離脱時より1階層上位であった経営も20%～40%みられ、この2年間である程度の規模縮小を図りつつ廃業を行った経営も少なからずみられる。

③ 一方、離脱時（21年度）の出荷規模が『100t～200t未満』及び『400t～600t未満』の階層では、19年度当時の出荷規模が離脱時より1階層下であった経営が10%～20%程度を占めており、規模拡大を行って間もなく廃業に至った経営も若干ながら見受けられる。

北海道・都府県別には、都府県のみ限定してみても、全国的にみた場合とほぼ同様の傾向がみられる。

< 3 > 21年度年間出荷乳量×18年度年間出荷乳量（酪農経営中止農家限定）

〔全国〕

〔単位：戸、%、t〕

	酪農家数	19年度											有効回答平均（0含む）
		50t未満	50t～100t未満	100t～150t未満	150t～200t未満	200t～300t未満	300t～400t未満	400t～500t未満	500t～600t未満	600t～700t未満	700t以上	無回答	
全 体	575	17.4	23.8	20.3	10.8	14.3	6.3	1.7	0.5	-	1.0	3.8	147.5
50t未満	177	45.2	30.5	10.2	4.5	4.5	1.1	-	-	-	-	4.0	71.5
50t～100t未満	146	12.3	45.9	29.5	3.4	3.4	0.7	-	-	-	-	4.8	92.6
100t～150t未満	93	-	11.8	46.2	24.7	10.8	1.1	-	-	-	-	5.4	144.0
150t～200t未満	53	-	1.9	15.1	45.3	35.8	1.9	-	-	-	-	-	189.1
200t～300t未満	58	-	1.7	5.2	3.4	58.6	20.7	3.4	1.7	-	-	5.2	256.4
300t～400t未満	22	-	-	-	-	9.1	77.3	9.1	4.5	-	-	-	354.0
400t～500t未満	9	-	-	-	-	11.1	22.2	55.6	11.1	-	-	-	417.4
500t～600t未満	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	496.0
600t～700t未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	713.0
700t以上	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	1161.4
無 回 答	10	20.0	30.0	20.0	-	30.0	-	-	-	-	-	-	-

〔北海道〕

〔単位：戸、%、t〕

	酪農家数	19年度											有効回答平均（0含む）
		50t未満	50t～100t未満	100t～150t未満	150t～200t未満	200t～300t未満	300t～400t未満	400t～500t未満	500t～600t未満	600t～700t未満	700t以上	無回答	
全 体	50	2.0	-	18.0	12.0	26.0	28.0	4.0	2.0	-	2.0	6.0	257.6
50t未満	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	187.3
50t～100t未満	7	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	119.3
100t～150t未満	7	-	-	28.6	42.9	14.3	-	-	-	-	-	14.3	163.0
150t～200t未満	5	-	-	-	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	193.0
200t～300t未満	14	-	-	-	-	57.1	21.4	7.1	-	-	-	14.3	270.7
300t～400t未満	10	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	345.8
400t～500t未満	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	500.0
500t～600t未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
600t～700t未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
700t以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	779.0
無 回 答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

〔都府県〕

〔単位：戸、%、t〕

	酪農家数	19年度											有効回答平均（0含む）
		50t未満	50t～100t未満	100t～150t未満	150t～200t未満	200t～300t未満	300t～400t未満	400t～500t未満	500t～600t未満	600t～700t未満	700t以上	無回答	
全 体	525	18.9	26.1	20.6	10.7	13.1	4.2	1.5	0.4	-	1.0	3.6	137.3
50t未満	174	45.4	31.0	10.3	4.6	4.0	0.6	-	-	-	-	4.0	69.4
50t～100t未満	139	12.9	48.2	25.9	3.6	3.6	0.7	-	-	-	-	5.0	91.2
100t～150t未満	86	-	12.8	47.7	23.3	10.5	1.2	-	-	-	-	4.7	142.6
150t～200t未満	48	-	2.1	16.7	43.8	35.4	2.1	-	-	-	-	-	188.7
200t～300t未満	44	-	2.3	6.8	4.5	59.1	20.5	2.3	2.3	-	-	2.3	252.4
300t～400t未満	12	-	-	-	-	16.7	58.3	16.7	8.3	-	-	-	360.9
400t～500t未満	7	-	-	-	-	14.3	28.6	57.1	-	-	-	-	393.9
500t～600t未満	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	496.0
600t～700t未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	713.0
700t以上	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	1257.0
無 回 答	9	22.2	33.3	22.2	-	22.2	-	-	-	-	-	-	-

### (3) 酪農経営離脱時の状況と生乳生産規模の関係

#### ア 酪農離脱時の経営レベルと経産牛飼養規模の関係

酪農離脱時（21年度）における経営の評価レベル別に、平成19年度当時の経産牛飼養規模の全国分布をみると、離脱時（21年度）における評価レベルが普通以下（『悪い』～『普通』）の階層では、19年度当時の飼養規模が「10頭以下」又は「11～20頭」であった経営の割合が著しく高い値を示している。しかし、『やや良い』『良い』と評価レベルが上がるにつれて、「10頭以下」又は「11～20頭」であった経営の割合が低下して、「31～50頭」の割合が大きく上昇しており、普通以下の経営状態で離脱した階層では零細規模経営のウェイトが非常に高く、離脱時の経営状態が良好になるに従って中小規模経営のウェイトが高くなるという傾向がみられる。

北海道・都府県別には、これとほぼ同様の傾向が都府県においてみられる。ただし、北海道については明確な傾向性はみられない。

< 4 > 21年度経営内容のレベル×19年度経産牛飼養頭数（酪農経営中止農家限定）

[全国]

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	19年度									有効回答平均（含む）	
		10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～40頭	41～50頭	51～60頭	61～70頭	71～80頭	81頭以上		無回答
21年度	全体	575	30.4	34.1	18.4	12.5	2.8	0.2	0.5	0.2	0.9	19.8
	悪い	73	24.7	30.1	23.3	15.1	5.5	-	-	1.4	-	23.6
	やや悪い	101	36.6	30.7	14.9	11.9	5.0	-	-	-	1.0	19.0
	普通	300	34.3	37.7	17.3	8.3	1.3	-	0.3	-	0.7	17.1
	やや良い	51	19.6	29.4	19.6	21.6	2.0	2.0	2.0	-	3.9	24.7
	良い	49	14.3	28.6	24.5	26.5	4.1	-	2.0	-	-	27.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

[北海道]

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	19年度									有効回答平均（含む）	
		10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～40頭	41～50頭	51～60頭	61～70頭	71～80頭	81頭以上		無回答
21年度	全体	50	2.0	16.0	18.0	52.0	8.0	2.0	-	-	2.0	34.7
	悪い	7	-	-	14.3	71.4	14.3	-	-	-	-	40.1
	やや悪い	13	-	23.1	15.4	38.5	15.4	-	-	-	7.7	35.5
	普通	14	7.1	7.1	21.4	64.3	-	-	-	-	-	31.1
	やや良い	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	56.7
	良い	13	-	30.8	15.4	53.8	-	-	-	-	-	30.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[都府県]

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	19年度									有効回答平均（含む）	
		10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～40頭	41～50頭	51～60頭	61～70頭	71～80頭	81頭以上		無回答
21年度	全体	525	33.1	35.8	18.5	8.8	2.3	-	0.6	0.2	0.8	18.4
	悪い	66	27.3	33.3	24.2	9.1	4.5	-	-	1.5	-	21.8
	やや悪い	88	42.0	31.8	14.8	8.0	3.4	-	-	-	-	16.8
	普通	286	35.7	39.2	17.1	5.6	1.4	-	0.3	-	0.7	16.4
	やや良い	48	20.8	31.3	18.8	22.9	-	-	2.1	-	4.2	22.6
	良い	36	19.4	27.8	27.8	16.7	5.6	-	2.8	-	-	25.9
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

## イ 酪農離脱理由と経産牛飼養規模の関係

酪農離脱に至った理由別に、平成 19 年度当時の経産牛飼養規模の全国分布をみると、次のような特徴がみられる。

- ① 『後継者不在・高齢化』のため離脱に至った層では、他層に比べて 19 年度当時「10 頭以下」であった経営（全体 30.4%、当該理由 39.3%）がやや多い。
- ② 『病気・ケガ・災害等』のため離脱に至った層では、他層に比べて 19 年度当時「21 頭以上」であった経営（全体 34.6%、当該理由 45.4%）が多い
- ③ 『環境問題』のため離脱に至った層では、他層に比べて 19 年度当時「11～30 頭」であった経営（全体 52.5%、当該理由 74.2%）が多い。
- ④ 『他品目への転換』のため離脱を行った層では、19 年度当時「11～20 頭」であった経営（全体 34.1%、当該理由 42.0%）がやや多い。
- ⑤ 『負債問題』のため離脱に至った層では、他層に比べて 19 年度当時「31 頭以上」であった経営（全体 16.2%、当該理由 34.2%）が多い。
- ⑥ 『乳牛の疾病・事故により継続困難』となり離脱に至った層では、他層に比べて 19 年度当時「10 頭以下」であった経営（全体 30.4%、当該理由 54.5%）が多い。
- ⑦ 『経営に余裕があるうちに中止』するため離脱を行った層では、19 年度当時「21～50 頭」であった経営（全体 30.9%、当該理由 38.1%）がやや多い。

なお、北海道・都府県別には、都府県において以上とほぼ同様の傾向がみられた。

< 5 > 21年度経営中止理由×19年度経産牛飼養頭数（酪農経営中止農家限定）

[全国]

[単位：戸、%、頭]

	酪農家数	19年度									有効回答平均 (0含む)
		10頭以下	11～20頭	21～30頭	31～40頭	41～50頭	51～60頭	61～70頭	71～80頭	81頭以上	
全体	575	30.4	34.1	18.4	12.5	2.8	0.2	0.5	0.2	0.9	19.8
後継者不在・高齢化	285	39.3	31.9	16.8	8.1	1.4	0.4	0.4	-	1.8	16.6
病気・ケガ・災害等	172	21.5	32.0	23.8	16.9	4.1	0.6	-	-	1.2	22.2
環境問題	31	22.6	45.2	29.0	3.2	-	-	-	-	-	17.8
他品目への転換	112	25.9	42.0	17.0	12.5	0.9	-	0.9	-	0.9	19.2
負債問題（小計）	41	9.8	36.6	19.5	22.0	9.8	-	-	2.4	-	30.8
負債問題（能力不足）	30	10.0	36.7	16.7	23.3	13.3	-	-	-	-	29.2
負債問題（過剰投資）	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	24.3
負債問題（他農業の不振）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
負債問題（その他・不明）	8	12.5	37.5	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-	39.1
乳牛の疾病・事故により継続困難	22	54.5	27.3	13.6	4.5	-	-	-	-	-	13.2
経営に余裕があるうちに中止	126	23.8	34.1	21.4	16.7	1.6	0.8	1.6	-	-	22.1
わからない	10	50.0	30.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	17.9
その他	29	27.6	20.7	24.1	20.7	3.4	-	3.4	-	-	25.7
無回答	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-

〔北海道〕

〔単位：戸、%、頭〕

	19年度											有効回答平均 (0含む)
	酪農家数	10頭以下	11~20頭	21~30頭	31~40頭	41~50頭	51~60頭	61~70頭	71~80頭	81~90頭	91~100頭	
全体	50	2.0	16.0	18.0	52.0	8.0	2.0	-	-	-	2.0	34.7
後継者不在・高齢化	20	5.0	5.0	35.0	40.0	5.0	5.0	-	-	-	5.0	34.6
病気・ケガ・災害等	16	-	18.8	12.5	56.3	6.3	6.3	-	-	-	-	39.1
環境問題	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	27.0
他品目への転換	8	-	37.5	25.0	37.5	-	-	-	-	-	-	27.1
負債問題（小計）	6	-	-	16.7	66.7	16.7	-	-	-	-	-	39.5
負債問題（能力不足）	4	-	-	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	42.0
負債問題（過剰投資）	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	24.0
負債問題（他農業の不振）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
負債問題（その他・不明）	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	45.0
乳牛の疾病・事故により継続困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経営に余裕があるうちに中止	17	-	5.9	29.4	52.9	5.9	5.9	-	-	-	-	36.6
わからない	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	52.0
その他	4	-	25.0	-	75.0	-	-	-	-	-	-	33.3
無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

〔都府県〕

〔単位：戸、%、頭〕

	19年度											有効回答平均 (0含む)
	酪農家数	10頭以下	11~20頭	21~30頭	31~40頭	41~50頭	51~60頭	61~70頭	71~80頭	81~90頭	91~100頭	
全体	525	33.1	35.8	18.5	8.8	2.3	-	0.6	0.2	0.8	18.4	
後継者不在・高齢化	265	41.9	34.0	15.5	5.7	1.1	-	0.4	-	1.5	15.3	
病気・ケガ・災害等	156	23.7	33.3	25.0	12.8	3.8	-	-	-	1.3	20.4	
環境問題	30	23.3	46.7	26.7	3.3	-	-	-	-	-	17.5	
他品目への転換	104	27.9	42.3	16.3	10.6	1.0	-	1.0	-	1.0	18.6	
負債問題（小計）	35	11.4	42.9	20.0	14.3	8.6	-	-	2.9	-	29.3	
負債問題（能力不足）	26	11.5	42.3	19.2	15.4	11.5	-	-	-	-	27.2	
負債問題（過剰投資）	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	24.5	
負債問題（他農業の不振）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
負債問題（その他・不明）	7	14.3	42.9	28.6	-	-	-	-	14.3	-	38.3	
乳牛の疾病・事故により継続困難	22	54.5	27.3	13.6	4.5	-	-	-	-	-	13.2	
経営に余裕があるうちに中止	109	27.5	38.5	20.2	11.0	0.9	-	1.8	-	-	19.9	
わからない	9	55.6	33.3	-	11.1	-	-	-	-	-	14.1	
その他	25	32.0	20.0	28.0	12.0	4.0	-	4.0	-	-	24.5	
無回答	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

#### （４）酪農経営離脱時の状況と離脱以前の経営意向の関係

##### ア 酪農離脱時の経営レベルと離脱以前の経営意向の関係

酪農離脱時（21年度）における経営レベル別に、平成19年度当時の経営主が立てた将来方針の内容を全国のみると以下のような特徴がみられる。

- ① 酪農離脱時（21年度）における経営レベルが『悪い』と評価された階層では、19年度当時には「規模拡大して酪農を継続」する意向をもっていた経営（全体4.7%、当該階層12.3%）が他の階層に比べて多くみられる。このことから、経営内容が『悪い』階層には、離脱以前は規模拡大による経営改善を考えていた経営か、若しくは規模拡大によりかえって経営悪化を招いてしまった経営が他の階層よりも多いということが推察される。

② 酪農離脱時（21年度）における経営レベルが『やや良い』と評価された階層では、他の階層に比べて19年度当時から「酪農経営の中止」を考えていた経営（全体13.0%、当該階層21.6%）が多く、「方針未定（わからない）」であった経営（全体32.2%、当該階層25.5%）が少ない。

また、酪農離脱時の経営レベルが『良い』と評価された階層では、19年度当時には「規模を縮小して酪農を継続」する意向をもっていた経営（全体7.1%、当該階層14.3%）と、「酪農経営の中止」を考えていた経営（全体13.0%、当該階層22.4%）が他の階層に比べて多く、「方針未定（わからない）」であった経営（全体32.2%、当該階層25.5%）がやや少ない。このことから、離脱時の経営内容が良好であった階層には、比較的早い時期から廃業を計画してきた経営が多いということが推察される。

以上のような傾向は、北海道・都府県別にみてもおおむねみられる。

< 6 > 21年度経営内容のレベル×19年度酪農経営の方向性（酪農経営中止農家限定）

〔全国〕 [単位：戸、%]

		19年度							
		酪農家数	を現状規模で酪農を継続	農規模を拡大して酪農を継続	農規模を縮小して酪農を継続	て酪農部門へ転換	し農業経営を中止	わからない	無回答
21年度	全体	575	21.7	4.7	7.1	17.0	13.0	32.2	4.2
	悪い	73	24.7	12.3	8.2	6.8	5.5	39.7	2.7
	やや悪い	101	26.7	7.9	6.9	13.9	7.9	34.7	2.0
	普通	300	20.3	1.3	7.0	20.7	13.7	31.3	5.7
	やや良い	51	23.5	5.9	-	19.6	21.6	25.5	3.9
	良い	49	14.3	6.1	14.3	14.3	22.4	28.6	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0

〔北海道〕

[単位：戸、%]

		19年度							
		酪農家数	を現状規模で酪農を継続	農規模を拡大して酪農を継続	農規模を縮小して酪農を継続	て酪農部門へ転換	し農業経営を中止	わからない	無回答
21年度	全体	50	20.0	6.0	10.0	14.0	16.0	34.0	-
	悪い	7	28.6	14.3	-	-	-	57.1	-
	やや悪い	13	15.4	7.7	7.7	30.8	-	38.5	-
	普通	14	21.4	7.1	14.3	14.3	14.3	28.6	-
	やや良い	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-
	良い	13	15.4	-	15.4	7.7	38.5	23.1	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

〔都府県〕

[単位：戸、%]

		19年度							
		酪農家数	を現状規模で酪農を継続	農規模を拡大して酪農を継続	農規模を縮小して酪農を継続	て酪農部門へ転換	し農業経営を中止	わからない	無回答
21年度	全体	525	21.9	4.6	6.9	17.3	12.8	32.0	4.6
	悪い	66	24.2	12.1	9.1	7.6	6.1	37.9	3.0
	やや悪い	88	28.4	8.0	6.8	11.4	9.1	34.1	2.3
	普通	286	20.3	1.0	6.6	21.0	13.6	31.5	5.9
	やや良い	48	22.9	6.3	-	20.8	20.8	25.0	4.2
	良い	36	13.9	8.3	13.9	16.7	16.7	30.6	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0

## イ 酪農離脱理由と離脱以前の経営意向の関係

酪農離脱に至った理由別に、平成 19 年度当時の経営主が立てた将来方針の内容を全国的にみると以下のような特徴がみられる。

- ① 『他品目への転換』のために酪農を離脱した層では、当然のことながら、19 年度当時から「酪農部門を止めて他部門へ転換」する意向をもっていた経営（全体 17.0%、当該理由 31.3%）が他層に比べると著しく多い。しかし、当時はまだ「方針未定（わからない）」であった経営（全体 32.2%、当該理由 25.9%）や、「現状規模で酪農を継続」する意向であった経営（全体 21.7%、当該理由 20.5%）等、この 2 年間で転換を決め短期間のうちに他部門へ移行した経営が 6 割以上を占めている。
- ② 『負債問題』のために離脱に至った層では、19 年度当時には「現状規模で酪農を継続」する意向であった経営（全体 21.7%、当該理由 43.9%）や「規模を拡大して酪農を継続」する意向であった経営（全体 4.7%、当該理由 14.6%）が他層に比べて著しく多い。このことから、『負債問題』で酪農を離脱した層には酪農継続意向の強い経営が多かったということが推測される。

北海道・都府県別には、以上のような傾向は特に都府県において鮮明にみられる。

< 6 > 21年度経営中止理由×19年度酪農経営の方向性（酪農経営中止農家限定）

[全国]

[単位：戸、%]

		19年度							
		酪農家数	を現状規模で酪農	農規を模拡大して酪	農規を模縮小して酪	て酪農部門へ転換	し農業経営を中止	わからない	無回答
21年度	全体	575	21.7	4.7	7.1	17.0	13.0	32.2	4.2
	後継者不在・高齢化	285	17.9	2.8	6.0	17.2	16.1	35.4	4.6
	病気・ケガ・災害等	172	20.3	5.8	9.3	15.1	15.7	31.4	2.3
	環境問題	31	25.8	9.7	-	16.1	12.9	32.3	3.2
	他品目への転換	112	20.5	1.8	9.8	31.3	7.1	25.9	3.6
	負債問題（小計）	41	43.9	14.6	7.3	4.9	2.4	26.8	-
	負債問題（能力不足）	30	46.7	13.3	3.3	6.7	3.3	26.7	-
	負債問題（過剰投資）	3	33.3	-	-	-	-	66.7	-
	負債問題（他農業の不振）	-	-	-	-	-	-	-	-
	負債問題（その他・不明）	8	37.5	25.0	25.0	-	-	12.5	-
	乳牛の疾病・事故により継続困難	22	36.4	4.5	4.5	4.5	13.6	36.4	-
	経営に余裕があるうちに中止	126	20.6	4.0	5.6	19.8	14.3	29.4	6.3
	わからない	10	40.0	-	10.0	10.0	-	40.0	-
	その他	29	20.7	3.4	10.3	20.7	10.3	27.6	6.9
無回答	3	-	-	-	66.7	-	-	33.3	

〔北海道〕

〔単位：戸、％〕

		19年度							
		酪農家数	を現状規模で酪農を継続	農規模拡大して酪農を継続	農規模縮小して酪農を継続	て酪農部門へ転換	し農業経営を中止している	わからない	無回答
21年度	全体	50	20.0	6.0	10.0	14.0	16.0	34.0	-
	後継者不在・高齢化	20	15.0	-	10.0	10.0	25.0	40.0	-
	病気・ケガ・災害等	16	31.3	6.3	6.3	12.5	6.3	37.5	-
	環境問題	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	他品目への転換	8	-	-	12.5	50.0	12.5	25.0	-
	負債問題（小計）	6	33.3	-	-	16.7	-	50.0	-
	負債問題（能力不足）	4	25.0	-	-	25.0	-	50.0	-
	負債問題（過剰投資）	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	負債問題（他農業の不振）	-	-	-	-	-	-	-	-
	負債問題（その他・不明）	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	乳牛の疾病・事故により継続困難	-	-	-	-	-	-	-	-
	経営に余裕があるうちに中止	17	5.9	17.6	11.8	17.6	17.6	29.4	-
	わからない	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	4	50.0	-	-	25.0	-	25.0	-
無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	

〔都府県〕

〔単位：戸、％〕

		19年度							
		酪農家数	を現状規模で酪農を継続	農規模拡大して酪農を継続	農規模縮小して酪農を継続	て酪農部門へ転換	し農業経営を中止している	わからない	無回答
21年度	全体	525	21.9	4.6	6.9	17.3	12.8	32.0	4.6
	後継者不在・高齢化	265	18.1	3.0	5.7	17.7	15.5	35.1	4.9
	病気・ケガ・災害等	156	19.2	5.8	9.6	15.4	16.7	30.8	2.6
	環境問題	30	26.7	10.0	-	16.7	13.3	30.0	3.3
	他品目への転換	104	22.1	1.9	9.6	29.8	6.7	26.0	3.8
	負債問題（小計）	35	45.7	17.1	8.6	2.9	2.9	22.9	-
	負債問題（能力不足）	26	50.0	15.4	3.8	3.8	3.8	23.1	-
	負債問題（過剰投資）	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	負債問題（他農業の不振）	-	-	-	-	-	-	-	-
	負債問題（その他・不明）	7	28.6	28.6	28.6	-	-	14.3	-
	乳牛の疾病・事故により継続困難	22	36.4	4.5	4.5	4.5	13.6	36.4	-
	経営に余裕があるうちに中止	109	22.9	1.8	4.6	20.2	13.8	29.4	7.3
	わからない	9	44.4	-	-	11.1	-	44.4	-
	その他	25	16.0	4.0	12.0	20.0	12.0	28.0	8.0
無回答	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	